

第三百三十九聯隊撤兵第二中隊第五及第六中隊、ドン哥薩克騎兵第八聯隊半中隊ニシテ大佐カウルバルスハ此縱隊ト共ニ前進スハ Kara Lom 河ヲ渡リ Hajdar タルノ對岸高地脚ニ達シタルトキ前面 バシスル 附近高地上ヨリ土軍ノ射撃ヲ受ケ前進スル能ハス同地附近ニ在ル葡萄畑ノ東端ヲ占領シ之ト相對ス大佐カウルバルスハ其後少將ウオロノフ 步兵第三十五師團第一旅團長ニシテ Kovoニ在リヨリ步兵第百三十九聯隊撤兵第三中隊及第九中隊ノ増援ヲ受ケ之ヲ左及中央ノ兩縱隊ニ増加シ土軍陣地ノ占領ヲ企圖セシモ却テ擊退セラレ辛ウシテ Kara Lom 河ノ右岸ニ止リ後 Hajdar ニ退却ス

左縱隊 長槍騎兵第八聯隊附少佐ヤゲルロ槍騎兵第八聯隊ノ二中隊及下ン哥薩克騎兵第八聯隊半中隊ハ Spalliar ニ前進シ途中 バシスル 北方森林ヲ守備セル土軍ノ抑止スル所トナリ尙正規歩兵ノ前進ヲ認め且土軍騎兵ハ Früholler 及 Saziヲ守備セルヲ確ム次テ日没ニ至リテ Hajdar ニ退却スヘシトノ命令ニ接シ毫モ土軍ノ壓迫ヲ受クルコトナク所命ノ地點ニ退却ス大佐カウルバルスノ部隊ハ同夜歩兵第一聯隊第一大隊ノ増援ヲ得又 Kara Hasan ニ在リシ槍騎兵第八聯隊ノ二中隊及砲兵第三十五旅團第

一中隊ノ二門ヲ合ス 如何ナル理由ニ基クカ明カナラス

是日少將レオノフハ一時偵察ヲ中止スヘシトノ命令 第十三軍團長ノ命令ナランニ接シ Gagovo, Kara Hasan ノ地ニ留リ唯親衛騎兵一中隊ノミチ ヒusenca 北十吉米ニ進メ敵情偵察ニ任セシモ 同騎兵二中隊ハ Hysardaニ於テ土軍不正規騎兵ト戰鬪ヲ交エ退後再ヒ偵察ヲ實施スヘキ命令ヲ受ケ Kara Hasanニ在リシ騎兵ノ一部ヲ Batenberg 方向ニ派遣シ偵察隊ハ近ク前面ニ土軍支隊ノ現存セルヲ偵知セシモ土軍兵力及企圖ヲ察知スルニ足ル材料ハ毫モ得ルコトナク夜間 Kecler 附近ニ退却シ同夜少將レオノフノ偵察隊ハ Kara Hasan 附近ニ集合セシモノ如シ但シ槍騎兵第八聯隊ノ二中隊砲兵第三十五旅團第一中隊ノ二門ハ Hajdar ニ至リ同所ノ部隊ニ合ス

附記 八月十三日(或ハ十四日)君府ニ於ケル軍事會議ノ結果土軍ハ YnoVO ニ向ヒ攻勢ニ轉スルニ決ス即スライマンパシアハ Sipka 山ヲ占領シテ YnoVO ニ向ヒ前進スヘクメヘメツトアリーパシアモ亦之ト合

一スル爲攻勢ヲ取ルヘキヲ命令セラレタリ オスマンバシニアニハ此際如何ニ命令セラレシヤ不明ナリ
 八月十四日メヘメツトアリーパシアハスライマンバシアヨリ ツツルカ Tyrtica
 隘路ヲ占領シタリトノ通報ニ接シ又此頃八月十三日(或ハ十四日)ノ軍
 事會議ノ結果ニ基ク攻撃命令ヲ受領セリ(受領ノ時日明ナラス)是ニ於
 テ ラツク Razgrad, エスキ Eski Dzumaja 線上ノ野戰部隊ヲ増加セントシ爾餘ノ地點ヨ
 リ歩兵三十一大隊砲兵十三中隊ヲ招致シ ラツク Razgrad ニ歩兵七大隊砲兵
 一中隊 エスキ Eski Dzumaja ニ歩兵二十四大隊砲兵十二中隊 内歩兵二大隊砲兵三中隊ハOsmanbazar附近ノ部隊ニ移
 隊ニ増加サル ヘキモノトス ヲ増加シ其他 ラツク Razgrad ノ騎兵十二中隊ヲ エスキ Eski Dzumaja ニ移
 シ又 ラツク Razgrad ニ於テ新ニ編成セラレタル騎兵六中隊ヲ配屬シ 此部隊ハ八月二十七日
 及三十日ノ間ニ至リテ始メ ラツク Razgrad 附近ニ集中スヘキ部隊 歩兵五十五大隊騎兵三十中隊砲兵十三中隊
 テ エスキ Eski Dzumaja ニ集合セリ エスキ Eski Dzumaja 附近ニ集中スヘキ部隊 歩兵四十五大隊騎兵二十九
 ヲラツグラド軍團トシ エスキ Eski Dzumaja 附近ニ集中スヘキ部隊 歩兵四十五大隊騎兵二十九
 中隊砲兵 ヲ エスキヅジユマヤ軍團ト爲サントシ直ニ之カ實施ニ著手シ
 同時ニ第一線部隊ヲシテ敵情ヲ偵察セシム

メヘメツトアリーパシアハ前記ノ如ク野戰部隊集中ヲ終ラハ何レノ
 方向ニ攻勢ヲ採ルヘキヤヲ研究シ次ノ二案ヲ立テタリ即チ左ノ如シ
 第一案 東部ドナウ軍ハ ラツク Razgrad, エスキ Eski Dzumaja ニ於テ依然守勢ヲ執
 リ二十乃至二十五大隊ノ一部隊ノミ オスマン Osmanbazar ヨリ ツツルカ Yrnovo ニ向
 テ策動シ ツツルカ Yrnovo ニ於テスライマン軍ト連繫ヲ取ル
 第二案 メヘメツトアリーパシアハ主力ヲ以テ ラツク Razgrad ヨリ ベラ Bela ニ
 向テ攻勢ニ轉シ ツツルカ Yrnovo ニ對シテハ單ニ オスマン Osmanbazar 方向ヨリ微力ナル
 陽撃ヲ實施スルニ止ム
 十六日メヘメツトアリーパシアハ右二案ヲスライマンバシアニ通報
 シテ其意見ヲ徵ス未タ其回答ノ到著セサルニ當リ同日間諜ヨリ情報
 ヲ得タリ其要ニ曰ク八月十四日砲五十門人員二萬八千ヲ下ラサル露
 軍ハ ベラ Belgorod ノ橋梁ヲ通過シ ベラ Belgorod ニハ渡船場一箇所ノミニテ此時二萬八千ヲ
 算スルカ如キ露軍兵力 ドナウ Donau 左岸ニ存在セサリキ
 一萬人之ニ續行ス露軍ハ八月十七日全力ヲ舉ケテ ラツク Razgrad ニ前進ス

ヘキ意圖ヲ有スルカ如シト依テメヘメツトアリーパシアハオスマンバザール方面ニ在ルメヘメツトセリムパシアノ一師團ヲ以テツルノボYrnovoニ陽攻セシメ爾餘ノ部隊ヲ以テラツグラドRazgrad, エスキIski ツウヘマヤDzunaja 附近ヲ占領シ以テ此敵ニ對抗セントシ情況及決心ノ變更ヲ十九日スライマンパシアニ通報ス

二十日頃メヘメツトアリーパシアノ計畫セシ野戦部隊ハ左ノ如ク編成ヲ終了ス附圖第五十五參照

「ラツグラド軍團ハ合計歩兵五十五大隊騎兵三十中隊砲兵十三中隊約三萬七千三百人ヲ算シ佛書アレブナ防禦ニ依レハラツグラド二十日既ニ軍團ノ現員ハ四萬二千以上ニ達シタリラツグラド附近ニ集中ス其編組左ノ如シ

第一師團長ネドシツブパシア) イブラヒム及ニシアードパシアノ兩旅團及ムスタフアパシアノ部隊ヨリ成リ合計歩兵十六大隊騎兵四中隊砲兵四中隊

土軍野戰部隊ノ編成並ニ左ノ前部ニ附第(五十五參照)十六參照)

第二師團長フアードパシア) ハドシラシード及ハツサンパシア旅團ヨリ成リ合計歩兵十五大隊騎兵四中隊砲兵四中隊二十門
 第三師團長アサツフパシア) オスマン及レシードパシア旅團並ニサードエツヂンバイノ部隊合計歩兵十六大隊騎兵六中隊砲兵四中隊二十門ヨリ成リ之ニ不正規騎兵百六十五人ヲ加フ
 軍團豫備隊歩兵八大隊騎兵十六中隊ケリムバシアハ此及砲兵一中隊門六
 其他尙軍團ニ不正規騎兵約七百人ヲ有ス

「エスキヅジュマヤ軍團ハ合計歩兵四十五大隊騎兵二十九中隊及砲兵十六中隊約三萬一千四百人ニシテ次ノ諸隊ヨリ成立ス

第一師團長イヅマイルパシア) ヌスフバイ旅團埃及旅團歩兵十五大隊此内ニ埃及歩兵十一大隊アリ騎兵ノミヨリ成ル同師團内ノアリーリザバシ四中隊及砲兵五中隊(三十門)
 ア旅團(土耳其旅團)ハ第二師團ニ屬シ埃及旅團ハ二十日 エスキIski ツウヘDzun-

第二師團長サリヒバシア) アツシム及サビトバシア旅團及臨時

配屬ノアリーリザバシア旅團ヨリ成リ合計歩兵十六大隊騎兵二

十一中隊砲兵六中隊三門ニシテ最初ノ二旅團ハ Eski Dzumaja 附近

ニ集合セリ

第三師團(長メヘメツトセリムバシア) セリムバシア及ハッサン

バイ旅團ヨリ成リ合計歩兵十四大隊騎兵四中隊及砲兵五中隊十三門ニシテ

之ヲ要スルニ Razgrad 及 Eski Dzumaja 附近ニ集中セル土軍ノ總兵力

ハ歩兵百大隊騎兵五十九中隊砲兵二十九中隊砲百七十四門現員約六萬八千七

百ニシテ遠ク西南方ニ進出セル「エスキヅジュマヤ軍團ノ第三師團ヲ

除キメヘメツトアリーバシアノ「ルスチユツク」兵團ニ對シテ使用シ得

ル兵力ハ歩兵八十六大隊騎兵五十五中隊砲兵二十四中隊砲百四十四門即チ

約六萬人トス而シテ之等ノ部隊ハ前記ノ如クメヘメツトアリーバシ
アノ守勢的決心ニ基キ Razgrad, Eski Dzumaja 間正面約二十五吉米ノ地
ニ無爲ニ駐止セリ

然ルニ土軍ハ此間 Eski Dzumaja ノ陣地竝ニ Zarnasi 附近ノ地形ヲ偵察シ

popovo ニハ騎兵二師團ヲ有スル露軍第十三軍團全部駐屯シ又 Eski

Dzumaja ノ陣地防禦ニ適セサルヲ認知セシテ以テメヘメツトアリー

バシアハ左翼ニ在ル「エスキヅジュマヤ軍團ヲ Popovo 及 Eski Dzumaja 間

ニ前進セシメント欲シ第一師團(長イヅマイルバシア)ヲ依然 Eski Du-

maja ニ前進セシメ第二師團ヲ Zarnasi 附近ノ陣地ニ就カシム附圖第五十六參照

是ニ於テ「エスキヅジュマヤ軍團第二師團ハ二十日夕迄ニアツシムバシ

アノ旅團歩兵六大隊騎兵一中隊ヲ以テ Zarnasi 及 Kizillar 方四吉米南間ノ陣地ヲサ

ビトバシヤアノ旅團歩兵七大隊騎兵八中隊ヲ以テ Balizlar 方五吉米北東方ノ高地

ヲ占領シアリーリザバシアノ旅團ハ臨時 Eski Dzumaja ニ駐留セシメ

サリヒパシアモ亦其幕僚ヲ率キテ同地ニ滯留ス此時第一師團長イヅ
マイルパシア)ハ エスキズムヤ Eski Dzumaja ニ來著セス第三師團長メヘメツトセリ
ムパシア)ハ依然 オスマンツルノ Osmanbazar-Trnovo 道上ニ駐留セリ
アツシム及サビトパシアノ兩旅團ハ守備地ニ到著後直ニ工事ヲ實施
シ且兩旅團陣地間ニ連絡路ヲ築設ス土軍ノ此動作ハ能ク隱蔽セラレ
露軍ニ發見セラレサリキ

二十一日 サルナシフ Sarnasif 附近ヲ占領セル土軍アシツムパシア旅團ハ露軍ノ前
進ヲ認め陣地ニ在リテ直ニ射撃ヲ開始シ在 エスキズムヤ Eski Dzumaja ノ師團長サ
リヒパシアニ露軍ノ前進ヲ報告セリ師團長ハ此報告ニ接スルニ先チ
サルナシフ Sarnasif 方向ニ砲聲ヲ聞キアリーリザパシア旅團ノ一部ヲ率キテ サル Sar-
ナス nasif ニ急行シアシツムパシア旅團ヲ援助ス同日土軍エスキヅジヌマ
ヤ軍團第二師團ハ露軍偵察隊ヲ擊退シ志氣大ニ揚リ同日夕第二師團
長サリヒパシアハ軍事會議ヲ開キ翌二十二日 アヤツラ Ajazlar 附近ノ諸高地ヲ

七軍
アヤ
ツラ
ノ
攻
撃
ヲ
企
圖
ス

占領スルニ決ス

八月二十二三日 アヤツラ Ajazlar 附近ノ戰鬪 附圖第五
十七參照

二十二日戰
鬪ノ情況

二十二日朝第十三軍團方面諸隊ノ位置附圖第五十七ノ如シ

二十二日拂曉 アヤツラ Ajazlar ノ守備隊 步兵第三百三十七聯隊第二大隊(下)哥薩克騎兵第八ノ前哨
聯隊第二第六中隊砲兵第一旅團第三中隊ノ二門ハ優勢ナル土軍ヨリ壓迫セラレ カラ Kara Lom 河左岸ニ退却ス守備隊ハ直ニ
アヤツラ Ajazlar ノ北側高地端ニ展開シ砲火ヲ以テ河岸ニ前進スル土軍ヲ拒止シ土
軍砲兵亦直ニ之ト砲戰ヲ開始ス然レトモ爾後土軍敢テ前進セス正午頃ニ
至リ戰鬪全ク熄ム

此砲戰中步兵第二聯隊第一大隊砲兵第一旅團第四中隊ノ二門ハ交代ノ爲
ポポ Popovo ヨリ アヤツラ Ajazlar ニ來著セシヲ以テ 本卷一七
五頁參照 步兵第三百三十七聯隊第二大隊
ハ戰鬪全ク止ムニ至リ之ト交代シ バルジ Baldzi Omar ニ到リ砲兵第一旅團第三中
隊ノ二門ハ アヤツラ Ajazlar ノ陣地ニ殘留ス中將 プロク Prokof ンハ ポ Popovo ニ在リ アヤツラ Ajazlar
ニ於テ戰鬪中ナル少佐 エイ Eirof 步兵第三百三十七
聯隊第二大隊長 ヨリ土軍ノ攻撃ニ關スル報告

ヲ受領シ直ニ軍團長ニ報告シ午後二時頃軍團長ヨリ左ノ命令ヲ受領ス
 Ajzlar^{アヤツラル} 附近土軍ノ占領セル高地ヲ奪還シ堅固ニ之ヲ占領スヘシ是 Ajzlar^{アヤツラル}
 zlar^{アヤツラル} Popovo, Gagovo, Hajdar, Kara Hasan^{カハラハサン} ヲ掩護シ且警戒ノ爲緊要ノ地點タルヲ以テナリ

是ニ於テ中將プロクロフハ Popovo^{ポポボ} ニ歩兵第三百三十九聯隊第三大隊砲八門ヲ殘シ歩兵第一師團第一旅團第一第二聯隊共ニ各第一大隊缺^ドン哥薩克騎兵第八聯隊ノ一中隊及砲兵第一旅團第一及第四中隊第四中隊ノ二門缺^クヲ率キテ Ajzlar^{アヤツラル} ニ前進シ尙後援トシテ歩兵第三百三十八聯隊第一大隊缺^クヲ續行セシメ同地ニ著後歩兵第二聯隊第一大隊^ドン哥薩克騎兵第八聯隊ノ二中隊及砲兵第一旅團第四中隊ノ二門及第三中隊ノ二門ヲ合シ合計歩兵七大隊^シ歩兵第三百三十七聯隊第一大隊ハ此^ハ騎兵三中隊砲十八門トナル同中將ハ晝間土軍ノ陣地ヲ攻撃スルハ困難ナルヲ以テ日没ニ至リテ攻撃ヲ實施セント欲シ諸隊ヲシテ其準備ヲ爲サシム

二十二日夕中將プロクロフノ部隊ハ Farnasi^{ファルナシ} 西方高地ノ土軍陣地ヲ夜襲セント欲シ Ajzlar^{アヤツラル} ノ西北森林ニ集合ス同中將ハ夜襲ニ先タチ土軍陣地ヲ砲撃セント欲シ砲兵第一旅團第一及第四中隊及第三中隊ノ一小隊ヲシテ Ajzlar^{アヤツラル} Sultam^{スルタム} 間ニ放列ヲ布キ敵陣地ヲ砲撃セシム同砲兵ハ所命ノ地點ニ陣地ヲ占領シ午後七時三十分 Kara Lom^{カラロム} 對岸 Kasik Bajir^{カシクバイル} 高地竝ニ其後方地域ヲ砲撃セシモ土軍之ニ應セス其效果亦少カリシヲ以テ幾モ無ク射撃ヲ止ム既ニシテ日没シ幾モ無クシテ月出テ月光頗ル明ナリシモ右岸 Kasik Bajir^{カシクバイル} ヲ守備セル土軍陣地ヲ認ムルヲ得ス

此間歩兵第一旅團(一大隊缺)ハ Ajzlar^{アヤツラル} 東北端ヨリ Sultam^{スルタム} ノ東南高地端ニ互リテ展開シ歩兵第三百三十八聯隊第一大隊缺^クハ Ajzlar^{アヤツラル} ノ西方森林ノ附近ニ在リテ豫備隊トナル

午後九時稍過キ第一線ニ在リシ歩兵第一聯隊第三大隊ハ Kiricen bajir^{キリチエンバイル} 高地特ニ Balyk tepe^{バルクテペ} ノ西方高地歩兵第二聯隊第二大隊ハ Kasik bajir^{カシクバイル} 高地突出部同

聯隊第三大隊ハ土軍角面堡ヲ目標トシ信號ニ應シテ一齊ニ前進ヲ開始シ第二線諸隊ハ之ニ續行ス砲兵諸中隊ハ再ヒ高地及其背後ノ地域ニ對シテ砲火ヲ開キ十五分ノ後射撃ヲ中止シ豫備隊ノ位置ニ退ク

步兵第一及第二聯隊ノ諸大隊ハ *Erzincan* *Dajir* ノ斜面ニ散開シタル土軍撤兵線ノ急射撃ヲ受ケツツ *Kara Lom* 河ヲ徒涉シ急峻ナル對岸斜面ヲ攀登ス右翼ニ前進シタル步兵第一聯隊第三及第二大隊ハ支障ナク指定セラレタル高地ニ達シ森林ヲ通過シテ山背ニ出ツルヤ忽チ *Balyk tepe* 高地ヲ占領セル土軍ヨリ射撃ヲ受ク然レトモ距離大ニシテ殆ト損傷ナシ步兵第二聯隊長大佐ウラヂミルスキーハ *Kestik Dajir* 頂ノ南方豫備隊ニ在リシ第一大隊ヲ第二大隊ノ右翼ニ増加シ第二大隊ハ其援助ヲ得テ夜十一時頃同山背西南部ヲ占領シ同聯隊第三大隊ハ稍後レテ未タ完成セサル土軍ノ角面堡ヲ占領ス暫クシテ退却セル土軍増援隊ヲ得角面堡ニ向ヒ恢復攻撃ヲ施行セシモ第三大隊之ヲ撃退ス午後十一時三十分頃ニ於ケル露軍諸隊ノ位置左ノ如シ

步兵第一聯隊第三大隊ハ *Balyk tepe* 高地ノ西方約千米ノ高地上ニ在リテ *Balyk tepe* 高地ノ敵ト相對シ同第二大隊ハ其右翼後ニ在リテ豫備隊トナリ步兵第二聯隊第一第二大隊ハ *Kasik Dajir* 高地ノ西南角ヲ占領シ第九及第十中隊ハ角面堡ヲ守備シ第三大隊ノ爾餘ノ三中隊ハ其左方 *Kasik Dajir* 及 *Karaderli Dajir* ノ兩高地ヲ連繫スル鞍部附近ニ在リテ東北方ニ面シ步兵第三百三十八聯隊ノ二大隊ハ *Ajazar* ノ北端ニ位置シ砲兵ハ墓地背後ニアリ「ドン」哥薩克騎兵三中隊ハ *Ajazar* ノ南方ニアリテ *Arablur* 及 *Mehmedi* 方

向ヲ監視ス

夜十二時頃步兵第一聯隊ノ全正面ニ對シ土軍再三攻撃シ來リシモ同隊ハ射撃ヲ以テ之ヲ撃退ス

夜一時土軍步兵第二聯隊ノ正面及兩翼ニ對シテ夜襲ヲ行フ依テ中將プロクロフハ步兵第一聯隊第二大隊ノ一部ヲシテ同第二聯隊第一大隊ヲ援助セシム步兵第一聯隊第二大隊ノ一部ハ同第二聯隊ノ右翼ニ到著シ直ニ同

聯隊第一大隊ト協同シテ土軍ヲ擊退シ第二大隊主力ハ小銃火ヲ以テ最左翼ノ歩兵第二聯隊第十一及第十二中隊及撤兵第三中隊ハ銃劍突擊ヲ以テ共ニ土軍ヲ擊退ス然レトモ土軍ハ益兵力ヲ増加シテ第三大隊ノ左側背ニ迫リ疲勞セル第三大隊ノ損害頗ル大ナリ

是ニ於テ中將プロクロフハ歩兵第三百三十八聯隊長大佐グツセノ第二第三大隊ヲ角面堡ニ派遣シ第二聯隊第三大隊ヲ交代セシム兩大隊ハ直ニ出發シ夜二時頃左翼中隊ノ交代ヲ開始ス偶此時土軍再ヒ攻撃シ來リシヲ以テ大佐グツセハ部下兩大隊ヲ率キ銃劍突擊ヲ以テ土軍ヲ *Karadon Dajir* ノ南部斜面ニ擊退セリ

夜更ケ土軍攻撃ノ模様ナシ依テ中將プロクロフハ諸隊ヲシテ現陣地ヲ守備シ隊伍ヲ整頓シ彈藥ヲ補充セシム歩兵第二聯隊第三大隊ハ中將プロクロフニ陣地ニ留マランコトヲ請テ曰ク「聯隊ニ於テ「ゲオルグ」旗(戰功表彰旗)ヲ有セサルハ我大隊ノミナリ願クハ同旗ニ相當スル功ヲ奏セン」ト中將プ

ロクロフハ之ヲ許シ角面堡ヲ防禦セシメ歩兵第三百三十八聯隊ノ第二第三大隊ヲシテ角面堡左側ニ陣地ヲ占領セシム爾後情況變化ナク二十三日拂曉ニ至ル

附記 二十一日夜第二師團長サリヒパシアハ *Ajazlar* 附近 *Kara Lom* 河右

岸高地ヲ占領セント欲シ *Sarnaat* *Killar* 附近ニ在ルアシツムパシア旅

團 歩兵六大隊騎兵一中隊砲十二門 ヲシテ二十二日拂曉攻撃ヲ實施セシム同旅團ハ二十

一日夜 *Kasik Dajir* 高地ニ前進シ二十三日拂曉露軍ノ一部ヲ對岸ニ擊退シ *Ajazlar* 附近ノ露軍ト砲戰ヲ交ユ

アツシムパシアノ旅團ハ正午頃迄戰鬪ヲ繼續シタル後陣地ノ攻略至難ト認メ占領シタル陣地ヲ守備スルニ決シ現在地附近ニ工事ヲ實施ス其配備ノ大要次ノ如シ

一歩兵二大隊ハ *Kasik Dajir* ヲ守備シ敵ヲ瞰制スル頂上ニ角面堡ヲ築設ス此角面堡ハ同二十二日夕未タ完成セス

二步兵四大隊ハ^{サルナシ}Sarnasi西側山背ノ第二線陣地ヲ守備シ散兵壕ヲ強固ニシ砲十二門ハ^{イセクテペ}Isek tepe及^{サイタンテペ}Saitan tepe高地上ニアリテ各一個ノ掩體ヲ構築シ又步兵一大隊山砲二門^{アリリザバ}シア旅團所屬ハ^{バルクテペ}Balyk tepe高地ヲ占領シ不正規騎兵二中隊及^{アッシュム}アッシュム^{パシヤ}パシヤ旅團ノ騎兵一中隊ハ^{ズリル}Zuril 東側ニ在リテ警戒ニ任ス

師團長サリヒ^{パシヤ}パシヤハ^{ツレモノ}Tulemonovoニ位置シ尙アリ^ザザ旅團ノ主力ハ^{エスキズヌナ}Eski Dzunajaヨリ^{ツレモノ}Tulemonovoニ向ヒ前進中ニシテサビド^{パシヤ}パシヤノ旅團ハ^{バズリル}Bazilar東方高地ニ在リ

師團長サリヒ^{パシヤ}パシヤハ夜ニ入りテ敵ノ爲ニ^{カシクニ}Kashkunir高地ヲ奪取セラレシヲ以テ^{アッシュム}アッシュム^{パシヤ}パシヤニ恢復攻撃ヲ行ハシメシモ遂ニ其目的ヲ達セス

二十三日戰ノ情況

二十三日拂曉兩軍再ヒ戰鬪ヲ開始ス午後二時三十分露軍ハ屢土軍ノ攻撃ヲ擊退セシモ露軍モ亦敵ヲ^{サルナシ}Sarnasiノ高地ヨリ驅逐スルコト能ハス兩軍共

ニ多大ノ損傷アリ特ニ露軍ノ最左翼ニ位置セシ步兵第三百三十八聯隊第二第三大隊ハ疲勞最モ甚シ中將^{プロクロフ}プロクロフハ萬一ヲ顧慮シ步兵第二聯隊第三大隊ヲ^{アジャズル}Ajazlarニ退却セシム是ヨリ先中將^{プロクロフ}プロクロフハ土軍ノ頑強ナル抵抗ニ會シ第十三軍團長ニ情況ヲ報告シテ増援隊ヲ請求セシカ午後四時ニ至ルモ増援隊來著セス是ニ於テ左翼聯隊ノ志氣頓ニ沮喪シ遂ニ土軍ノ壓迫ニ堪ヘスシテ先ツ退却ヲ開始シ步兵第二聯隊第一第二大隊及同第一聯隊第二第三大隊亦之ニ倣ヒテ^{カラロム}Kara Lom河ヲ渡リ^{アジャズル}Ajazlarニ退却シテ步兵第二聯隊第三大隊ニ合ス幸ニシテ土軍急迫セサリシカ故ニ疲勞セル露軍ハ同所ニ於テ休憩ノ時間ヲ得タリ此間^{コヴァコヴォ}Kovakovoヨリ步兵第三百三十八聯隊第一大隊ノ三中隊^{ロポヴォ}Lopovo^{ハヤダ}Hajdarヨリ步兵第三百二十九聯隊ノ八中隊^{第二大隊}第二大隊^{第三中隊}第三中隊^{第三中隊}第三中隊ノ増援ノ爲來著ス

午後六時中將^{プロクロフ}プロクロフハ^{ロポヴォ}Lopovoノ陣地ニ退却スルニ決シ^{アジャズル}Ajazlarニ新來ノ步兵第三百三十九聯隊ノ八中隊步兵第三百三十八聯隊第一大隊ノ三中隊竝ニ^二二

戰鬪ノ結果

ン哥薩克騎兵第八聯隊第二第六中隊砲兵第一旅團第一中隊ヲ殘置シ爾餘ハ步兵第一第二聯隊ノ各第三中隊ヲ後衛トシテ午後八時 Popovoニ退却ス
 二十二日二十三日ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ戰鬪參與兵力ハ合計步兵七大隊砲十八門ニシテ其損傷死者卒五十九負傷將校八卒二百四十三失踪四射耗小銃彈十萬六千四百二十六發同砲彈六百七十二發損害ノ最大ナリシハ步兵第三百三十九聯隊第二第三大隊ニシテ死者卒三十負傷將校四卒百二十四ヲ算ス

附記 此戰鬪ニ於テ土軍ノ參加兵力ハ步兵六大隊騎兵一中隊砲兵二中隊ニシテ戰鬪ノ末期ニハアリーリザパシア旅團步兵約三大隊騎兵十一中隊砲六門ノ步兵ノ全部及騎兵砲兵ノ一部モ之ニ參加シ合計步兵約九大隊騎兵三中隊砲十四門トナル其損害ハ不明ナリ

二十二日午後十時第十三軍團長ハ中將プロクロフヨリ Ajazlar 附近ノ戰鬪報告竝ニ増加隊ノ請求ニ接シ二十三日午前八時再ヒ中將プロクロフヨリ

二十三日日兵團司令官ノ處置

「敵兵左翼ニ迂回シ情況危險ナリ豫備トシテ步兵一大隊ヲ有スルノミ」トノ報告ニ接シ Kovacovic 及 Hajdar ヨリ步兵第三百三十九聯隊第二大隊ノ三中隊第三大隊同第三百三十八聯隊第一大隊ノ三中隊ヲ Ajazlarニ派遣シ尙若干部隊ヲ Kovacovic ヨリ Popovoニ移シ萬一ニ備ヘ之ト同時ニ兵團司令官ニ報告シテ増援ヲ請フ
 兵團司令官ハ此報告ニ接シ Albanovoニ在ル中將ドリーゼンノ指揮スル部隊ヨリ步兵第三百三十聯隊同第三百三十一聯隊騎兵二中隊砲兵第三十三旅團ノ第二第三中隊ヲ増援セシメ此諸隊ハ二十三日 Gagovoニ向ヒ出發ス兵團司令官ハ右ノ處置ト同時ニ Ostrica ヨリ步兵第三聯隊ヲ同地ニ派遣シ兵團豫備隊ノ大部ヲ Ostrica ヨリ Albanovoニ進メテ同地ノ兵力ヲ補填シ又オスマンバザール部隊ニ通報シテ第十三軍團ヲ援助セシム於是二十三日オスマンバザール部隊ノ步兵二中隊砲四門ハ Popovoニ來著シ第十三軍團長中將ハーンハ是等ノ部隊ヲ合シテ Hajdar, Popovo, Gagovoノ線ヲ守備セント欲ス

二十四日「ルスチ」兵團司令官ハ自ラ Popovoニ至リ Gagovo, Popovo, Haj-
dar 等ノ陣地ヲ偵察シ正面過廣ナルヲ認メ現在陣地ヲ前進陣地トシ本陣
地ヲ Kovacovicニ構成セシメ同時ニ第十三軍團外ノ部隊ヲ各原所屬ニ歸還
セシメ又 Ostircaノ兵團豫備隊ヲ南方ニ前進セシム兵團司令官ハ是等ノ部
署ヲ命シタル後 Popovoヲ去リ Halvadin, Ostircaノ南方ニ到ル而シテ是等ノ軍隊
移動ハ二十六日より開始セラレ二十八日ニ至リ終了ス
此間土軍ハ Kara Hasan 附近ニ現ハレ屢露軍警戒部隊ト衝突ス露軍ハ同地
ヲ以テ重要ノ地點トナシ兵力ヲ増加シテ大ニ工事ヲ施セリ

八月三十日
「ルスチ」兵團
位置ノ概要
(附圖第五
十八參照)

八月三十日前記移動ノ結果「ルスチ」兵團ノ配置概要次ノ如シ
ハ附録第
五參照

- 一、右翼部隊 長中將ハイン 步兵二十四大隊 第一線ヲ以テ Ajazlar, Hajdar, Kara Hasan
ノ線ニ主力ヲ以テ Kovacovic 附近ニ位置ス
- 二、中央部隊 長中將ドリゼン 步兵五大隊 ハ Albanovo, Kaecelevo ノ線ヲ守備シ騎兵

ノ主力ヲ以テ Zadina, Kostan denev, Nisovo ノ線ヲ警戒ス

三、左翼部隊 長ウラヂミールアレクサンドロフ 歩兵十二大隊 騎兵十六中隊 砲五十四門 ハ Ivanovo, Pigoz ノ線ヲ守備シ

Stoklevo ニハ獨立シテ大佐ホレサチスキー 第十二聯隊長 ノ指揮スル

騎兵五中隊 騎砲二門ヲ配置シ左翼ノ警戒ニ任ス

四、兵團豫備隊 歩兵六大隊 砲二十四門 ハ Halvazdi, Hjudzeki ニ在リ又兵團司令部ハ歩兵第

百三十二聯隊第一大隊 騎兵二中隊ヲ直接掩護部隊トナシ Hjudzeki ニ
在リ

之ヲ要スルニ八月下旬「ルスチ」兵團ノ主力ハ同兵團ノ右翼方面ニ集
中セラル

附記 メヘメツトアリーパシアハ二十一日二十三日 Ajazlar 附近ニ勝利ヲ

得志氣揚リ從來ノ狐疑逡巡ニ反シ直ニ Kara Hasan ヲ攻撃シテ得タル

勝利ヲ利用セントス此意圖ニ基キ土軍ハ「ルスチ」兵團ノ全面ニ

對シテ偵察ヲ行フ三十日 Kazgrad, Golemonovo 線ニ集中セル四角要塞西

土軍 Kara
Hasan 附近
ニ對シ攻勢
ヲ企圖ス

部諸隊ノ兵力區分左ノ如シ

一、エスキヅジュマヤ軍團 長埃及王子ハツサン歩兵三十六一ノ大部ハ カKara

ロムLom 河右岸 サルナレフSarnasif 及其附近ニ一部 イヅマイルバシイヅマイルバシノ師團ノ歩兵ハ

エスキツヨフヤEski Dzumnaja 附近ニ在リ

メヘメツトセリムパシア師團 歩兵十四大隊騎兵ハ Osmanbazar-Trnovo

道上ニ在リ

二、ラツグラド軍團 長アヒメツトエユツバシラツグラド軍團 十五大隊騎兵三十中隊砲七十八門ハ マルコフMalkoda ラツグラドRazgrad 及其西方 トルラクTorlak ラツグラドRazgrad-Ius-ノ線ニ在リノ線ニ在リ

Grad Grad 及其西方 トルラクTorlak ラツグラドRazgrad-Ius-ノ線ニ在リノ線ニ在リ

三、アヒメツトカイセルリーバシアノ部隊 歩兵十八大隊騎兵ハ Kucouk 要塞ニ在リ

メヘメツトアリーバシヤハ露軍陣地偵察ノ結果 ポポフPopovo ニハ露軍第十

三軍團ノ全部 カラKara Hasan ニハ歩兵一旅團騎兵一旅團駐止シ同隊ハ ガGovo

ノ部隊ヲ以テ援助セラルルモノト想定シ三十日 カラKara Hasan 攻撃

ノ爲左ノ部署ヲ定ム

一、ラツグラド軍團ノ一旅團及エスキヅジュマヤ軍團ノ主力ヲ以テ カラKara Hasan 及其附近ノ敵ノ前進陣地ヲ攻撃ス

二、アヒメツトカイセルリーバシア及メヘメツトセリムパシアヲシテ各當面ノ敵 キスチウツクKiscouk 要塞ノ前 面及面及 TrnovoTrnovo 方向

三、スライマンパシアニ通報シテ同パシアヨリ一部隊ヲ出シメヘメツトセリムパシアノ攻撃ヲ援助セシム

其二 下流「ドナウ」兵團及下流「ドナウ」師團ノ行動 一覽圖第四竝附圖第三十八參照

八月中旬ニ於ケル下流「ドナウ」兵團ノ情況

七月中旬下流「ドナウ」兵團 長中將長中將 チンメルマンチンメルマン 第十四軍團第十四軍團 長長 第十四軍團第十四軍團 歩兵第十七歩兵第十七

薩克騎兵第二十九聯隊 八月下旬八月下旬 龍騎兵第七聯隊龍騎兵第七聯隊 交代交代 シメラルシメラル ドナウドナウ ハハ ツエルナホフツエルナホフ クニスタンクニスタン ヘヘ

哥薩克騎砲兵第四中隊 計計 歩兵二十四大隊歩兵二十四大隊 騎兵三十二中隊騎兵三十二中隊 砲百二十門砲百二十門 ハハ ツエルナホフツエルナホフ クニスタンクニスタン ヘヘ

ノ線ニ進出セシ以來八月中旬ニ至ルモ敢テ前進ヲ企圖スルコトナク其線上ニ停止セリ即チ歩兵第十七師團ハ約半部ヲ以テ ツエルナホフCernavoda 及其東方 カハCala-

ビチホイbichioi ヲ他ノ約半部ヲ以テ メドジディアMedgidia ヲ占領シ又歩兵第十八師團ハ約半部

ヲ以テ其東方 Murfatar ヲ他ノ約半部ヲ以テ Kustendje ヲ占領シ又騎兵ノ主力ハ其前方十乃至二十吉米ノ地ニ在リテ警戒ニ任シ別ニドン哥薩克騎兵第四十聯隊長中佐ドミトローフノ指揮スル同聯隊ノ四中隊及砲二門ハ *Lejva* *Donau* 河畔 *Sibir* ニ在リテ「アッレル」支隊トノ連絡ニ任ス
兵團ノ任務ハ七月末 *Plivena* 敗戦ノ結果成ル可ク多ク四角要塞内ノ土軍ヲ牽制シ土軍若シ攻撃シ來ラハ *Cernavoda, Kustendje* ノ線ヲ固守スルニ在リ
二日軍參謀長ノ通報及其以後 再三此事ヲ指示セラレタリ 月八

八月中旬兵團司令官中將チンメルマンハ兵團ニ對スル土軍ノ兵力ヲ約五萬ト推定シ (*Silistra*) ニ一萬二千乃至一萬五千 *Varna* ニ一萬五千 *Dobric* ニ二萬尙 *Sumla* ニハ少クモ約三萬ノ土軍アリトナシ兵團ハ既ニ充分牽制ノ目的ヲ達成セルノミナラス強テ攻勢ヲ取ルトキハ *Sumla* ノ土軍隨時來援スヘキヲ以テ兵團ハ却テ危地ニ陥ルノ虞アルヲ以テ依然現陣地ヲ固守スルヲ以テ足レリトシ且遠ク搜索部隊ヲ派遣スルコトナク單ニ土民及逃亡

兵ニヨリテ敵情ヲ蒐集ス此時ニ當リ兵團司令官ハ *Varna* 附近ニ上陸シタル土軍埃及王子ハッサンノ指揮スル部隊ハ攻撃ヲ準備シホバルトバシアノ指揮スル艦隊之ニ加リ且一部隊ヲ乗船セシメントストノ報告ヲ受領シ又八月二十日 *St. Petersburg* 發左記要旨ノ電報ヲ受領ス

埃及兵約七千ハ *Sulina* *Donau* 河口露土兩軍ニ上陸シ *Julcea* ニ向ヒ前進シ *Cernavoda, Kustendje* ノ線ヲ南北ヨリ攻撃スル爲目下增加隊ノ來著ヲ俟チツツアリ

茲ニ於テ兵團司令官中將チンメルマンハ土軍必ス兵團ノ背後ヨリ攻撃スルコトアルヘキヲ判断シ軍司令官ニ増援ヲ要求シ且第七軍團 *Donau* 河岸近ニ位置ス 此目的ノ爲使用セシメラルルヲ適當トスル旨ヲ附加セリ
八月二十四日兵團司令官ハ軍司令官ヨリ右報告ノ回答トシテ左記要旨ノ訓令ヲ受領セリ

下流「ドナウ」師團ヲシテ情況之ヲ許ス限り兵團ヲ援助セシム兵團ハ優勢

ナル敵ノ攻撃ヲ受クルモ頑強ニ抗戰シ軍ノ背後ヲ安全ナラシムヘシ之
 カ爲メ Cernavodaニ步兵一旅團又ハ一聯隊ヲ Medgidiaニハ步兵一師團又
 ハ步兵五聯隊及騎兵三聯隊ヲ Kistendjeニハ歩騎兵各一聯隊ヲ配置スル
 ヲ適當トス
 兵團ハ配置ヲ改ムルコトナク依然 Cernavoda, Kistendjeニ停止シ尙下流「ドナ
 ウ」師團ニ連絡シテ Sulina 方面ノ情況ニ注意セシカ其後同方面ニ敵兵上陸
 ノ模様ナシ

其三「アッレル」支隊ノ行動 第一覽圖第一
第二參照

「ルスチュック」兵團所屬ノ「アッレル」支隊 長歩兵第三十二師團長中將アッレル歩兵第三十
二師團第二旅團騎兵第三十一聯隊五中隊騎兵第
十一師團第二旅團騎兵第十二「ドナ」哥薩克騎兵第十一聯隊砲兵第三十「ブカレスト」方向ニ對ス
ル土軍ノ出撃ニ對シ軍ノ背後ヲ安全ニシ且「ルスチュック」兵團ノ Kuscuk 要
塞攻撃ヲ援助スヘキ任務ヲ以テ依然其右翼部隊 歩兵四大隊騎兵
七中隊砲八門 ヲ以テ Petra-
sani バチン Flamanda フラムンダ 其主力ハ Gurgevo 及其南
方 Slobozia 附近ニアリ ノ線ヲ占領シ 又左翼部隊 歩
兵

二大隊騎兵八 中隊砲八門 ヲ以テ Flamanda, Olenitia ノ線ヲ占メ 其主力長大佐ブラクシン「歩兵第百二
十七聯隊長」歩兵二大隊騎兵一中隊砲
八門ハ Olenitia 要塞砲擊ノ爲メ配屬セラレタル攻城砲兵ハ Gurgevo, Slobozia
間ニ陣地ヲ占領シ支隊長中將アッレルハ Slobozia ニアリ
 支隊ト「ルスチュック」兵團トノ連絡ノ爲 Petrosani, Batin 間ニ永久橋及電線ヲ架
 設スル豫定ナリシモ未タ完成セサリシヲ以テ汽船及手旗信號ニ依リテ連
 絡ス

支隊ハ直接 Donau 河畔ヲ占領シ Petrosani ヨリ Calarasiニ至ル約百五十吉米
 ノ間ヲ警戒シ勤務ノ繁忙ナルノミナラス卑濕ナル沼澤地ノ影響ヲ蒙リ八
 月中旬迄ニ病氣ノ爲三百餘名ノ減員ヲ來セシヲ以テ八月二十日其回答ト
 レルハ「ルスチュック」兵團司令官ニ増加兵ヲ請求シ八月二十二日其回答ト
 シテ増加隊ヲ派遣シ難キノミナラス却テ Olenitiaニハ步兵二中隊ヲ殘シ同
 地ニアル他ノ部隊 歩兵二大隊「一中隊缺」
騎兵一中隊「八門」 及海軍支隊 實力二
中隊 ヲ攻城砲兵掩護ノ爲
 Gurgevo 附近ニ招致スヘシトノ命令ヲ受領ス然レトモ海軍支隊ハ Petrosani

附近ノ架橋及諸種ノ水上勤務ニ服務シ又 Olenita^{オレンティツ}ノ守兵モ其實力歩兵二中隊内外ニ過キサリシヲ以テ中將アッレルハ兵團司令官ノ命令ニ應シ難キ旨ヲ報告ス

支隊前面ニ於テハ中旬以後九月ニ至ルマテノ間 Girgevo^{ギルゲボ} 附近ノ攻城砲兵ハ Kuscuk^{クスク} 要塞ニ對シ若干ノ砲撃ヲ行ヒ又「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊(第一中隊缺)ハ「ルス」兵團ニ合スル爲 Donau^{ドナウ} 河右岸ニ向ヒ出發シ中將アッレルノ指揮下ヲ去レリ^{二二二日ヨリ二十九日ニ互ル間ニ} Donau^{ドナウ} 河ヲ渡過シ右岸ニ移レリ

四 西方面ノ作戰^{二覽圖第}

八月十三日西部兵團^{第九軍團ノ步兵第五師團同第三十一師團騎兵第九師團(龍騎兵第九聯隊六十一聯隊砲兵第十六旅團第一中隊缺)同第三十師團騎兵第四師團(ドン)哥薩克騎兵第十六師團(步兵第百八門)ハ既記ノ如ク^{第二卷附圖第} Turski-Frostenik, Zgaljuvec, Pelsat, Vladina^{トルスキフロステンク、ズガルジュベク、ペルサト、ヴラディナ}ノ線ヲ占領シテ Plevna^{プレヴナ}ノ土軍ト相對シ而シテ同兵團ニ屬スル一部歩兵第百十七聯隊(一大隊缺)高加士哥薩克騎兵旅團龍騎兵第十一聯隊砲兵第三十旅團第一}

八月十三日
西部兵團位
置ノ概要

中隊^{此等部隊ハ少將スコベレフニ屬シテ八月七日^{ロヴナ}ニ對シテ威力偵察ヲ實施シ其後同隊ハ解散セラレシモ未タ原隊ニ復歸セサルモノナリ而シテ八月中旬間ニ高加士哥薩克騎兵旅團ヲ除キ歩砲兵部隊ハ西部兵團内ニ龍騎兵第十一聯隊ハ軍豫備隊ノ所在地タル^{トルスキ} Cerstena^{チェルステナ}ニ到リ後同隊ノ所屬隊タル騎兵第十一師團第一旅團ノ後ヲ追ヒテ^{ヤンク} Cajre^{カジェ}ニ向ヒタリ^{ジョグラーヴ} Joglav^{ジョグラーヴ}ニ在リ}

同兵團ノ右翼ニハ羅馬尼第四師團^{ブルガリア} Brosljanica^{ブロスリヤニツァ} 及其北方^{ニコポリ} Nikopoli^{ニコポリ}ニ互ル間ニ在リ同第三師團ハ^{ドナウ} Donau^{ドナウ} 渡河ノ目的ヲ以テ^{イスクル} Isker^{イスクル} 河口ノ對岸ニ在リ而シテ兵團ノ左翼ニハ南部兵團ニ屬スル「セルエビ」支隊ノ一部^{カクリナ} Kakrina^{カクリナ}ノ南方ニ在リ

當時兵團司令官ハ諸方面ノ報告ヲ綜合シ左ノ如ク敵情ヲ判斷ス

Plevna^{プレヴナ}ノ土軍ハ増加シツツアリ^{全兵力ヲ三萬乃至四萬砲六十門ト算シテ}而シテ土軍ノ築城ハ益々其範圍ヲ擴大シ又四十大隊ノ兵力ヲ有スルハ^{ファイツパシア}ファイツパシアノ部隊^{プレヴナ} Plevna^{プレヴナ} 應援ノ途上ニ在リ土耳其古ノ三總督^{アヒメット}アヒメット^{エユッパ}エユッパ^{シア}シア^{スライマン}スライマン^{パシア}パシア^{及ハ}及ハ^{ファイツパシア}ファイツパシア^ハハ^{プレヴナ}プレヴナ^ニニ會合セシヨリ察スルニ土軍ノ作戰ハ必ス^{プレヴナ} Plevna^{プレヴナ} 方面ヨリ發展スルナラン

八月十三日
軍參謀長ノ
通報

八月十三日中將ツオトフハ軍參謀長ヨリ左ノ通報ニ接ス

七月二十九日野戰砲及夥多ノ砲兵豫備品ハ歩兵五百及騎兵若干ノ掩護
ヲ以テ *Vidin* ヨリ *Plevna* ニ向テ行進ス 此報告ハ塞耳維ヨリ羅馬尼亞軍ヲ經
由シ軍司令部ニ達セシモノトス 情況

之ヲ許サハ輸送物ヲ略取或ハ破壊センカ爲ニ騎兵ヲ派遣スヘシ

依テ中將ツオトフハ直ニ騎兵第九師團長少將ラシニカリエフニ槍騎兵第
九聯隊、ドン、哥薩克騎兵第二中隊及騎兵第四師團第一旅團ヲ屬シテ其企圖
ヲ實行セシメ同時ニ歩兵第九師團ヨリ *Vite* 渡河警戒ノ目的ヲ以テ *Riben*
ニ歩兵一大隊及砲四門ヲ次テ *Riben* 附近 *Vite* 河支流ノ渡河點築設ノ爲混
成ノ工兵一隊ヲ派遣セントス然ルニ其實行ニ著手スルニ先チ降雨息マス
河水氾濫シテ騎兵ノ活動ヲ妨害スルコト甚シカリシヲ以テ兵團司令官ハ
軍司令官ノ承認ヲ得テ該企圖ノ實行ヲ中止セリ

八月十五日以後西部兵團ハ益々守備線ヲ堅固ニシ又決戰ノ準備ニ從事シ之
ハ歩兵聯隊ハ突撃器具ノ製作ニ從事シ長サ四米餘ノ梯子二十、高サ九十一、米堡籃二百個及長サ二
米一三ノ束柴百個ヲ製作シ尙演習堡壘ヲ構築シテ築城陣地ニ對スル突撃法ヲ演習シ *Plevna* 附近ノ
乃至十八日
ノ情況

騎兵第九師
團ハ三河左
岸ノ進出

測量ニ著手シ又敏陣地ニ 十六日第九軍團ノ補充員二千餘名到著セシヲ以テ兵
通スル進路ヲ偵察シタリ

團ハ攻撃實施ヲ豫期シテ十七十八日軍隊ノ移動ヲ實施シ主力ヲ *Pordin*,
Peisat, *Zgajuvce* 附近ニ集合ス

中將ツオトフハ土軍再ヒ *Vite* 河左岸ニ於テ徵發ヲ行ヒ並ニ諸種ノ需用品
ヲ *Sofia* 方面ヨリ輸送スルヲ知り曩ニ中止シタル企圖ヲ實行セント欲シ *Vite*
左岸ニ騎兵ヲ派遣ス其命令ノ要旨次ノ如シ

一、少將ラシニカリエフハ騎兵第四師團槍騎兵第九聯隊及ドン、哥薩克騎
砲兵第二中隊 實施ニ當リテハ此
兵力ニ變更アリ ヲ指揮シ *Sofia* ニ通スル街道ニ向テ前進シ

土軍ノ輸送物品ヲ略取シ糧食品ノ供給ヲ困難ナラシムヘシ
二、騎兵團ノ *Vite* 渡河ヲ掩護スル爲第九軍團ヨリ砲二門ヲ有スル歩兵一
大隊ヲ *Riben* ニ派遣スヘシ 歩兵第百二十四聯隊ノ四中隊砲
二門其任務ニ服シタルカ如シ

三、前項掩護部隊ハ其後直ニ羅馬尼亞軍ノ部隊ト交代セシム之カ爲羅馬尼亞
軍第四師團長ニ左ノ件ヲ命令セリ

(一) 歩兵一大隊砲兵半中隊ヲ Riben ニ派遣シテ騎兵部隊ノ Vit 河ノ
渡過ヲ掩護シ尙 Vit 左岸ニ於ケル騎兵ヲ支援スヘシ

此支隊ハ二十日第九軍團ノ部隊ト交代
シ第二項ノ部隊ハ直ニ原隊ニ復歸セリ

(二) 前衛トシテ歩兵二大隊及砲兵一中隊ヲ Kolesovat ニ前進セシメ爾
餘主力 (Nikopoli 要塞ニ在ル二大隊ヲ除ク) ハ Brosjanica ニ集合シ
Riben 及 Kolesovat 附近ニ陣地ヲ構築スヘシ

是ヨリ先中將ツオトフハ南部兵團ト西部兵團間ノ連絡及警戒ニ關シ軍司
令官ヨリ成シ得レハ高加士騎兵旅團ヲ Lovca 方面ニ在ル中將スワヤトボ
ルクミルスキー 支隊長「セルエビ」 隊ニ屬スヘキ命令ヲ受ケ又十九日セルエビ支隊
長ヨリ高加士騎兵旅團配屬ノ請求ヲ受ク 當時セルエビ支隊長ハ土軍 Lovca ヨリ攻勢
攻勢ヲ取ルナラント判斷セリ(其理由ハ Lovca ニ通スル良好ナル交通路アルカ故ナリト云フ)而シテ
「セルエビ」支隊長ハ哥薩克騎兵ヲ有スルモ各所ニ分遣シ且數多ノ鞍傷馬アリシヲ以テ該旅團ヲ得テ
Osmia 河及 Lovca 全地域ヲ制シ 然レトモ中將ツオトフハ常ニ該旅團ヲ兵團
且第四軍團ト確實ニ連繫セント欲ス 且第四軍團ト確實ニ連繫セント欲ス 然レトモ中將ツオトフハ常ニ該旅團ヲ兵團
ニ近ク使用セシメントスルノ意アリシヲ以テ之ニ應セス單ニ河水減少セ

八月十八日
Plevna 攻
撃ニ關スル
期日ノ決議

土軍 Zheleznitsa
峠攻撃ノ通
報及 Plevna
攻撃ノ延期

ハ高加士哥薩克騎兵旅團ヲ Osmia 右岸ニ進出セシメントシ Slatina ヨリ歩兵
一大隊ヲ Jozhav ニ派遣ス

十八日中將ツオトフハ西部兵團司令部ニ來著セル軍參謀長ト Plevna 第三
會戰ニ關スル會議ヲ開キ中將ツオトフハ歩兵第二師團及狙撃歩兵第三旅
團ノ増加ヲ得ハ攻撃兵力ハ充分ナルヲ以テ歩兵第三師團ノ來著ヲ待ツコ
トナク其運動ニ著手スルヲ得ルモ攻撃開始前二十四斤砲十門及臼砲十門
ノ増加ヲ要ストノ意見ヲ述ヘ之ニ依リテ Plevna 攻撃ヲ八月下旬ニ實施ス
ルニ決ス 軍參謀長ハ其際土軍ハ Plevna 放棄シ Trojani 經テ巴爾幹山ヲ超エテ退却ス
ルノ準備ヲ爲シタリトノ八月十八日維納及君士坦丁堡發ノ電報ヲ告知セリ 然ルニ
八月二十日中將ツオトフハ軍司令官ヨリ土軍約四十大隊 Zinka 山ヲ攻撃
シ南部兵團司令官ハ東方ヨリ來レル優勢ナル土軍ニ對シ援助ノ爲 Tinovo
ノ東方及東南方ノ Natarica 及 Bedrovo ニ向テ進軍シ又接手シタル報告ニ依レ
ハメヘメツトアリーパシア及スライマンパシアハ二十日露軍ヲ攻撃スル
ニ決シタルカ如シトノ通報ヲ受領シ又軍參謀長ヨリ歩兵第三十五聯隊ハ

Sevlijevo 河リ Sipka に向テ差遣セラル故ニ土軍若シ Lovca に向ヒ出撃セ
 ナカ Sevlijevo 殘留セル兵力ハ之ヲ拒止スル困難ナルヲ以テ軍司令官ハ步
 兵第二師團ヲ Sevlijevo 方面ニ前進セシメ而シテ Sipka 峠ニ於ケル情況如何
 ニヨリテハ同師團ハ或ハ同方面ニ使用セラルルコトアルヘシ又白砲ハ諸
 種ノ原因ニヨリ機ヲ逸セス西部兵團ニ送致スルコト不可能ナリトノ通報
 ヲ受ク是ニ於テ中將ツオトフハ歩兵第二師團及狙撃歩兵第三旅團ヲ除ケ
 ハ來著セル補充員竝ニ羅馬尼第四師團ヲ加フルモ西部兵團ノ兵力未タ五
 萬以上ニ達セス此兵力ヲ以テ七萬乃至八萬ヲ下ラサル土軍ヲ Plevna ノ築
 城陣地ニ攻撃スルハ困難ナリトシ乃チ先白砲ノ代用トシテ遠射程ノ加農
 砲少クトモ二十門ノ増加ヲ得テ物質上及精神上ノ優越ヲ得ント欲シ二十
 一日軍司令官ニ意見ヲ具申シ 同理由中ニ日々遠距離ニ達スル土軍火砲ニ對シテ特ニ必要ナリト 茲ニ曩ニ決議セシ
 Plevna 攻撃ノ期日ハ事實上延期セララルニ至レリ

八月二十日

此間少將ラシユカリエフノ指揮スル部隊 槍騎兵第四聯隊龍騎兵第四聯隊槍騎兵第九
 聯隊羅馬尼軍騎兵第三聯隊騎砲兵第七中隊

乃至二十二日
 騎兵第九
 師團河
 方岸ノ行動

下ノ哥薩克騎砲兵第二中隊
 計騎兵十六中隊騎砲兵十二門 ハ前記企圖ヲ實行セントシ二十日午後三時三十分頃
 出發 Vit 河右岸ニ槍騎兵第九聯隊ノ一部ヲ殘シテ Plevna 方向ニ對シテ警戒
 セシメ主力ハ午後六時頃同河左岸 Prostenik 附近ニ宿營シ二十一日拂曉宿
 營地附近ニ於テ糧食品ヲ Plevna ニ送り歸途ニ在リシ布爾牙利人ノ空車輛
 八十ヲ略取シ次テ龍騎兵第四聯隊ヲ Dofa ニ通スル街道上 Mitropolija Prostenik 東南方
 方向ニ派遣ス同聯隊ハ同日 Plevna ニ輸送物ヲ運搬シ歸途ニ在リシ輸送隊
 ヲ襲ヒ車輛約二百五十及數多ノ家畜ヲ鹵獲シ歸路歩兵約二大隊及不正規
 騎兵二中隊ノ土軍ニ遭遇シ之ヲ擊退セリ
 是日少將ラシユカリエフハ土軍歩兵二大隊騎兵四中隊及砲四門 Plevna ヨ
 リ騎兵團ニ向ヒ前進セシヲ知り翌二十二日之ヲ攻撃セントシ二十二日朝
 騎兵部隊未タ運動ヲ起ササルニ當リ土軍ハ露軍騎兵前哨ヲ驅逐シ徒歩セ
 ル槍騎兵ニ向ヒ戰鬪ヲ開ク少將ラシユカリエフ部隊ノ騎砲兵ハ直ニ土軍砲
 兵ニ向ヒ射撃ヲ開キ此間龍騎兵第四聯隊來リテ土軍ノ後方ニ迂回シタル

ヲ以テ土軍ハ戦闘ヲ中止シ Plevna ニ退却ス是ヨリ先少將ラシユカリエフ
ハ中將ツオトフヨリ退却スヘキ命令ニ接セシヲ以テ事後ノ記事参照午後五時頃
Turski-Trostenik ニ歸著シ同隊ハ此際Gataニ通スル電線ヲ破壊セリ二十三日中將ツオトフノ命令ニ依
リ騎兵第四師團第一旅團及騎砲兵第七中隊ヲ Porvina ニ前進セシム羅馬尼
騎兵第三聯隊竝ニ Riben ノ渡河點ニ在リシ部隊ハ是ヨリ先各原隊ニ歸還
セリ

八月二十一日
日軍參謀長
通報

八月二十一日午後九時十五分中將ツオトフハ軍司令部ヨリ左ノ通報ヲ受
領ス

スライマンパシアハ Sipka 守備隊ニ肉薄セリ中將ラデッキーハ之ヲ援
助センカ爲同地ニ赴キ歩兵第十四師團第一旅團ハ Lovca 方面ヨリ Sevljevo
Ijevo ヲ經テ Sipka ニ赴ケリ歩兵第二師團ハ之ト交代スル爲 Sevljevo ニ
前進ス西部兵團ハ Plevna 及 Lovca 方面ノ情況ヲ偵察シ同方面ノ敵兵ス
ライマンパシアヲ援助スル爲行動スルヤ否ヤニ注意スヘシ

八月二十二日
日西部兵團
ノ部署

越エテ二時間軍參謀長ヨリ左ノ通報ヲ受領ス

敵ハ Lovca ヨリ Sevljevo ニ向テ前進ス本日二十日正午十二時戦闘開始セ
ラレタリ軍司令官ハ西部兵團司令官ニ直ニ砲兵ヲ有スル歩兵一旅團ヲ
Lovca ニ派遣シ敵ノ側面ヲ攻撃スヘシト命令セラル貴官ハ其部署ニ關
シテ報告スヘシ Sipka ニ於テハ今尙戦闘止マス貴官ハ Plevna 方面ヨリ
ノ攻撃ニ對シテ備フル所アレ

依テ中將ツオトフハ二十二日左ノ處置ヲ爲ス

一歩兵第六十四聯隊歩兵第一百十八聯隊一大隊先ニ Lovca ニ出セシ一大隊高加ハ此大隊ニアラスヤ
士哥薩克騎兵旅團砲兵第十六旅團第二中隊及工兵第三大隊第二中隊
ノ半小隊ヲ少將スコベレフニ屬シ Tepava ヨリ Lovca-Sevljevo 大街道ニ
向ヒ前進セシム中將ツオトフハ歩兵一旅團ヲ少將スコベレフニ屬セサリシ理由ヲ述ヘテ曰ク西部兵團ハ乾麵麩缺乏シ一週間ノ需要品ハ之ヲ四大隊ニ供給シ得ルニ過キサリキト

一少將ラシユカリエフ部隊既記ノ如ク左岸ニ進出セリ河ニ退却ヲ命シ騎兵第四師團第
第十四章 八月中旬ヨリ同三十日ニ至ル作戰

一旅團及騎砲兵一中隊ヲ第四軍團ニ復歸セシム
 騎兵第四師團第一旅團騎砲兵第七中隊ハ Pordim ポルヂムニ於テ第四軍團ニ合
 シタル後之ニ騎砲兵第八中隊ヲ増加シ Osma オスマ 河畔ニ差遣シ各騎兵一
 聯隊及騎砲兵一中隊ヲ以テ Vétron, Aleksandorovo ヴェトロン、アレクサンドロヴォノ兩地ヲ守備セシム
 二第四軍團ヲ Pordim, pelisat, Zgaljuvec ポルヂム、ペリスアット、ジガルジュベツノ地域ニ集結シ土軍若シ第四軍團ニ
 對シテ攻撃シ來ル場合ヲ顧慮シ第九軍團ヲシテ其援助ニ必要ナル準
 備ヲナサシム

五「ドン」哥薩克第九聯隊二中隊ヲ Vradina ヴラヂナニ位置セシム

以上ノ處置ハ二十二、二十三日ニ命令セラレ概ネ二十三日中ニ實施セラレ
 タリ

二十三日西部兵團司令官ハ Lovca ロフチャヨリ Sevlijevo セヴリジェヴォニ向テ實施セラレタル土
 軍ノ攻勢ハ偵察ノ爲小部隊ノ前進シタルニ過キサリシコトヲ知り又軍參
 謀長ヨリ Lovca ロフチャヨリ攻撃ヲ受クルコトナケレハ「スコベレフ」支隊ヲ再ヒ西

八月二十三
 日少將スコ
 ベレフ部隊
 ノ Kakrina
 到着

少將スコベ
 レフ部隊ノ
 使用ニ關ス
 ル交渉

部兵團ニ復歸セシムルヲ得「ト」ノ通報ニ接シ少將スコベレフニ復歸ヲ命ス
 是ヨリ先少將スコベレフノ部隊ハ Dojenci ドイレンチ トギラフニ集合シ二十二日 カク
 rina リナニ向ヒ前衛ハ夕頃同地ニ到着シ主力ハ此日 Tepava テパヴァニ宿營シ翌二十三
 日夕 Kakrina カクリナニ於テ前衛ニ合シ 斯ク行軍速度僅少ナルハ輻重及砲兵第十六旅團第二中隊ノ馬匹ノ不良ナルニ基因ス二十四日
 歩兵第二師團長少將イメレチンスキーノ部隊ト連絡ス同日少將スコベレ
 フハ西部兵團ニ復歸スヘキ前記兵團命令ヲ接手シ「セルエビ」支隊長中將ス
 ワヤトポルクミルスキーニ其旨ヲ通報シ同中將ヨリ暫ク現在地ニ留ルヘ
 シトノ命令ヲ受ク而シテ歩兵第九師團長ハ少將スコベレフ部隊ヲ留置セ
 シムルト同時ニ西部兵團司令官中將ツォトフニ請フテ曰ク中將ラデッキ
 ーハ Sipka シプカ 峠ニ對シ攻勢移轉ヲ企圖スルモノノ如シ此企圖ニシテ實現セ
 ラレンカ Lovca ロフチャヨリモ亦攻勢ヲ採ルヘキコト殆ト疑ヲ容ルル餘地ナシ故
 ニ「スコベレフ」支隊ヲ Sipka シプカ 附近ノ戰鬪落著スル迄歩兵第九師團ノ前衛ト
 シテ留置セシメンコトヲ欲スト中將ツォトフハ此請求ヲ受クルト同時ニ

少將スコベレフヨリ左ノ意見具申ニ接ス其第一ニ受ケタルモノハ少將スコベレフ未タ復歸ノ命令ヲ受ケサルトキニ發シタルモノニシテ其要左ノ如シ

八月上旬間 ^{ロフチヤ} Lovca ニ集合セル土軍ノ兵力減少セルハ疑ヲ容レス同地ヲ略取スルニハ約一旅團ノ増援ヲ得ハ足レリ而モ此地ヲ占領スルハ西部兵團ノ計畫ノ一部ヲ實行スルモノナリ中將ラデッキー部隊攻勢ニ轉スルカ爲第二師團全部ヲ使用スルハ兵力過剩ナリ同師團ハ目下 ^{ロフチヤ} Lovca ニ近キ處ニアリ故ニ其一旅團ヲ二十七日頃迄ニ ^{ロフチヤ} Lovca ノ前面ニ集中セシムルコト敢テ困難ナラス少將スコベレフノ部隊ニシテ若シ一旅團ノ増加ヲ得ハ八月三十一日又ハ九月一日ニハ同地ヲ攻略スルコトヲ得ヘシ ^{シプカ} Sipka ニ於テ勝利ヲ得又 ^{ロフチヤ} Lovca ヲ占領センカ全軍ニ有利ナル影響ヲ與フヘキコトハ明ナリ

第二ニ受ケタルモノハ少將スコベレフカ中將スワヤトポルクミルスキー

ヨリ殘留命令ヲ受ケタル後發シタルモノニシテ其要左ノ如シ

第一余ハ目下ノ情況ニ在リテハ ^{ロフチヤ} Lovca ノ敵兵出撃スルノ顧慮極メテ微々タルモノト認ム

第一 ^{ガブロ} Gabrovo ヲ略取セラルルコトアランカ ^{プレナ} Plevna ノ土軍ニ對シテ ^ト Lovca ノ渡河點ヲ掩護スルハ第四軍團ノ當然ノ任務ナリ故ニ目下西部兵團ヲ薄弱ナラシメントスルカ如キハ機宜ニ適フモノト云フヘカラス

第三土軍 ^{トロヤン} Trojan ヲリ攻撃シ來リ若クハ ^{セヴィエ} Sevlievo 附近ニ在ル諸隊ノ左翼ヲ攻撃セラルル場合ニハ予ノ指揮下ニ在ル諸隊ハ退却スルノ止ムヲ得サルニ至リ爾後作戰間西部兵團ヨリ分離スルコトナシトセス ^{セヴィエ} Sevlievo ノ地キカ又退却セサルヘカラサル理由明了今ヤ土軍ハ百大隊ヲ以テ ^{シプカ} Sipka 峠ヲ攻撃ナラス暫ク原文ニ準據シテ疑ヲ存スシ露軍ノ損傷ハ日々一千ヲ下ラス同軍ハ飲料水給養及彈藥ニ缺乏シ増援隊ニ屬スル歩兵第二師團ノ一旅團ハ ^{シプカ} Sipka 峠増援ノ途上ニ在リ(中略)要スルニ情況ハ不利ナリ是カ爲小官ハ西部兵團ニ連合スルコトニ努力

セサルヘカラストラゴミロフハ負傷セリ云々 第一ノ意見具申ト企ク其意見ヲ異ニスルハ不可思議ナリ察スル

ニ少將スコベレフハシク不利ニ判断セシニ依レルモノナラム

然ルニ此間軍司令部ニ於テハ「スライマンパシア軍ニ對シ迂回チ行ハンカ爲充分ナル兵力ヲシカニ近ク集結セント欲シDeviljevo附近ニ進出セル歩兵第二師團ヲGadrovo方面ニ招致シ歩兵第三師團第二旅團ヲDeviljevoニ前進セシメ又「スコベレフ」支隊ヲKukrina陣地ニ留メ中將スワヤトボルクミルスキーニ隷屬セシムルニ決シ二十五日中將ツォトフハ之ニ關スル命令ヲ受ク依テ中將ツォトフハ翌二十六日少將スコベレフニLovca及Deviljevo間ノ街道ニ位置スヘキ命令ヲ與ヘ同少將ハ又軍司令部ヨリ歩兵第二師團長少將イメレチンスキーヲ經テ同一事項ニ關スル通報ヲ受領シ少將スコベレフハ爾後西部兵團ノ隷下ヲ脱シKukrina南方陣地ヲ占領シ且Lovca方面ヲ偵察ス

少將スコベレフノ新任務

Plevna攻撃延期ノ軍訓令

軍司令官ハSipka峠ノ確守ヲ頗ル重要視シPlevnaノ攻略ニ使用セントシタル増援部隊ヲSipkaニ向テ行進セシメタリ故ニ南方方面ノ作戰一段落ヲ告クルニ至ル迄Plevnaノ攻撃ヲ延期ス中將ツォトフハDonau河ヲ渡河セル羅馬尼軍ト連合シPlevnaノ土軍ニ對抗シ左ノ諸件ニ注意スヘシ

- 一、オスマンパシア西部兵團ヲ攻撃スルニ際シ兵團ハ占領セル陣地ヲ固守シ已ムヲ得サル場合ニ於テモOsma河ヲ越エテ退却スヘカラス同河線ニ於テハ死力ヲ盡シテ敵ヲ拒止スヘシ
- 二、オスマンパシア羅馬尼軍ニ向ヒ攻撃スルニ際シ西部兵團ハ必要缺クヘカラサル部隊ノミヲPlevna前面ニ殘留シ主力ヲ以テ同軍ヲ援助シ土軍ヲPlevna陣地外ニ於テ攻撃スルカ若クハ兵團ノ主力ハ直ニPlevnaノ敵ニ向ヒ前進スヘシ但シ攻撃奏效ヲ期待シ得ルニ至リテ始メテ決戰的動作ニ出ツルヲ要ス

二、オスマンパシア若シ巴爾幹山ニ向フトキハ攻勢ニ轉シ敵ヲ追及シ殲滅ヲ計ルヘシ

四、羅馬尼軍ハ同軍司令官ノ到著スル迄ハ西部兵團司令官ノ指揮ヲ受

ケシム 此事ニ關シテハ大本營モ亦羅馬尼軍ト互ニ意志ヲ疏通セリ

羅馬尼軍ノ
情況

西部兵團ノ
編成變更
(羅馬尼軍
ノ増加)

依テ中將ツォトフハ羅馬尼軍ヲ Plevna 攻撃開始前 右岸ニ移シ露軍ト直接連合セシメ尙土軍ノ連絡線遮斷ノ目的ヲ以テ騎兵ヲ派遣セントス 是ヨリ先羅馬尼軍ハ Corabia ドナウ河ノ對岸 附近ニ於テ Donau ノ渡河ヲ開始シ八月二十四日同第三師團ノ前衛ハ渡河ヲ終了シ尋テ直ニ Donau 河ノ架橋ヲ開始シ 九月一日架橋完成ス 主力ハ二十五日及二十六日 Corabia 附近ニ於テ渡河ヲ續行シ二十六日夕同第三師團ハ全部 Donau ヲ渡河シ二十七日騎兵半旅團ハ Ghit-janoi ニ進ミ羅馬尼第四師團ノ騎兵ト連絡セリ

羅馬尼王カールハ二十七日露國大本營ニ赴キ茲ニ兩國軍ノ協定全ク成立シ二十九日ノ命令ヲ以テ羅馬尼王カールハ西部兵團司令官ニ任命セラレ

西部兵團ハ中將ツォトフノ指揮下ニ在リシ露軍並ニ羅馬尼第二第三第四師團ヨリ成リ中將ツォトフハ同兵團參謀長トナリ羅馬尼陸軍大臣將官セルナタハ羅馬尼作戰軍ヲ指揮シ之ト同時ニ羅馬軍ハ其作戰ヲ露軍ト同様ニ右岸ニ移スニ決ス 羅馬尼軍最後尾ハ九月二日 Donau 河ヲ渡リ西部兵團ノ右方ニ集合セリ 此時ニ當リ既ニ記述シタルカ如ク 本卷一般ノ情況ニ六頁參照 南方面ニ於ケル作戰計畫決定セラレ露軍ハ先オスマンパシア軍ヲ擊破セントス即少將スコベレフ部隊ハ少將イメレチンスキ一ニ屬シ步兵第二師團狙擊步兵第三旅團步兵第三師團第二旅團等ト共ニ Plevna ヲ占領シ以テ Plevna ニ前進シテ西部兵團ニ合シ同兵團ハ少將イメレチンスキーノ部隊 Lovca 攻撃ノ日ヲ以テ Bigarane ニ運搬サレタル攻城加農砲ヲ以テ Plevna ヲ砲撃シ次テ攻撃ヲ實施スルコトニ決定セラレ西部兵團ハ爾後益々 Plevna 攻撃ノ諸準備ヲ爲セリ

附記 八月下半期間 Plevna ニ在ルオスマンパシアノ軍ノ情況變化ナシ
八月末 Plevna 前面ノ露軍ハ大ニ増加セシ模様アリ然レトモ直ニ攻撃

ヲ行ハントスルカ如キ情況ヲ呈セサリキ是ニ於テオスマンパシアハ前記スライマンパシアノ請求ヲ顧慮シ三十一日 *Polizat* ニ向ヒ出撃スルニ決シスライマンパシアメヘメツトアリーパシアニ通報シ三十日此企圖ニ對スル準備ヲ行フ

第十五章 八月三十日ヨリ九月中旬ニ至ル作戰

一、一般ノ情況 一覽圖第一第二第三並附圖第三十八第五十九參照

軍參謀長大將ネボコエチツキーハ *Dipka* 峠ヲ巡視シ八月三十日爾後ノ作戰ニ關シ中將ラデツキート商議シ其結果東正面及南正面ニ於テハ守勢ヲ取り先ツ *Lovca* ヲ占領シ次テ *Plevna* ヲ攻撃スルニ決ス此決議ハ軍司令官ノ承認スル所ト爲リ今ヤ戰局ハ南正面ヨリ西正面ニ移ラントス之カ爲軍司令官ノ爲シタル部署ノ大要概ネ次ノ如シ

- 一、軍隊區分ヲ改メシブカ兵團、ロブチア攻撃部隊、西部兵團、中將シァコウ

八月三十日
後軍ノ新部
署

スコエ兵團、ルスチユツク兵團、アッレル支隊ヲ屬スルコト如故、下流ドナウ兵團、軍總豫備隊トス其軍隊區分附録第六ノ如シ

二、シブカ兵團ハ *Dipka* 峠附近竝ニ *Revlijevo* 附近ヨリ *Plevna* 峠ニ至ル間ノ守備ニ任ス

三、ロブチア攻撃部隊ハ九月一日ヨリ三日ニ互ル間ニ於テ *Lovca* ヲ攻略シ次テ同地守備ノ爲一支隊 旅約一 ヲ殘置シ主力ハ *Plevna* 方面ニ前進シ西部兵團ニ合ス

四、西部兵團ハ將來ノ作戰ヲ顧慮シ攻城砲門 二十 ヲ招致シ攻城準備ヲ速ニ完了ス尙兵團ハロブチア攻撃部隊ノ作戰ヲ容易ナラシメンカ爲九月

一日 *Plevna* ヲ砲撃シ該地ノ敵ヲ牽制スルヲ努ム

五、*Lovca* 攻略後左ノ部隊ヲ以テ *Plevna* ノ攻撃ニ任ス
司令官羅馬尼王カール

西部兵團

少將イメレチンスキーノ部隊「ロブチア」攻撃部隊ノ主力

在 *Nikijup* 休養中ノ騎兵部隊

羅馬尼軍第二第三第四師團

六、中將シアコウスコエ兵團ハ從前ノ如ク *Hankioj, Elena, Dzuljuci, Ivanca*

附近ニ互ル線ヲ守備ス

七、ルスチユック兵團下流「ドナウ」兵團ハ從來ノ任務ニ服ス

Plevna 守兵ノ出撃

八月三十一日オスマンパシアノ部隊西部兵團ニ對シ *Pelizat, Zgaljuvec* 方面ニ出撃セシモ同兵團ハ之ヲ撃退ス

少將イメレチンスキーノ指揮スル「ロブチア」攻撃部隊ハ九月一日前進ヲ起

Lovca ノ占領

シ二日 *Lovca* ノ東方ニ集合シ三日戰鬪ノ後 *Lovca* ヲ占領シ五日 *Plevna* に向ヒ前進シ同日西部兵團ニ合ス

土軍 *Silistra* ノ陽攻

九月二日 *Silistra* ノ土軍 *Caltrasi* ニ對シテ出撃ヲ企ツ露軍司令官ハ「アッレル」支隊長ヨリ此報告ニ接シ同支隊ニ命シテ騎兵ヲ同地ニ派遣セシメ別ニ在

Bukarest 交通部長中將ドレンテレンニ訓令シテ要スレハ *Bukarest* 附近ヲ

行軍中ノ部隊 步兵第二十六師團並ニ哥薩克騎兵第二師團 ヲ使用スルヲ許可シ且土軍出撃ハ其目的

目下行軍中ノ我増加部隊ヲ牽制スルニアラサルヤヲ確カメシメ同時ニ下

流「ドナウ」兵團ニ該方面ノ敵情ヲ偵察スヘキヲ命ス然ルニ幾モナク土軍ノ

動作ハ唯、陽動ニ過キサリシコトヲ明ニスルヲ得タリ

九月二、三日頃西部四角要塞ノ土軍ハ *Kacellevo* ニ對シ多大ノ兵力ヲ集合ス

依テ「ルスチユック」兵團司令官ハ敵ノ集合ノ了ラサルニ乘シ *Kacellevo* 附近

ニ歩兵約十七大隊ヲ集合シテ攻勢ニ轉セント欲シ三日軍司令官ニ其承認

ヲ請ヒシモ軍司令官ハ *Plevna* ヲ攻略スル迄ハ他方面ニ於テ全然守勢ヲ取

ラントスル當初ノ決心ニ基キ「ルスチユック」兵團ニ尙二乃至三週間守勢ヲ

取ルヘキヲ訓令セリ

八月五日四角要塞ノ土軍 *Ablanovo, Kacellevo* ヲ攻撃シ *Kacellevo* ノ露軍ハ正

午優勢ナル敵ニ壓迫セラレテ退却シ *Ablanovo* ハ露軍尙之ヲ維持セシモ土

Ablanovo, Kacellevo 附近ノ戰鬪

「ルスチエツク」兵團ノ退却

軍ハ同地ノ西北方ニ前進シ其左側背ヲ脅威ス是ニ於テ「ルスチエツク」兵團ハ六日ヨリ Jantira 河畔ニ向ヒ退却シ殆ト土軍ニ追躡セラルルコトナク九日 Koprivec, Mecka ノ線ニ駐止シ而シテ兵團司令官ハ軍司令官ニ Bela 附近ニハ比較的多數ノ兵力ヲ集結シ在ルカ故ニ同地ハ敢テ憂慮スルニ足ラサルヲ報告セリ

此間南方面及東南方面及四角要塞ノ東北部ニ於テハ情況概ネ變化ナシ露軍司令部ニ於テハ東正面ノ不利ナル戰況ニ依リテ唯一ノ渡河點タル *Plisov* ヲ脅威セラルルニ至レルヲ憂慮セシモ爾後同方面ノ土軍敢テ活動スルノ模様ナク且増加部隊タル「ドン」哥薩克騎兵第二師團步兵第二十六師團布爾牙利ノ戰地ニ來著セシヲ以テ 同騎兵師團ハ步兵第二師團狙擊步兵第三旅團ト共ニ *Plisov* 第一會戰ノ當日新ニ作戰軍ニ加ヘラレ(第二卷第十二章一般ノ情況第一八頁參照)又步兵第二十六師團ハ同第二會戰後動員セラレ本國ヨリ出發シタルモノニシテ步兵第二十六師團第二卷第十三章一般ノ情況第二四七頁ニ依レハ近衛軍團及步兵第二十四師團先來著スヘキ筈ナルモ如何ニシテ該計畫ニ變更アリシカ不明ナリハ九月八日先頭聯隊ヲ以テ *Donau* ヲ渡河シ「ドン」哥薩克騎兵第二師團ハ九日ヨリ渡河ヲ開始シタルカ如シ *Plevna* 攻略ノ企圖ヲ變更スルコトナク次テ軍司令官ハ左ノ處置ヲ爲ス

「Plevna」三會戰 第

一、九月七日步兵第三師團ノ殘餘半部第一旅團ト砲兵三中隊ノ内步兵第十聯隊砲兵第三旅團第二第四中隊ヲ「ルスチエツク」兵團ニ増加シ此部隊ハ九月八日朝出發九日 *Bela*ニ著ス兵第九聯隊砲兵第三旅團第一中隊ヲ *Plevna* 攻撃軍ニ増加シ第九軍團ノ特別豫備隊トス

二、「ドン」哥薩克騎兵第二師團第二旅團騎兵第三十六聯隊第三十九聯隊ヲ「ルスチエツク」兵團ニ増加シ九月十日 *Bela*ニ著同時ニ同第一旅團騎兵第二十四聯隊第三十八聯隊ヲ *Plevna* 攻撃軍ニ増加ス
三、步兵第二十六師團ヲ *Pavel*ニ差遣シ「ルスチエツク」兵團及中將シァコウスコエ兵團ノ豫備隊トシ「ルスチエツク」兵團ニハ特ニ其使用權ヲ附與ス

西正面ニ於テハ *Plevna* 攻撃ニ任スヘキ諸部隊ハ九月五日迄ニ集合ヲ畢リ(羅馬尼軍ハ九月二日ヲ以テ *Donau* ノ渡河ヲ終リ五日 *Kryen, Vrbica, Brosljanica* 附近ニ集合シ少將イメレチンスキーノ部隊モ此日 *Johnot*ニ集合ス)七日ヨリ十日ニ至ル間土軍陣地ヲ砲撃シ十一日十二日攻撃ヲ實施ス幸ニシテ *Cher-*

角面堡ノ一角ヲ獲得セシモ爾餘ノ諸地點ニ於テハ大損害ヲ受ケ遂ニ目的ヲ達セスシテ概ネ攻撃開始前ノ線ニ駐止ス
 第三會戰ノ失敗ニ關スル報告ハ軍司令官ヲシテ著シク前途ノ作戰ヲ悲觀セシメタリ軍司令官ハ夙ニ Plevna 攻撃ノ成敗如何ヲ以テ戰役ノ終局ヲトスルモノトナセルカ故ニ今ヤ千八百七十七年戰役ハ失敗ニ終ルヘク而シテ「ルスチ」兵團若シ四角要塞ノ敵ヲ拒止シ得サル場合ニ於テハ露軍ノ價值アル材料ヲ悉ク後方ニ搬送シ機ヲ失セス羅馬尼領内ニ退却スルヲ以テ最良ノ處置ナリト思惟セシムルニ至ル

軍事會議

九月十二日軍司令官參謀長及西部兵團參謀長等ハ相會シテ爾後ノ作戰ニ關シ議スル所アリ衆議土軍若シ Plevna ヨリ攻勢ヲ取ランカ Pordim 及 Buzareno ノ築城陣地ヲ固守スヘク其攻撃威力大ナル場合ニ於テハ Orna 河ノ右岸ニ退却シ Nikopoli, Gradiste, Sevljevo ノ線ヲ固守スルニ決ス
但シ退却案ノ目的ニ二様アリシモノノ如シ即チ軍司令官ハ Plevna 攻撃ヲ中止シ近衛軍團ノ到着ヲ待チ同軍團ヲ Zidna 峠南方ニ出シ營ヲ行ヒシ先進兵團ノ作戰ヲ大規模ニ行ハシメ而シテ此間 Plevna 攻撃軍ハ Nikopoli 要塞ニ

掩護セラルル如ク Orna 河後方ニ退却シ守勢ヲ探ルヲ可トシ「スプリング」著露土戰史第四卷參照又中將ツオトフハ軍ハ今新銳ノ部隊ヲ得ルノ望ナキヲ以テ Orna 河後方ニ退却シ同地ニ冬營シ明春諸準備ヲ整フヲ待チ新作戰ヲ開始スルヲ可トセシカ如シ

然レトモ尙皇帝ノ裁決ヲ仰カント欲シ翌十三日砲臺内皇帝ノ御前ニ於テ第二次ノ會議ヲ開ク軍司令官露國陸軍大臣ミューチン羅馬尼カール王西部兵團司令官軍參謀長大將ネポコエチツキー西部兵團參謀長中將ツオトフ第四軍團長中將クリロフ步兵第二師團長少將イメレチンスキー軍參謀副長將官レウイツキー少將スコベレフ竝羅馬尼軍司令官將官セルナタ等之ニ列席ス列席者ノ多數ハ明言ヲ憚リシモ フライタツハ著竝ニスブ 羅馬尼王カール露國陸軍大臣ミューチン特ニ參謀副長レウイツキーハ Plevna 前面ニ駐留スヘキヲ主張ス將官レウイツキー曰ク「露軍若シ退却センカ是レ擊退セラレタル攻撃ニ敗衄ノ證印ヲ捺スルモノニシテ土軍モ露軍ト同様莫大ナル損害ヲ蒙レルハ疑フノ餘地ナキカ故ニ土軍ハ出擊スルコトナカルヘク寧口露軍ノ攻撃ヲ拒止シ得タルヲ以テ満足スルナラン且土軍火炮ノ沈黙

ハ彈藥ノ缺乏ヲ示スモノニシテ又土軍ハ其背後ニ駐留スル露軍騎兵ニ對シテ何等ノ企圖ヲモ實施セス要スルニ土軍ノ情況ハ決シテ有利ナリトスヘカス故ニ吾人ハ毫モ退却ノ理由ヲ發見セス近衛兵ノ到著スル迄決戰行動ヲ延期スルハ衆人ノ認ムル所ナルモ今若シ現在ノ地ヲ棄テシカ他日決戰行動ヲ採ル場合ニ於テ犧牲ヲ拂ヒテ再ヒ之ヲ恢復セサルヘカラスト皇帝ハ最後ノ案ニ同意シテ曰ク「*Plavna*」ヨリ退却スルハ政治上及志氣上ニ及ホス影響極メテ大ナリ故ニ連合軍ハ占領セル陣地ヲ維持シ之ニ工事ヲ施シ準備成ルヲ待テ「*Plavna*」ヲ攻圍スヘシト乃チ將官トートレーベントートレーベンの役同要シ命令官トチ聖彼斯堡ヨリ招致シ「*Plavna*」攻圍ヲ策セシメントス同將官ハ九月二十九日ニ著セリ

十四日攻圍陣地ヲ決定スル爲皇帝山ニ於テ再ヒ軍事會議ヲ開キ概ネ現在ノ線ニ於テ其正面ヲ縮少シ約十五吉米ヲ十吉米トナセリ工事ヲ行ハシムルニ決シ羅馬尼軍ハ概ネ現在ノ位置ニ留マリ露軍ハ「*Grivica*」附近ヨリ「*Tucenica*」河畔ニ互ル地區ヲ占領ス是ニ於テ戰役經過ノ局面一轉シ露軍ハ爾後長期ニ互リテ守

Plavna 攻圍ノ企圖

勢ニ轉シ遂ニ十二月十日「*Plavna*」開城及オスマンパシア降伏ノ日ニ至ル

附記 君府ニ於テハ九月ニ入ルモ尙メヘメツトアリーパシア、スライマンパシア及オスマンパシアノ三軍ヲ統一スルコトナク殆ト各個ノ作戰ニ放任セリ

メヘメツトアリーパシアハ八月三十日「*Kara Hagan*」ノ戰捷後志氣昂リ九月四日「*Stroklevo*」ニ於テ露軍ヲ攻撃シ翌五日「*Kacelovo*」附近ニ露軍ヲ破リ「*Karaloni*」河左岸ノ地區ヲ領有セシモ其後九月中旬ニ至ル迄運動ヲ起サススライマンパシアハ「*Dinka*」六日間ノ戰鬪後メヘメツトアリーパシア及オスマンパシアノ協力ヲ求メシモ其希望ヲ達セサリシヲ以テ此間得タル若干ノ増加兵ヲ合シ獨力ヲ以テ「*Sipka*」峠ヲ獲得セント欲ス然ルニ九月三日「*Novca*」ハ露軍ニ攻略セラレ爲ニオスマンパシアノ援助ヲ斷念セサルヘカラサルニ至リ且「*Natica*」カプリョソフィアニ步兵五大隊騎兵十中隊ヲ差遣スヘキ命令ヲ受ケ之ニ加フルニ此間内地ヨリ來著

八月三十日ヨリ九月中旬ニ至ル土軍ノ概況

セシ増加兵ハ訓練充分ナラス到底作戰ノ用ニ堪ヘサルヲ認メスライ
マンパシアハ暫ク攻勢ノ企圖ヲ斷念シ Sipska ノ陣地ヲ守備ス
オスマンパシアハ是ヨリ先スライマンパシアノ通報ニ接シ同軍ノ九
月一日ヲ期シテ Sipska ニ向ヒ總攻撃ヲナスヲ(實際ハ一部ヲ以テ Zela-
notovo ヲ攻撃セシニ過キス)知り其動作ヲ容易ナラシメンカ爲三十一
日東南方 Pila at Zgarjavec ニ向ヒ出撃シ威力偵察ヲ試ム
三日 Lovca ハ露軍ノ攻撃ヲ受クオスマンパシアハ自ラ Plevna 守兵ノ
大半ヲ率井テ Lovca ヲ救援セシモ機後レ Lovca ハ既ニ露軍ノ有ニ歸
ス次テ露軍ハ七日ヨリ十二日ニ互リ Plevna ヲ攻撃シ十一日及十二日
戦闘激烈ヲ極メシモ土軍ハ陣地ヲ固守シ露軍ヲ撃退ス
九月中旬ニ於ケル土軍一般ノ情況次ノ如シ
南方面 スライマンパシアノ直接指揮スル部隊ハ八月下旬以後南
方ヨリ歩兵十大隊騎兵六中隊砲十二門ノ増加ヲ得歩兵五大隊騎兵

十中隊ヲ Natica 方面ニ派遣シ結局歩兵五大隊砲十二門ノ増加ヲ得騎兵四中隊砲
六十門 Sipska 附近ニ在リテ露軍シブカ兵團ト近ク相對峙ス
スライマンパシア軍ニ屬スル他ノ部隊ハ Kazanlik, Hainkiöj, Ivrdica 及
Kotel 地方ニ在リ其兵力歩兵二十大隊砲二十一門トス Kazanlik ノ歩兵ニ
ル顛末不明ナリ (Nova Zagora ノ歩
兵一大隊之ニ加ハリシナランカ)
東方面 要塞地域ノ西南方 Trnovo-Osmanbazar 道上ニハ歩兵十六大隊
騎兵四中隊砲三十六門アリ Eski Džumaja ノ西方 Kara Lom 河ノ上流右
岸地區ニハ歩兵三十六大隊騎兵三十四中隊砲七十八門在リ此部隊
ハ九月六日七日頃前面 Kara Lom 右岸ノ露軍西方ニ退却セシモ之ヲ
追躡スルコトナク依然其他ニ停止ス同部隊ノ北方 Kara Lom 河東方
ノ地ニハ歩兵六十七大隊騎兵三十六中隊砲九十六門アリ此部隊ハ
九月五日 Kacelevo 附近ノ戦捷後若干露軍ヲ追撃セシモ Kara Lom 河
右岸ノ地ニ駐止ス Ruschik 及其南方ニハ計歩兵十八大隊騎兵六中隊

砲二十四門在リ

之ヲ要スルニ四角要塞ノ西域ニ在ル土軍ノ總兵力ハ歩兵百三十七大隊騎兵八十中隊砲二百三十四門ニシテ八月下旬以後ノ兵力ニ比シ著シク増加セリ此増加兵力ノ大部分ハ小亞細亞 *Asia Minor* ヨリ一部ハ君府ヨリ來著シ一部ハ要塞地域内ノ新編制部隊ニ屬スルモノナルカ如シ小亞細亞ヨリ來ル兵力ハ歩兵十大隊砲十八門トアルモ確實ナラス 要塞地域ノ他方面ニ於テハ八月下旬以後殆ト變化ナシ

西方面 *Plevna* ヲ守備セシオスマンパシアハ九月五日迄ニ *Philippopol* ヨリ騎兵約十四中隊ノ増加ヲ得歩兵四十九大隊騎兵二十六中隊砲七十門八月下旬ヨリ九月五日迄ニ砲十門ヲ以テ 九月七日ヨリ十二日ニ互ル露軍ノ第三回攻撃ヲ擊退シ依然 *Plevna* ヲ守備ス *Lovea* ノ守備ニ任シタルリフ *トバシ* アノ部隊歩兵八大隊騎兵二中隊砲六門 ハ九月三日露軍少將 *イメレチンスキー* ノ部隊ノ攻撃ヲ受ケ一部ハ *Plevna* ニ一部ハ *Orhanje*

君府ニ退却セリ

君府ニ於テハ八月下旬 *Sipka* 附近六日間ノ戦闘後オスマンパシアヲシテ *Plevna* ヲ固守セシムルニ決スルト同時ニ萬一ノ場合ヲ顧慮シテ *Orhanje* 附近ノ防備ニ意アリシモノノ如ク小亞細亞 *Asia Minor* ヨリ招致シタル部隊ノ内歩兵五大隊砲六門ハ君士坦丁堡及 *Adrianopol* ヲ經テ *Orhanje* ニスライマンパシア軍ノ内歩兵五大隊騎兵十中隊ハ *Sipka* ヨリ *Zatica* ニ轉進シ其他 *Sofia* 及其附近ニ在リシ部隊ノ一部モ *Orhanje* 若クハ其東方山地ニ増加シ *Orhanje, Zatica* 線ニ集合セシ土軍ハ歩兵三十一大隊餘騎兵三十四中隊砲二十四門餘ヲ算スルニ至ル *Donau* 河畔 *Rahovo, Lompalanka, Vidin* ノ諸地點ニ在リシ土軍ノ兵力ハ八月下旬以後變化ナク其兵力約歩兵十五大隊砲十二門アリ

二 南方及東南方面ノ作戰

其一 「シプカ」兵團ノ行動附圖第五十三 第六十參照

八月三十日 ^{シブカ} Sipka 附近ノ守備ニ任シタル中將ラデツキーノ部隊(シブカ兵團ト稱ス)ハ歩兵二十九大隊半騎兵十一中隊 始メハ八中隊ニシテ後ニ至リ十一中隊トナレリ 砲八十三門ヲ算シ 附録第六參照 Plevna 決戦ノ終了ニ至ル迄 ^{シブカ} Sipka 峠ノ守備ニ任シ概シテ ^{シブカ} Sipka 峠附近戰鬪後ノ情況ヲ維持ス即チ主力ハ ^{シブカ} Sipka ノ陣地ニ一部ハ ^{ザレノド} Zelenodivo, ^{ガヤノ} Gajrovo ニ在リ其騎兵ハ主力ノ兩翼ニ在リテ警戒ニ任ス 少將サロフ(歩兵第十一師團第一旅團長)ノ指揮スル歩兵四大隊砲兵二中隊ハ ^{ドレノ} Drenovo 及其附近ニ位置シ次テ歩兵第四十一聯隊第一大隊ハ ^{ドレノ} Drenovo ニ同第四十二聯隊砲兵一中隊ハ ^{ザレノド} Zelenodivo ニ差遣セラレ砲兵ノ他ノ一中隊ハ中將シアコウスコエノ隷下ニ入り ^{ツルノ} Turovo ニ到ル後九月六日乃至八日シブカ兵團ノ編組ヲ脱シ中將シアコウスコエ兵團ノ隷下ニ入り原隊ニ復歸シタリ(本卷第二四四頁參照)

中將ラデツキーハ ^{プレナ} Plevna 攻撃ハ二乃至三週日以内ニ實施セラレ從テ ^{シブカ} Sipka 峠ヲ守備スルノ時期ハ短少ナリト信セシモ近ク敵ト相對シ特ニ敵兵其占領セル諸高地ヨリ露軍ヲ瞰制シ損害亦僅少ナラサルヲ以テ三十日以後益々工事ヲ實施シ敵火ノ效力ヲ減殺スルコトニ努メ同時ニ夜暗ヲ利用シテ疲勞セル若干部隊ヲ交代ス即チ九月中旬 ^{シブカ} Sipka 陣地ハ歩兵第十四師團長少

九月中旬
シブカ
陣地
ノ配備

將 ^{シブカ} Sipka 陣地ノ指揮ヲ以テ左ノ如ク占領セラル
附圖第六
十參照

第一地區

司令官大佐ドニホウニン 歩兵第十四師第二旅團長 歩兵第五十五聯隊(第二大隊缺) ツルノ Turovo
シ 歩兵第五十五聯隊第二大隊ハ此間ニ聯隊ニ復歸セシモノノ如シ

計 三大隊

第二地區

司令官大佐モルスキー 歩兵第五十四聯隊長
歩兵第五十三聯隊
歩兵第五十四聯隊
狙撃歩兵第十三大隊
計 歩兵七大隊

第三地區

司令官大佐トヤチニコフ步兵第五十六聯隊長

步兵第五十六聯隊

狙撃步兵第十四大隊

同 第十六大隊

計 步兵五大隊

第四地區

司令官大佐エレツルス步兵第三十五聯隊長

步兵第三十五聯隊

步兵第三十六聯隊第一第三大隊

步兵第五十五聯隊第三大隊

計 步兵六大隊

總計 步兵二十一大隊

砲兵十一中隊ハ交代シテ 砲手ノミ交代シ休憩中ノ 陣地ヲ占領シ地區砲兵ハ
 全砲兵中隊ノ一半ニ過キサリシカ如ク哥薩克步兵二中隊ハ各地區ニ分屬
 シテ斥候勤務ニ從事シ爾餘步兵八大隊騎兵十一中隊ハ シブカ 峠ノ兩側山
 地若ハ ガノロ 及其附近ニ在リ 少將サロフノ部隊ハ 第一線ノ守備兵ハ工兵若
 干ノ指導ヲ受ケテ散兵壕ヲ延長シ交通壕、横牆、背牆、掩蔽部、附屬設備ヲ構築
 シ工兵兩中隊ノ主力 シブカ兵團ニ屬セシ工兵ノ殘 ハ步兵部隊ノ援助ヲ受ケテ砲
 臺竝大規模ノ交通路ノ構築ニ任シ概ネ九月中旬ニ完成セシモ交通路ノ築
 設 敵火ノ損害ヲ避クル ハ九月下旬ニ至リテ完成セリ砲臺ハ新舊ヲ合シテ九個
 トナル即チ左ノ如シ

第一號砲臺 舊鋼砲臺

中間砲臺 第二號砲臺ノ威力ヲ増加センカ爲設ケタル
モノニシテ九月十二日ニ完成ス(砲二門分)

第二號砲臺 舊小砲臺

第三號砲臺 舊大砲臺

- 第四號砲臺 戰鬪中築設セシモノヲ増設ス(二門分)
- 第五號砲臺 舊中央砲臺
- 第六號砲臺 舊圓砲臺
- 第七號砲臺 戰鬪中築設セシモノヲ増設ス
- 第八號砲臺 同右

九月中旬ニ至ル間前面ノ土軍毫モ活動セス、彼我兩軍共ニ工事ニ從事シ此間工事妨害ノ目的ヲ以テ數回砲戰ヲ交換セシコトアリシモ多クハ短時間ノ砲擊ニ過キス稍、大ナル衝突ハ九月一日ノ Zelenodivovo 九日ノ Bodak 山ニ對スル土軍ノ攻撃ニ過キス要スルニ Sipska 陣地ニ於テハ六日間ノ戰鬪後兩軍守勢ヲ採リ戰鬪休止ノ狀況ヲ呈セリ

土軍ノ情況

附記 スライマンパシアハ Sipska 附近戰鬪後既記ノ如ク攻撃ノ念ヲ放棄セス然レトモ部下軍隊ハ素質不良ニシテ唯ヘルツェゴビナヨリ來レル約三十大隊ノ兵力ノミハ比較的信頼スルニ足リシモ其現員著シク減

少シ而モ前面ニ相對峙スル露軍ヲ第二、第十一、第十四、第十六及第三十七師團合計六十大隊ト算シ之ニ對スル土軍ハ僅ニ約二萬人ヘルツェゴビナ軍約九千四百人アルバニアノスクタリ大隊約三千人土耳其國民軍約六千六百人ヲ使用シ得ルニ過キサカ故ニスライマンパシアハ攻撃ノ爲新銳ナル十五乃至二十大隊ノ増加ト退却掩護ノ爲四千人ヲ得尙彈藥ヲ補充セサレハ其決心ヲ遂行スル能ハスト認メ其旨ヲ君府ニ報告シ Sipska 附近ノ諸隊ノ編組ヲ改メスライマンパシア指揮下ニ在リシ步兵五十大隊ハ第三、第四旅團ヲ各九大隊トシ其他ヲ八大隊ノ一旅團トス騎兵ハ正規兵五中隊ト數多ノ不正規騎兵ヨリ成リ計約三十中隊ヲ算ス砲兵ハ野砲兵四中隊山砲兵三中隊一中隊ト數砲ハ使用ニ堪ヘス Nova Zagora 後送セシメタリ九月初旬スライマンパシアハ補充トシテ數千人増援トシテ步兵十大隊騎兵六中隊野砲兵二中隊ヲ受領シ其内步兵五大隊騎兵十中隊ヲ中隊ヲ増加シ騎兵四中隊ヲ減シタリ 守備陣地ニ堅固ニ築城ヲ實施セシメス

ライマンパシアハ若干ノ部隊ト共ニ Sipska 村ノ南方露營地ニ位置ス

當時土軍ノ配備左ノ如シ

- 步兵一旅團 Lesnoj Kurgan 山
- 同 一旅團 Lesnoj Kurgan 山ノ南方

同 二旅團 Лысая гора
 同 一旅團 Св. Никола 山ノ南方高地
 同 一旅團 Демрипе

騎兵ノ配屬ニ關シテハ記事ナシ

此間スライマンパシアハメヘメットアリーパシアヨリ東部ドナウ軍ハ
Аязлар, Кара Hasanノ戦勝ニ乗シ Белаヲ作戰目標トシテ前進スルノ通報
 ニ接シ Osmanbazarヨリ Trnovoニ向ヒ Sipkaノ攻撃ヲ容易ナラシメン
 トスルノ希望全ク絶ユ是ニ於テオスマンパシアニ對シ切ニ Ловчаヨリ
Севижево 及 Trnovoニ向ヒ攻勢ヲ採ランコトヲ希望セシモオスマンパシ
 アハ君府ヨリ何等ノ命令ナキヲ理由トシテ之ヲ拒絶ス依テスライマン
 パシアハ君府ニ對シ其意見ヲ具申セシモ亦效ナク加之増援隊ノ來著モ
 其期日ヲ豫知スル能ハサリシヲ以テ遂ニ獨力 Sipka 峠ヲ攻撃セントス
 然レトモ九月半ニ至ル迄眞面目ノ攻撃ヲ實施スルニ至ラス

其二「シ」コウスコエ兵團ノ情況一覽圖第一參照

八月三十日ノ軍部署ニ依リ「ハイ」ンキエイ「支隊」エレナ「支隊」オスマンバザ
 ル「部隊」及北隊ハ中將シ「コウス」コエノ指揮ニ屬シ之ヲ「シ」コウスコエ兵
 團ト稱ス 附錄第六參照 同兵團ハ中將ラデツキーノ指揮スル「シ」コウスコエ兵
東方十八吉米ノト「ル」スチ「ク」兵團 其ノ右翼部隊ハトノ中間地區約八十吉
岬附近ニ在リ 米間ニ四個ノ部隊ニ分レテ Omur 附近ニ在リ Osmanbazar-Trnovo 道上
Кесарево 附近竝ニ Jubeller 附近ニ互ル線ヲ占領ス 八月末オスマンバザール部隊
 兵二中隊此部隊ハ步兵第四十一聯隊ノ二大隊驃騎兵第十三聯隊ノ二中隊砲兵第二中隊砲
六中隊ナルカ如シ而シテ砲兵第三十二旅團第六中隊ハ少將サロフノ部隊ニ屬セルモノナリ從テ同
部隊ハ爾後步兵四大隊砲兵一中隊トナルカ如シハ中將シ「コウス」コエノ命令ニ依リ
Трнovoニ集合シ同地ニ在リシ步兵第五十五聯隊第二大隊ハ「シ」コウスコエノ命令ニ依リ
 九月四日及五日土軍ハ北隊ノ前面 Braknicaニ向ヒ攻撃シ來リシモ同地ノ
 守備隊 步兵一大隊騎兵一中隊砲四門ハ之ヲ擊退ス

九月四日中將シ「コウス」コエハ「ル」スチ「ク」兵團司令官ヨリ第十三軍團
 ノ一部ハ步兵第三十三師團ヲ援助センカ爲 Алианово 方面ニ前進ス依テ少

クモ歩兵四大隊砲兵一中隊ヲ有スル部隊ヲ Kovacovic ニ差遣シ第十三軍團
 ヲ増援セラレタシトノ請求ヲ受ケ之ヲ軍司令官ニ通報シ五日北隊ニ命シ
 テ歩兵二大隊砲兵一中隊ヲ Kovacovic ニ出サシメ殘餘カ主ヲ Mansur 附近ニ集
 結シ之ト同時ニオスマンバザール部隊ノ配備ヲ變更シ Strazica ノ兵力ヲ増
 加シ尙要スル場合ニ於テ Mansur 方面ニ増援兵ヲ派遣スルノ諸準備ヲ爲サ
 シメ又中將ラデツキーニ少將サロフノ指揮スル部隊步兵第四十一聯隊第一大隊
 二聯隊砲兵一中隊 (Kalenovivo) ニ在リ(既記)ノ如ク他ノ砲ヲ速ニ Tinovo ニ歸還セシメンコ
 兵一中隊ハ是ヨリ先原隊ニ復歸セシメラレタルガ如シ
 トヲ請求ス少將サロフノ指揮スル部隊ハ九月
 六日乃至八日原隊ニ復歸シタリ北隊長中將タチシコチエフハ同四日
 右ノ命令ヲ受領セシモ此日土軍約六大隊 Mansur 附近ニ前進シ來リ攻撃ノ模
 樣アリシヲ以テ前記増援隊ノ派遣ヲ見合セシモ爾後敵兵敢テ攻撃シ來ラ
 サリシヲ以テ五日歩兵第二百二十五聯隊ノ一大隊槍騎兵第十一聯隊ノ二中
 隊砲兵第三十二旅團第四中隊門四ヲ Kovacovic ニ派遣シ六日更ニ同歩兵聯隊
 ノ一大隊及同砲兵中隊ノ四門ヲ同地ニ派遣ス此項槍騎兵第十一聯隊ノ殘半部モ亦
 同方面ニ増加セラレタルモノノ如シ

六日中將シアコウスコエハルスチユック兵團ヨリ同兵團ハ五日 Ablanovo
 ノ戰鬪後 Jantva 河畔ニ退却スルノ通報ニ接シ北隊ノ危險ヲ慮リ左ノ要旨
 ノ命令ヲ下ス

- 一北隊ハ Mansur ニ一旅團ヲ集合シ極力同地ヲ固守シ止ヲ得サレハ Cajir
 ヲ經テ Draganovo ニ退却スヘシ
- 二少將エルンロートハ Dzuljunci 及 Strazica ノ部隊ヲ Kesarevo ニ招致シ同
 地ヲ守備スヘシ若シ敵兵優勢ニシテ拒止スル能ハサルカ或ハ北隊カ
 Cajir ニ向ヒ退却スル場合ニハ同高地ニ一部ヲ殘シ Dzuljunci ニ退却シ
 同地ヲ固守スヘシ

七日中將シアコウスコエハ軍司令官ヨリルスチユック兵團ハ Jantva 河ノ
 線ニ向ヒ退却スルノ通報竝ニ北隊及オスマンバザール部隊ハ情況ノ尙明
 瞭ナルニ至ルマテ現在地ヲ守備スヘキ命令ニ接シ次テ同日午後七時發左
 ノ要旨ノ軍命令ヲ受領ス

「ルスチ ャック」兵團ハ Branski Lom 河 Bransko, Chinovヲ經テ北流ノ線ニ退却ス北隊
 ヲ Qair クチャイニ退却セシムヘシ若シ第十三軍團 Jandra 河ノ線ニ退却シ北隊其
 陣地ヲ固守スルコト能ハスンハ更ニ Jandra 河ノ線ニ退却セシメ Borus
イノボ北方ヨリ Dzuljunci ツヂユリユンチニ到ル間ヲ守備セシムヘシ
 十八吉米
 依テ中將シ クチャイコウスコエハ北隊ヲシテ其運動ヲ秘シテ Qair クチャイニ退却シ且第
 十三軍團若シ Jandra 河ニ向ヒ退却スルニ方リテモ極力同地ヲ固守セシメ
 同時ニ少將エルンロートヲシテ Dzuljunci ツヂユリユンチノ陣地ヲ固守セシム 此頃曩ニ中將
 ラデツキーニ
請フテ復歸ヲ求メタル少將サロフノ部隊ハ原隊ニ復歸シ又八月末ヨリ豫備隊トシテ Irtovo イノボニ在リ
 シ歩兵二大隊騎兵二中隊砲十六門本卷二五一頁参照モ亦此頃オスマンバザール部隊ニ復歸セシモ
 ノノ如ク要スルニ九月十日頃歩兵第十一師團ノ主
 カハ全部 Dzuljunci ツヂユリユンチ附近ニ集合シタルモノノ如シ

「ルスチ ャック」兵團
絡方面トノ連

中將タチシ ャックフハ八日 Mansur マンズル 附近ヨリ退却シテ翌朝 Lomercovna ロムツルコフナニ到
 著シ曩ニ第十三軍團ニ派遣セシ部隊 歩兵第二百二十五聯隊ノ二大隊騎兵第
 十一聯隊砲兵第三十二旅團第四中隊ヲ合シ
此等増加部隊ノ行動ニ就テハ詳細ヲ知ルヲ得ス尙
 本卷三〇二頁「ルスチ ャック」兵團ノ情況ヲ参照スヘシ 同地ニ工事ヲ施シ十日 Dzuljunci ツヂユリユンチヨ

威力偵察

リ歩兵第四十一聯隊ノ二大隊砲兵第三十二旅團第六中隊ノ増加ヲ得タリ
 十一日中將シ クチャイコウスコエハ「ルスチ ャック」兵團參謀長中將ワソノウスキ
 一ヨリ左ノ通報ニ接ス
 「ルスチ ャック」兵團ハ十二日敵情偵察ヲ實施セントス「ルスチ ャック」兵團方面威
 力偵察ニ關スル記録ナシ
 「シ クチャイ」コウスコエ兵團モ同シク敵情偵察ヲ實施センコトヲ希望ス
 中將シ クチャイコウスコエハ直ニ「オスマンバザール」部隊及北隊ニ命シテ數多ノ
 偵察部隊ヲ出シ威力偵察ヲ行ハシム
 是ニ於テ十二日兩部隊ヨリ五個ノ偵察支隊派遣セラレ偵察ヲ實施ス即チ
 左ノ如シ
 一歩兵五大隊騎兵七中隊砲四門ハ Gorsko Novoselo 及 Kesarevo ケサレボノ兩方面ヨ
 リ Kozubik コズビクニ向ヒ前進シ同地ノ東方高地ニ集合セル土民ト戦闘ヲ交
 エ午後五時三十分 Gorsko Novoselo ゴルスコノボセロニ歸還ス
 二歩兵二大隊騎兵二中隊砲四門ハ Dzamalikoj ヂャマルィコフノ西方高地ニ向ヒ前進シ

進シ來レルニ三百人ノ土軍ニ對シ砲撃ヲ爲シタル後 Kesarevoニ歸還ス

二步兵八中隊騎兵三中隊砲四門ハ Kesarevo 及 Strazica ノ兩地ヨリ出發シ
午後零時三十分 Korudza-Jelen 附近ニ於テ土軍不正規騎兵若干ヲ驅逐
シ Kavaklariニ前進シテ七軍歩兵ト戰鬪ノ後 Strazicaニ歸還ス
(以上ハオスマンバザール部隊ヨリ派遣セシモノトス)

四歩兵二大隊騎兵二中隊砲二門ハ Strazica 東方及東南方 Pasakoj, Raankoj
ニ前進シ敵ニ遭遇スルコトナク Lom Cerkovnaニ歸還ス

五歩兵一大隊騎兵二中隊砲二門ハ Vodicaニ向ヒ前進シ中將マンウエロ
フノ一部隊歩兵三中隊砲二門ヲ合シ Kovacovic 附近ニ於テ約歩兵四中隊砲四門ノ
土軍ト戰鬪ヲ交エ後戰ヲ避ケテ歸還ス
(以上ハ北隊ヨリ派遣セシモノトス)

十二日實施セラレタル諸偵察ハ前記ノ如ク大ナル成果ヲ收ムルコト能ハ

サリキ

三 東方面ノ作戰

其一 「ルスチュック」兵團ノ行動

八月三十日 Kara Hasan, Hajdar, Ajazlar 附近ノ戰鬪竝ニ Stro-
kovo 附近ノ衝突 附圖第六十一第六十二
竝ニ一覽圖第一參照

八月三十日朝「ルスチュック」兵團ノ右翼方面ニ在ル第十三軍團諸隊ノ位置
ハ左ノ如シ

一、中將プロクロフノ部隊 歩兵八大隊騎兵八
中隊砲二十八門
長少佐 コリツキ

歩兵第二聯隊第一大隊

「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第二第六中隊

砲兵第一旅團第一中隊ノ二門

計 歩兵一大隊騎兵二中隊砲二門

Ajazlar

八月三十日
第十三軍團
諸隊ノ位置
附圖第六十
一參照

長大佐カウルバルス

歩兵第二聯隊第三大隊

驃騎兵第八聯隊

[ドン]哥薩克騎兵第八聯隊第一中隊

砲兵第一旅團第四中隊ノ二門

[ドン]哥薩克騎砲兵第九中隊ノ四門

計 歩兵一大隊騎兵五中隊砲六門

長少將ウヤケウイツ歩兵第一師團
第一旅團長

歩兵第一聯隊

歩兵第二聯隊第二大隊

[ドン]哥薩克騎兵第八聯隊第三中隊

砲兵第一旅團第一中隊(六門)第四中隊(六門)

計 歩兵四大隊騎兵一中隊砲十二門

Хаидар

Попово

歩兵第三聯隊第一大隊(缺)
砲兵第一旅團第三中隊

計 歩兵二大隊砲八門

二少將レオノフノ部隊

長少將レオノフ騎兵第一師團
第一旅團長

歩兵第四百四十聯隊

親衛騎兵二中隊

驃騎兵第八聯隊ノ二中隊

[ドン]哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊

砲兵第三十五旅團第一中隊

[ドン]哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二門

計 歩兵三大隊騎兵五中隊砲十門

長少將バラノフ歩兵第三十
五師團長

БалдиОмур

КараHasan

但シ騎兵ハ前方ニ在リテ
警戒ニ任ス

步兵第三百三十九聯隊(一中隊缺)

砲兵第三十五旅團第四中隊

計 步兵三大隊(一中隊缺)砲八門

ガゴヴォ

三軍團豫備隊

長中將マンウエロフ騎兵第八師團長

步兵第三聯隊第一大隊

同 第四聯隊

步兵第三百三十七聯隊

同第三百三十八聯隊(第一大隊缺)

同 第三百三十九聯隊ノ一中隊

[ドン]哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊

砲兵第一旅團第五第六中隊及第二中隊ノ六門

同 第三十五旅團第二第三第五第六中隊

КОВАЧОВЕЦ

附近露軍ノ陣地(附圖第六十二參照)

騎砲兵第十五中隊ノ五門他一中隊不明

計 步兵九大隊ト一中隊騎兵一中隊砲五十九門

步兵第三百三十八聯隊第一大隊

[ドン]哥薩克騎兵第八聯隊第五中隊

砲兵第一旅團ノ第二中隊ノ二門

КАРААС

計 步兵一大隊騎兵一中隊砲二門

少將レオノフノ指揮スル諸隊步兵三大隊騎兵五中隊砲十門ハ八月二十八日ヨリ カラハサン

ノ陣地ニ工事ヲ施シ同三十日迄ニ第一線ニ散兵壕及四個ノ砲兵掩體ヲ第

二線カラハサンノ東端ニ若干ノ散兵壕ヲ構築ス此陣地ハ右翼ヲ カラハサン 東南方小

森林ノ高地ニ托シ同村高地斜面ヲ經テ ケチル ニ互リ正面約二千五百米

アリ陣地ノ右翼ハ射界廣ク特ニ東南方一帶ノ地區ヲ瞰制シ正面ハ射界廣

潤ナルモ スプアハル 高地ヨリ瞰制セラレ ケチル 河ハ前地ヲ横斷シ其谷底ハ

死角内ニ在リテ此谷地ヲ側射スヘキ地點ナシ陣地左翼及背後ハ高地及密

生セル森林ヲ以テ圍繞セラレ Kara Hasan 及同村北方小森林ノ高地ハ第二線陣地ヲ成形スルモ其左翼ハ第一線陣地ト同シク森林及高地ヲ以テ包圍セラル退路ハ右翼後ニ通ス此附近 Kara Lom 河谷底ハ濕潤ニシテ諸兵ノ動作ヲ妨害ス

三十日拂曉少將レオノフ部隊ハ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊ヲ以テ右翼方面ヲ驃騎兵第八聯隊ノ二中隊ヲ以テ Spallan 方向ヲ親衛騎兵二中隊ヲ以テ左翼方向ヲ警戒シ步兵及砲兵ノ全部ヲ以テ Kara Hasan 及其前方陣地附近ニ在リ午前五時過キ少將レオノフハ親衛騎兵二中隊 Sadina ニ進出セシ優勢ナル土軍不正規騎兵ノ壓迫ヲ受ケ陣地ニ向ヒ退却中ナルヲ知り第三大隊ノ二中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二門ヲ步兵第四百聯隊長大佐ナザロフノ指揮ニ屬シ親衛騎兵ヲ援助セシメ自ラ Sadina ニ向ヒ前進ス途中敵兵 Spallan ニ進入セシコトヲ知り大佐ナザロフヲシテ土軍ヲ Sadina ヨリ撃退セシメ少將レオノフハ Kara Hasan ノ陣地ニ復歸ス

Kara Hasan 附近ノ戰鬥經過(附圖第六十二參照)

大佐ナザロフハ Sadina 附近ニ至リ騎砲兵小隊ヲ以テ土軍不正規騎兵ヲ射撃シ其混亂ニ乘シ親衛騎兵二中隊ヲ以テ土軍ヲ襲撃シ之ヲ潰走セシメタルモ幾モ無ク優勢ナル土軍現出シ來リ次テ其砲兵一中隊ハ騎砲兵小隊ヲ猛射セシヲ以テ大佐ハ騎兵兩中隊ヲ以テ敵ヲ監視セシメ騎砲兵小隊ニ步兵半中隊ヲ附シ Sadina-Kara Hasan 道ヲ經由シ又步兵一中隊半ヲ Sadina-Kechler 道ヲ經由シテ支隊主力ニ向ヒ退却セシム

少將レオノフハ是ヨリ先陣地ニ歸還シ驃騎兵第八聯隊長中佐グラゼナシプニ同騎兵二中隊步兵二中隊 撤兵第一中隊第四中隊 砲兵第三十五旅團第一中隊ノ一小隊ヲ屬シ土軍ヲ Spallan ヨリ撃攘セシメ其他ヲ以テ左ノ如ク陣地ヲ占領ス

步兵第二大隊ノ三中隊及砲兵第三十五旅團第一中隊ノ四門ハ陣地最右翼森林端ヲ爾餘八中隊 第一大隊ノ三中隊第二大隊ノ三中隊 ハ Kechler 南方陣地ヲ占領シ砲二門ハ同陣地ノ右翼後ニ放列ヲ布ク

中佐グラゼナツプノ部隊ハ土軍ヲ *Spahilar* ヨリ擊攘セント欲シ同地ニ向ヒ前進シ騎兵二中隊ハ同地西方地區ニ於テ土軍騎兵ヲ擊退シテ東進セシカ敵兵漸次ニ増加シ且有力ナル歩兵部隊陸續前進シ來ルヲ以テ撤兵第一中隊及第四中隊ハ退テ *Keçiler* 南方ノ前方陣地ヲ占領シ砲二門ハ *Keçiler* 南側ノ砲兵陣地ニ退キ騎兵二中隊ハ最後ニ退却シテ支隊ノ最右翼ニ移リ爾後支隊ノ他騎兵ト合シテ警戒ニ任ス於是少將レオノフハ大佐ナザロフヲ *Çiğdemir* ヨリ招致シ支隊歩兵ノ指揮ニ任ス

午前九時三十分頃最前線ニ在リシ第一大隊ノ二中隊ハ優勢ナル土軍ノ攻撃ヲ受ケ後方ニ退却ス適第三大隊長少佐サウオエスキーノ一中隊半 *Çiğdemir* ヨリ退却シ來リ土軍ノ右側ニ迫リ其攻撃ヲ拒止ス此間第一大隊ノ二中隊ハ西方ニ退却シ少佐サウオエスキーノ部隊モ亦陣地内ニ退却ス然ルニ其後東正面ノ土軍ハ益兵力ヲ増加シ其砲兵ハ二中隊トナリ歩兵モ亦其戰線ヲ擴張シテ前進ス是ニ於テ露軍陣地中央部先退却シ爾餘ノ部隊

モ相踵テ悉ク *Kara Hasan* ニ向ヒ退却ス土軍ハ進テ *Keçiler* 南方露軍ノ陣地ヲ占領シ爾後其位置ニ留リテ工事ヲ施シ急迫セス此間少將レオノフノ支隊ハ *Kara Hasan* ノ東側竝ニ其東南方森林ノ線ニ互ル陣地ヲ占領ス午前十一時ニ於ケル支隊ノ配備左ノ如シ

一、歩兵第二大隊 三中隊 砲四門ハ依然最右翼森林附近ノ陣地ヲ占領ス
 二、第一大隊撤兵第二中隊第六中隊野砲四門騎砲二門ハ *Kara Hasan* 東側ヲ占領ス

三、歩兵第三大隊ハ其北方森林端ヲ占領ス

四、驃騎兵第八聯隊ノ二中隊親衛騎兵一中隊 ドン 哥薩克騎兵第八聯隊第一中隊ハ中佐グラゼナツプノ指揮ニ屬シ陣地ノ右翼ヲ親衛騎兵一中隊ハ陣地ノ左翼ヲ警戒ス

午前十一時三十分少將レオノフハ第十三軍團長ニ戰況ヲ報告シ且速ニ援助セラレンコトヲ請フ

正午頃土軍漸次前進シ特ニ *Sadina* サヂナ ヲ經テ前進セル土軍ノ縱隊ハ *Keçiler* ケチレル ノ西北方ニ展開シ砲兵ヲ *Keçiler* ケチレル 西北側高地上ニ進メ第三大隊ノ左側ニ迫ル是ニ於テ第三大隊長ハ歩兵一中隊ヲシテ左翼ヨリ前進シテ土軍ノ側面ヲ攻撃セシメ一時土軍ヲ退却セシメタルモ同中隊ハ敵ヲ追躡シテ前進中忽チ優勢ナル敵ノ射撃ヲ受ケ再ヒ舊陣地ニ退却ス

午後零時三十分土軍ハ正面及左翼ニ對シ攻撃前進ス露軍ハ近距離ニ於テ猛烈ナル射撃ヲ行ヒ一時之ヲ擊退セシモ土軍屈セス優勢ナル增加兵ヲ得主トシテ陣地中央部ニ向ヒ攻撃ス是ニ於テ歩兵第一大隊及第二大隊ノ二中隊ハ大ニ動搖シ一部ハ村落内ニ退却シ其北方ニ在リシ砲兵第一中隊半部モ亦 *Kara Lom* カラロム 河畔ニ退却ス少將レオノフハ中央部ノ戰況ヲ挽回セント欲シ陣地ノ右翼南方森林地區ヨリ砲兵第一中隊ノ半部ヲ村ノ南側高地ニ招致シ又騎砲二門ヲ村ノ南側ヨリ村落ノ東北側舊砲兵第一中隊半部ノ位置ニ招致ス

午後四時ニ至ル間土軍六回ノ突撃ヲ行ヒシモ露軍ハ前記砲六門ノ援助ヲ得村落ノ緣端ヲ固守シ悉ク之ヲ擊退セリ

午後四時以後土軍ノ一部隊ハ東南方ヨリ前進シ其砲兵一中隊ハ *Hajdar* ハイダル 北方高地上ニ陣地ヲ占領セシモ爾後前進セス

此時少將レオノフハ増援トシテ *Çarşova* チャルソヴァ ヨリ前進セル歩兵第三百三十九聯隊第一大隊第三大隊(一中隊缺) 此中隊ハ砲兵第三十五旅團第四中隊ノ掩護ニ任シ Çarşova ヨリ Kara Hasani ニ向ヒ前進中ナリ ヲ得極力陣地ヲ固守セント欲シ先同聯隊撤兵第一中隊第一第二中隊ヲ左翼ニ在リシ第三大隊長少佐サウオエスキニ増加シ第三第四中隊ヲ豫備トシ次テ一時退却シタル砲兵第一中隊ノ半部ヲ再ヒ陣地ニ招致ス同砲兵ハ歩兵第三百三十九聯隊第三大隊ノ掩護ヲ受ケテ村ノ南端ニ陣地ヲ占領シ正面及右翼方面ノ敵ヲ射撃シ歩兵第三百三十九聯隊第三大隊(一中隊缺)ハ一中隊ヲ村落南端ニ在ル砲兵ノ掩護ニ任シ二中隊ヲ陣地中央部ニ増加シ殘餘一中隊ヲ豫備トシテ陣地中央後ニ位置セシム

此クノ如クシテ一時危機ニ瀕セシ少將レオノフノ支隊ハ今ヤ九中隊ノ増援ヲ得大ニ戰勢ヲ回復セシモ午後六時頃優勢ナル土軍右翼方面ニ進出シ同方面ニ在リシ騎兵諸中隊ヲ壓迫シテ著シク退路ヲ脅威ス是ニ於テ少將レオノフハ *Chigovo*ニ向ヒ退却スルニ決シ同時ニ *Kara Hasan* 及步兵第四百十聯隊ノ陣營ニ火ヲ點セシム

露軍右翼及中央部隊ハ砲兵第一中隊ノ掩護ニ依リ秩序ヲ亂サズ退却セシモ左翼部隊ハ砲兵ノ援助ヲ受クル能ハサリシヲ以テ頗ル苦境ニ陥リ屢逆襲ヲ行ヒ漸ク敵ノ近迫ヲ免レ *Kara Lom* 左岸地區ニ退却ス

砲兵第三十五旅團第四中隊ハ少將レオノフ部隊増援ノ爲步兵第三百三十九聯隊第三大隊ノ一中隊ノ掩護ヲ受ケテ *Chigovo* ヨリ急進シ恰モ少將レオノフノ部隊 *Kara Lom* 河渡過ノ時機ニ同河左岸ニ到著シ直ニ同所ニ陣地ヲ占領シ退却スル部隊ヲ收容ス

少將レオノフハ *Kara Lom* 河左岸地區ニ退却セシ後諸隊ヲ集合シ退却掩護

Haftan附近
ノ戰圖(附
圖第六十一
参照)

ノ爲 *Kara Lom* 河ノ左岸ニ騎兵部隊ヲ殘置シ其他ヲ以テ *Chigovo*ニ退却ス

少將レオノフノ部隊 步兵三大隊(後ニ至リテ四) *Kara Hasan* 附近十二時間ノ戰闘ニ於テ死將校四卒百五負傷將校十二卒三百五十九輕負傷將校十失踪卒十五合計將校二十六卒四百七十九ヲ失フ内將校十二卒三百七十二合計三百八十四ハ步兵第四百十聯隊ニ屬スルモノニシテ其損害約百分ノ十七ニ達ス

八月三十日大佐カウルバルスノ部隊 步兵第二聯隊第三大隊槍騎兵第八聯隊(ドン哥薩克騎兵第八聯隊第一中隊砲兵第一旅團第四中隊) *Haftan* 西北方高地ヲ占領ス大佐ハ豫メ中將プロクロフヨリ止ムヲ得サル場合ニ於テハ騎兵ノ掩護ヲ以テ *Popovo*ノ陣地ニ退却スヘキ命令ヲ受領セリ

午前八時頃少將レオノフ部隊ノ方向ニ砲聲ヲ聞キ同時ニ土軍歩兵約二大隊騎兵若干 *Ispek Duzi* 山ノ斜面ヲ下リテ *Haftan* 附近 *Kara Lom* 河右岸ニ前進スルヲ認ム午前十時稍前土軍 *Kara Lom* 河ノ渡過ヲ企圖セシモ前哨部隊射

擊ヲ以テ之ヲ卻ク

午前十一時頃ヨリ午前四時頃ニ至ル間土軍ハ數回渡河ヲ企圖セシモ露軍ハ悉ク之ヲ擊退ス然ルニ午後五時半以後土軍砲兵漸次ニ増加シテ十二門ト爲リ其歩兵モ著シク優勢ト爲リ支隊ノ正面及側面ニ前進スルノ狀アルヲ以テ大佐カウルバルスハ諸隊ヲ率井テ Popovoニ退却ス

中將プロクロフハ此日歩兵第一聯隊同第二聯隊第二大隊ドン哥薩克騎兵第八聯隊第三中隊砲兵第一旅團第一第四中隊（兩中隊共二門宛缺）ト共ニ Popovoニ在リ早朝ヨリ午後五時ニ至ル間陣地ヲ構築シテ戰鬪ヲ準備ス同中將ハ大佐カウルバルスヨリ Hajdar 方面ノ戰鬪報告ヲ受領シ午後五時三十分増援トシテ歩兵一大隊砲六門ヲ Hajdarニ差遣セシモ幾モ無ク同大佐ノ退却セシヲ知リ是等部隊ヲ Popovoニ退却セシメ且歩兵第二聯隊長ヲシテ大佐カウルバルスノ部隊ヲ收容セシム
午後六時頃 Ajazlar 方面ニ砲聲起ル中將プロクロフハ Popovoノ諸隊ヲ陣地

アジャズル附近
ノ戰鬪

ニ就カシメ後 Hajdar 方面ノ敵兵急進セサルコトヲ知り自ラ情況ヲ偵察セント欲シ Popovo 陣地ニアル諸隊ノ指揮ヲ少將ウヤケウイツチ 步兵第一師團第一旅團長ニ委シ Popovoノ南方ニ赴ク

此日少將コリツキノ指揮スル部隊 步兵第二聯隊第一大隊ドン哥薩克騎兵第八聯隊第二第二中隊砲兵第一旅團第一中隊ノ二門ハ一部ヲ以テ Kara Lom 河岸ヲ警戒シ主力ヲ以テ Ajazlar 西方高地端ヲ占領ス午後五時頃ニ至リ土軍同河對岸ニ現ハレ其砲兵ハ射撃ヲ開始ス露軍砲二門之ニ應射セシモ忽ニシテ沈黙セシメラル此時土軍ノ濃密ナル散兵線ハ Kara Lom 河右岸地區ヨリ前進ヲ起シ其兵力約三大隊ヲ下ラス
是ニ於テ少佐コリツキハ敵ノ包圍ヲ受クルニ先チ諸隊ヲ率キテ Sultan 方
向ニ退却ス土軍之ヲ追撃シ其砲兵ハ Ajazlar 北端ニ陣地ヲ占領シ退却スル
土軍ヲ射撃セシモ露軍ハ Demirlik 河左岸ニ停止スルヲ得タリ
午後七時頃土軍ハ Seid, Sultanノ線ニ前進セシモ幾モ無ク Ajazlarニ退却ス
中將プロクロフハ Ajazlarニ向ヒ南進中同地ノ守備兵 Demirlik 川ノ線ニ退

却スルヲ知リ諸隊ヲシテ Popovo 附近ノ陣地ヲ占領セシム
 中將ハーンハ此日 Kovacovec ニ在リ Kara Hasan 附近ノ戰況ヲ聞キ午後二時
 同地ニ在リシ步兵第四聯隊ノ二大隊及騎砲兵第十五中隊門五ヲ Gagovo ニ派
 遣シ Gagovo ニ在リシ步兵第三百三十九聯隊一中隊砲兵第三十五旅團第四中隊ノ内步兵九中隊ハ
 Kara Hasan ニ到リ同地ニ於テ戰闘中ナル少將レオノフ部隊ヲ援助シ又同歩兵一中隊砲兵一
 中隊ハ Kara Lom 河左岸ニ於テ同少將
 ノ部隊ヲ收容セシコト既記ノ如シ 次テ步兵第三百三十七聯隊ヲ Palamarca ニ派遣
 ス

三十日夕露軍第十三軍團ノ情況次ノ如シ

中將プロクロフノ部隊 步兵第一聯隊步兵第二聯隊騎兵第八聯隊
 克騎砲兵第九中隊ノ四門計歩 聯隊第一第二第三第六中隊砲兵第一旅團第一第四中隊
 兵六大隊騎兵八中隊砲兵二十門 ハ Popovo ノ陣地ヲ占領シ少將レオノフノ部隊 兵歩
 第三百三十九聯隊一中隊缺同第四百四十聯隊砲兵第三十五旅團第一第四中隊親衛哥薩克騎兵二
 聯隊騎兵第八聯隊ノ二中隊下哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊下哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二
 門並其後増加セラレタル歩兵第四聯隊ノ二大隊騎砲兵ハ歩兵及砲兵ヲ以テ Gagovo ノ
 陣地ヲ占領シ其騎兵ヲ以テ Kara Lom 河左岸ニ在リテ警戒ス

歩兵第三百三十七聯隊ハ Palamarca ニ軍團豫備隊 步兵第三及第四聯隊ノ各一大隊
 兵第三百三十九聯隊ノ一中隊下哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊砲兵第一旅團第二中隊
 門缺ハ第五第六中隊砲兵第三十五旅團第二第三第五第六中隊計歩兵四大隊餘砲五十四門
 VAGOVEC ニ在リ

此間 Balda Omur, Karate ノ守備兵ノ情況變化ナシ

三十日夜中將プロクロフハ優勢ナル土軍 Kara Hasan ヨリ Gagovo ニ向ヒ前
 進シ著シク退路ヲ脅威セラレントスルニ當リ少クモ二萬人及砲三十八門
 實際ノ兵力ニ比シテ有スル土軍 Popovo ノ前面ニ前進セルヲ知り速ニ Kovacovec
 テ頗ル誇大ナリ
 ノ陣地ニ退却セサレハ敵ノ包圍ヲ受ケテ退却不可能トナルヘキヲ憂ヒ中
 將ハーンニ夜十二時迄ニ命令ヲ受領スルカ若クハ増加部隊ヲ得ルコトナ
 クンハ Popovo ノ陣地ヲ撤退シ Kovacovec ニ向ヒ退却スヘキコトヲ報告ス然
 ルニ中將プロクロフハ午後十一時三十分頃迄何等ノ命令ニ接セサリシカ
 故ニ其決心ニ基キ一部ヲ Popovo ニ殘置シ同夜半 Kovacovec ニ退却ス中將
 ハーンハ此報告ニ接シ Gagovo ニ在ル少將レオノフノ部隊ヲ Palamarca ニ向

第十三軍團
 Kovacovec
 ニ退却ス

ヒ退却セシメ中將プロクロフノ部隊ノ左翼ニ連繫シテ Kovacovec 東方ノ陣地ヲ占領セシム即チ三十一日朝第十三軍團ノ主力ハ Baldzi Omur ヨリ Palamarcia ニ互ル線ヲ占領シ Popovo, Gungovo ニハ若干ノ部隊止リテ敵ノ前進ヲ監視シ又 Kara Av ニハ歩兵二大隊騎兵ノ小部隊アリテ陣地右翼ノ警戒ニ任ス

附記 Kara Hasan 及其附近露軍陣地ノ攻撃ニ任スル部隊ハ三十日拂曉

左ノ部署ヲ爲ス 附圖第六十一参照

一、Kara Hasan 攻撃部隊ハ三個ノ部隊ニ分レテ Kara Hasan ヲ攻撃ス

右翼部隊 アサツフバシア師團ノ一旅團ニシテ歩兵八大隊砲十二門ヨリ成リ之ニ軍備隊ノ騎兵八中隊ケリムバシア此騎兵ヲ指揮スヲ屬ス此騎兵ハ Batemberg ノ東北方ニハ早朝 Dornis dere 河右岸ノ宿營地ヲ出發シ Sadina ヲ經位置セリ Kara Hasan ノ北方ヨリ攻撃ス

中央部隊 ネドシツフバシア師團ノイブラヒムバシア旅團(察スルニハ早朝 Malko Ada ヲ出發シ Spahar ヨリ攻撃ス ネドシツフバシアハ此部隊ノ援助トシテ師團ノ他ノ旅團ニシアードバシア旅團ヲ

致セントス モ Spahar ニ招

左翼部隊 サビトバシア旅團(歩兵七大隊騎兵八中隊砲十八門ニシテ Babizlar ニ位置ス) ハ Kara Lom 河右岸ニ沿ヒ

前進シ南方ヨリ攻撃ス

一、Hajdar ノ攻撃部隊 アリーリザバシア旅團(歩兵三大隊騎兵六中隊騎兵五中隊ヲアシツムバシアニ屬ス砲十二門)ニシテ Egek Duzla 山ニ在リ

ハ Hajdar ヲ攻撃ス

三、Ajazlar ノ攻撃部隊 アシツムバシア旅團(歩兵六大隊騎兵六中隊砲十二門) ハ Ajazlar ヲ攻撃ス

以上攻撃部隊ノ總計歩兵三十二大隊騎兵三十中隊砲六十六門トス

土軍右翼ノ攻撃部隊 アサツフバシア師團ノ一旅團ト共ニ行動スヘキ騎兵八中隊ハ Jar-dim ヲ經テ午前九時 Sadina ニ著シ先露軍ト戦闘ヲ交ユ

土軍中央攻撃隊タルネドシツフバシア師團ノイブラヒム旅團ハ早朝

Malko Ada ヲ出發シ午前九時頃 Spahar 附近ニ開進シ先ツ二大隊ヲ以テ

同地西方高地ヲ占領シ次テ露軍歩騎兵同高地ニ向ヒ前進スルヲ認め

更ニ二大隊ヲ増加シテ之ヲ擊退シ午前九時三十分以後同旅團ノ全力

土軍 Kara Hasan ノ攻撃(附圖第六十二参照)

ヲ展開シ Keçiler 南方露軍陣地ニ向ヒ攻撃ヲ開始シ 此頃右翼攻撃部隊ハ 後敵陣地ヲ攻略セシモ露軍 ニ向ヒ前進中ナリ 東端ニ據リ頑強ニ防禦シ爾後ノ 攻撃毫モ進捗セス依テイブラヒム旅團ハアサツフパシア師團ニ屬ス ル一旅團ノ Keçiler ニ進出スルヲ待チ午後零時三十分頃ヨリ之ト相提 携シテ露軍ヲ攻撃セシカ常ニ陣地直前ニ於テ擊退セラル依テ ス 西方高地上ニ在リシネドシユツフパシア 師團 ハ左翼攻撃部隊タルサ ビトパシア旅團ニ急進ヲ促セリ然ルニ同旅團ハ是ヨリ先無爲ニ Baran 附近ニ停止シ漸ク午後四時頃運動ヲ起シ Keçiler 河谷ニ到着セシ モ單ニ Hajdar 北方高地上ニ歩兵二大隊ヲ展開シタルノミ加之旅團長 ハネドシユツフパシアニ會合セシトシテ部隊ヲ離レタル爲同旅團ノ攻 撃運動ハ著シク遲緩シ午後五時半頃 Keçiler 河右岸高地ニ向ヒ前進 運動ヲ起シ午後六時頃露軍右翼陣地ニ近ク前進ス 此頃露軍動搖シ退却ヲ開始ス土軍攻撃部隊直ニ前進シテ Kara Hasan

Hajdar 及
Ajazlar 附近
土軍ノ攻
附圖第一
六(十)照

ヲ占領シ一部ヲ以テ Kara Lom 河右岸地區ニ至ル迄露軍ヲ追躡セシメ 主力ハ占領シタル地點附近ニ停止ス 此戰鬪ニ於テ土軍ノ參加兵力ハ歩兵二十三大隊騎兵十八中隊砲四十 二門ニシテ其損害不明ナリ Hajdar ノ攻撃ニ任シタルアリーザパシア旅團ハ是日 Kara Lom 河 ノ渡過ニ際シ數回露軍ノ爲ニ擊退セラレシモ屈セス攻撃ヲ斷行シ午 後五時ニ至リ漸ク退却スル露軍ヲ追フテ Hajdar ヲ占領セシモ日没ニ 至リ露軍ノ逆襲ヲ慮リテ Kara Lom 河右岸ニ退却ス Ajazlar ノ攻撃ニ任シタルアシムパシア旅團 步兵六大隊騎兵八中隊砲十二門 ハ露軍ノ右翼 ヲ脅威スルニハ敢テ Ajazlar ヲ攻略スルヲ要セスト認メタルモノノ如 ク午後五時頃迄殆ト無爲 Kara Lom 河右岸ニ駐止シ後 Hajdar 附近ニ於 ケル友軍ノ有利ナル戰鬪ヲ認メテ初メテ攻勢ニ轉シ Sultan, Seid ノ線 ニ至ル迄露軍ヲ追撃シ日没後 Ajazlar ニ退却ス

二十日夜 Kara Lam 河畔ノ露軍ヲ撃退シタル土軍ハ Kara Lom 河右岸ニ停止ス

左翼部隊方面ニ於テハ三十日午前六時土軍約三大隊ハ Ströklevo ヲ守備セシ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊長大佐ホレスチアツキーノ部隊ニ向テ攻撃ス露軍騎兵ハ増加部隊ノ援助ニ依リテ之ヲ撃退ス
土軍ノ此攻撃ハ間接ニ Kara Lam 攻撃ヲ容易ナラシムル爲ニ Ströklevo 要塞ヨリ派遣セラレタル部隊之ニ任シタリ

同三十日兵團司令官ハ其豫備隊ト共ニ Halvadzi ニ在リ Kara Hasan 附近ノ戦闘竝ニ Ströklevo 附近ノ土軍攻撃ニ關スル報告ヲ受領シ Albanovo ニ在リシ中央部隊ノ内ヨリ歩兵第三百三十聯隊(一大隊缺)砲兵第三十三旅團第六中隊ヲ Opaka ニ向ヒ前進セシメ又歩兵第十二師團ヲ Batin ニ兵團豫備隊ヲ第三十三師團ノ歩兵ヲ Koprivec ニ退ケ尙 Peperina 及 Kosovo 間ノ Kara Lom 河ノ橋梁ヲ破壊セシメントセリ
兵團司令官ハ以上ノ守勢的決心ニ基キ三十一日幕僚ヲ Kosovo 差遣シ自ラ第十三軍團ノ情況ヲ偵察セント欲シ Kosovo 赴ケリ

八月三十日
ニ於ケル兵團司令官ノ決心ト軍命(附圖第五十八參照)

九月一日兵團司令官附
Kosovo 附近ニ於テ攻勢移轉ヲ企圖ス

然ルニ九月一日兵團司令官ハ軍司令官ヨリ現在占領セル陣地ヲ固守スヘキ命令ヲ受領セシヲ以テ第十三軍團ヲシテ Balizi Omar ヨリ Opaka ニ至ル間ヲ占領セシメ又歩兵第十二師團ヲシテ Ströklevo, Gtir Cesme, Prigoz ノ線ヲ守備セシメ兵團豫備隊ヲ依然 Halvadzi 附近ニ位置セシム
二日兵團司令官ハ第十三軍團ノ陣地ヲ巡視シ Kara Lom 河右岸同軍團前方面ノ土軍ハ其一部ニシテ同河右岸ノ地形ヲ利用シ微弱ナル部隊ヲ以テ露軍ノ出撃ヲ拒止シ其主力ヲ以テ兵團ノ他方面ニ機動スルモノナラント判断シ左ノ攻勢移轉ノ計畫ヲ立案ス

一、九月三日 Grainovo, Kuculevo 間ニ歩兵十七大隊騎兵九中隊砲五十四門ヲ集中シ三日午前四時 Novoselo ヲ經テ Kara Hasan ノ敵ノ背後ニ進出シ若シ成效セハ遠ク東南方 Kosekoi 方向ニ前進ス
前記行動間背後及左側面ヲ警戒スル爲 Novoselo ニハ歩兵一旅團ヲ殘置ス

九月三日ノ
軍訓令ト兵
團司令官ノ
決心變更

一、第十三軍團ハ猛烈ニ前面ノ敵ヲ攻撃ス
二、步兵第十二師團ハ一部ヲ以テ *Buzun* ニ向ヒ前進シ *Razgrad, Kuscuk* 間
ノ連絡ヲ遮斷ス

四、第十一軍團ニ請求シ其一部ヲ以テ *Jubeller* ヲ經テ *Golemonovo* ニ前進
シ兵團ノ攻撃ヲ援助セシム

兵團司令官ハ三日參謀大佐レウイツキーヲ軍司令部ニ派遣シ右ノ計畫ヲ
具申セシム而シテ軍司令官ヨリ左ノ訓令ヲ受領ス

大佐レウイツキーハ攻撃計畫ヲ予ニ説明セリ予ハ之ヲ過早ト認メテ中
止ヲ命ス本日 *LOVCA* 攻撃起ラン兵團ハ陣地ヲ堅固ニ守備シ敵兵攻撃シ
來ラハ之ヲ撃退スヘシ退却ノミヲ續行シ戰ハスシテ有利ナル陣地ヲ敵
手ニ委スルハ不可ナリ中將ハーン特ニ中將プロクロフニ陣地ニ於テ敵
ヲ拒止スルコトヲ敢テセスシテ退却ノミヲ事トスルハ予ノ頗ル不滿ト
スル所ナリト傳ヘヨ土軍ノ銳氣ヲ挫カンニハ我陣地ニ於テ敵ヲ拒止ス

ルヲ最良トス故ニ全力ヲ擧ケテ陣地ヲ設備スヘシ而シテ此設備タルヤ
單ニ一線ニ止マラス數線ニ於テセサルヘカラス予ノ見ル所ヲ以テセハ
「ルスチユツク」兵團ハ尙二乃至三週間守勢ヲ維持セサルヘカラス
是ニ於テ曩ニ計畫セル攻勢移轉ヲ止ム

同三日「ルスチユツク」兵團ノ全正面ニ於テ土軍ノ小部隊ト露軍警戒部隊ト
ノ間ニ衝突アリ即チ中央部ニ於テハ露軍ノ前哨ハ土軍ヨリ撃退セラレ又
Gagovo, Opaka, Krepca ノ前面ニモ土軍ノ一部隊現出シ又 *Stroklevo* ノ北方約
三吉米ニハ土軍約十大隊蔭蔽シテ陣地ヲ占領セルヲ知レリ「ルスチユツク」
兵團ニ於テハ土軍ハ翌四日ヲ期シテ攻勢ニ轉スルモノナラント判断シ兵
團豫備隊ヲ中將ドリーゼンノ指揮ニ屬シ步兵第三百三十一聯隊ヲ *Albanovo*
ニ步兵第二百二十九聯隊砲兵第三十三旅團ノ二中隊ヲ *Halvadzik* ेरリ *Urendzik*
ニ移シ又左翼部隊長中將ウラヂミールアレクサンドロウイチニモ敵ノ
出撃ニ對シ注意スル所アリシカ如シ

四日ニ於ケルルスチユッ兵團ノ配備次ノ如シ附錄第七軍隊區分並
附圖第六十三參照

右翼部隊 主力ヲ以テ Kovacovic ヲ占領シ一部ヲ以テ Kara Ag, Popovo ノ線

ヲ占領ス

中央部隊 歩兵第百三十九聯隊砲兵第三十三旅團ノ二中隊速射砲八門

ヲ以テ Drendzik 附近ニ其他ハ Kacelevo 及 Albanovo ニ位置ス

左翼部隊 Ivanovo, Pirgoz ノ線ヲ占領シ騎兵ヲ以テ Cerden, Nisovo, Ströklevo

ノ線ヲ警戒ス

兵團司令部ハ Kovacovic ニ在リ步兵第百三十二聯隊ノ一大隊其掩護ニ任シタリ親衛騎
兵二中隊ハ右翼部隊ニ一時配屬セラレタルモノノ如シ

左翼部隊ニハ敵ノ攻撃ヲ顧慮シ Ivanovo 附近ニ兵力ヲ増加セシモノノ如

ク四日朝同部隊ノ配置ハ左ノ如シ地形圖第
二參照

一、右翼隊 長大佐ネミラ歩兵第四十七聯隊ドン哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ三中隊砲兵第十二

門ハ Ströklevo 及 Ivanovo 附近ニ在リ

尙此部隊ニ増加スヘキ目的ヲ以テ歩兵第四十八聯隊第一大隊ハ Tröste-

nik ヨリ砲兵第十二旅團第五中隊ハ Gür Cesme ेरリ Ivanovo ニ向ヒ前進

中ナリ之等部隊ハ Ströklevo ノ前面ニ土軍集中シタル模様ア

二、中央隊 長少將スタールフオン、ホルスタイン騎兵第十二師團第二旅團長歩兵第四十六聯隊

計歩兵三大隊騎兵十二聯隊砲兵第十二旅團第二中隊半部ドン哥薩克騎砲兵第五中隊ノ四門

兵四中隊砲八門ハ Gür Cesme ノ陣地ヲ守備ス

此部隊ノ内歩兵二中隊ハ Kara Lon 河畔ノ Krasen ニ位置シ渡河點ヲ守

備ス

三、左翼隊 長少將チトリアツエフ步兵第十二師團第一旅團長步兵第四十ハ Pirgoz ノ陣地

ヲ守備ス

四、軍團豫備隊 砲兵第四十八聯隊一大隊缺ドン哥薩克騎兵第十二聯隊ノ四中隊

tenik ニ在リ

「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ノ二中隊同三十七聯隊ノ三中隊ノ所在明

カナラス

附記 メヘメットアリーパシアハ八月三十日 Kara Hasan ノ戦捷ニ依リ

第十五章 八月三十日ヨリ九月中旬ニ至ル作戦

二七五

大ニ自信力ヲ得此機ヲ利用シ Kacelevo, Stoklevo ノ兩地ヲ攻撃シ Kija Lon 河右岸ヨリ露軍ヲ撃退セント欲シ先 Razgrad 及 Eski Dzumaja 附近ノ軍ノ編組ヲ左ノ如ク改ム

一、北軍 司令官アヒメツトエユツバシア步兵
七十七大隊騎兵三十六中隊砲百八門

第一軍團 長アヒメツトエ
ユツバシア

ネドシツ フパシア 師團 步兵十九大隊騎兵
六中隊砲三十門

フアードパシア 師團 步兵十八大隊騎兵十
八中隊砲二十四門

此部隊ニハ臨時ムスタファアパシアノ指揮スル步兵十大隊砲十

二門ヲ配屬ス 此部隊ハルスチュック要塞守兵ノ内
ヨリ編成セララルヘキ獨立旅團トス

計步兵四十七大隊騎兵二十四中隊砲六十六門

第二軍團 長アサツ
フバシア

アサツ フパシア 師團 步兵十八大隊騎兵
六中隊砲二十四門

サビトパシア 師團 步兵十二大隊騎兵六中隊砲十八門(サビト
バシアハ旅團長ヨリ師團長ニ進級セリ)

計步兵三十大隊騎兵十二中隊砲四十二門
二、南軍 司令官埃及王子ハツサン步兵四十
七大隊騎兵二十八中隊砲百二門

イズマイルパシア 師團 步兵十五大隊騎兵
四中隊砲三十門

サリクパシア 師團 步兵十六大隊騎兵二十中隊砲三十六門
(サビトパシア進級轉出セリ)

附圖第六十三ニハサリクパシア師團ニイブラヒムバシアベツケルバシア部隊合計
步兵五大隊騎兵十中隊砲十二門加リテ兵力步兵二十一大隊騎兵三十中隊砲四十八
門トナ
レリ

メヘメツ トセリムパシア 師團 步兵十六大隊騎兵
四中隊砲三十六門

メヘメツ トアリーパシアハ以上ノ外尙若干ノ部隊殊ニ不正規兵部隊
ノ多數ヲ有セシモ其兵力不明ナリ 前記イブラヒムバシアベツケルバシア 之ヲ

要スルニメヘメツ トアリーパシアハ八月三十一日 Razgrad 及 Eski Dzu-

maja 附近ニ於テ步兵百二十九大隊騎兵七十四中隊砲二百二十二門ヲ

有スルニ至レリ 此クノ如ク増大シタルハ他ノ方面ヨリ増加セシ
ト又要塞守兵ノ正規兵部隊ヲ招致シタルニ依ル

メヘメツ トアリーパシアハ軍ノ編成完結ヲ待テ左ノ部署ヲ以テ Kacelevo-

シ是ヲ牽制スヘキヲ以テセリ

二日「ルスチニツク」要塞司令官アヒメットカイセルリ。パシアハ右ノ命令ヲ受領シムスタフアパシア歩兵十大隊 砲十二門ヲシテ之ニ當ラシム同支隊ハ主力ヲ以テ *Stroklevo* ニ在ル露軍ヲ攻撃シ一部ヲ以テ其右側ヲ掩護スル爲 *Krasen* ヲ攻撃セント欲シ四日 *Pisanu* 附近ニ位置ス此間 *Kacelovo* 攻撃ニ任シタル諸隊ハ運動ヲ終リ同四日夕概ネ *Grinovo, Svalenik* ノ線ニ達セリ

九月四日 *Stroklevo* ノ戰鬪

四日第十二軍團ノ右翼隊長大佐ネミラ歩兵第四十七聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ三中隊 砲兵第十二旅團第二中隊ノ四門「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊ノハ少佐キゼレウスキーノ指揮スル歩兵六中隊「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ三中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊ノ二門ヲ以テ *Stroklevo* ヲ占領シ其他ハ *Ivanovo* 東側葡萄畑ノ陣地ニ在リ
午前七時頃少佐キゼレウスキー部隊ハ土軍ノ前進スルヲ認め *Stroklevo* ヲ

固守セシモ優勢ナル土軍ノ包圍攻撃ヲ受ケテ遂ニ同地西南方葡萄畑ニ退却シ同所ニ陣地ヲ占領セル大佐ネミラ部隊ノ主力ニ合シ敵ヲ拒止ス此間 *Trostenik* ヨリ歩兵第四十八聯隊第一大隊 *Gir Cesme* ヨリ砲兵第十二旅團第五中隊來著シ尋テ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ノ四中隊モ *Trostenik* ヨリ來著シ兵力計歩兵四大隊騎兵七中隊砲十四門トナリ歩兵及砲兵ハ *Ivanovo* 東方葡萄畑ノ東側陣地ヲ守備シ騎兵ハ二中隊ヲ以テ徒歩シテ步兵陣地ノ東側ヲ占領シ其他ハ右翼方面ノ警戒ニ任シ極力防戦ス然レトモ土軍優勢ニシテ正午頃露軍ノ危機刻々ニ迫ル此時ニ當リ大佐ネミラハ左方 *Krasen* ヨリ豫期セサル中央隊ノ援助ヲ得タリ

是ヨリ先中央隊ニ屬スル歩兵第四十六聯隊ノ三中隊ハ *Krasen* 東岸ニ在リテ警戒ニ任シ *Stroklevo* 方面ノ戰鬪開始ト殆ト同時ニ土軍ノ攻撃ヲ受ケ陣地ニ據リテ之ヲ拒止ス幾モ無ク中央隊長少將 *スタール、フォン、ホルスタイン* ハ土軍攻撃シ來ルヲ知り *Gir Cesme* ニ歩兵一大隊ト三中隊騎兵二中隊砲

二門ヲ殘シ其他步兵第四十六聯隊第一大隊一中隊缺驃騎兵第十二聯隊ノ二中隊砲兵第十二聯隊ノ二中隊砲兵第五中隊ノ四門テ Krusen ニ來著シ同地ニ於テ交戰中ナル步兵三中队ニ増加シ直ニ土軍ヲ攻撃セシモ功ヲ奏セス依テ更ニ Gjur Ceshne ヨリ步兵第四十六聯隊第二大隊三中ヲ招致シ第二回ノ攻撃ヲ實施シ再ヒ失敗シ更ニ步兵第四十六聯隊第一大隊砲兵第二中队ノ二門ヲ招致ス正午頃大佐ネミラ部隊ノ戰況頗ル不利ナリ依テ同隊ノ來著スルヤ奮然直ニ攻勢ニ轉シ第三回ノ攻撃ヲ實施シ遂ニ土軍ヲ擊退セリ大佐ネミラノ部隊モ此機ニ乘シ亦攻勢ニ轉シ兩部隊互ニ協力シテ午後四時全ク土軍ヲ擊退シ「ドン」哥薩克騎兵中队ハ之ヲ Rusk 方向ニ追撃ス

日没ニ至リ中央隊ノ主力ハ Gjur Ceshne ニ復歸シ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ノ四中队ハ Trostenik ニ退キ大佐ネミラノ部隊ハ Ivanovo 附近ニ宿營ス

右ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ參加兵力ハ大佐ネミラ及少將スタール、フォン、ホルスタインノ率ユル步兵七大隊騎兵九中队砲二十二門ニシテ其損傷死卒三

戰鬪ノ成績

九月四日
Strigalovo 戰
鬪後兵團司
令官ノ決心
並ニ部署

十四負傷將校五卒二百十三失踪大佐ネミラハ戰鬪ノ末期ニ負傷ストス

附記 右ノ戰鬪ニ於テ土軍ノ參加兵力ハ步兵十大隊砲十二門此外騎兵部隊若干アリシモ明カナラスニシテ其損傷明カナラス

九月四日ルスチュック兵團司令官ハ Ströklevo 附近ノ戰鬪報告ヲ受領シ土軍ノ背後ヲ脅威センカ爲 Ablanovo (Albanovo) En Svalenik, Grinovo 方面ニ出撃セント欲シ中將ドリーゼンニ命シテ步兵三大隊ヲ基幹トスル一支隊ヲシテ上記ノ方面ニ攻勢ニ轉セシメ Ablanovo 附近支隊増援ノ目的ヲ以テ第十三軍團ヨリ步兵第一第四聯隊砲兵二中队ヲ差遣セシメ此補充トシテ第十一軍團長ニ最小限步兵四大隊砲兵一中隊ヲ北隊ヨリ Kovacovic ニ差遣スヘキヲ請求セリ第十一軍團ニ於テハ此請求ニ依リテ五日步兵第百二十五聯隊ノ一大隊槍騎兵第十五聯隊ノ一大隊及砲兵第三十二旅團第四中队ノ半部ヲ六日步兵第百二十五聯隊ノ一大隊及砲兵第三十二旅團第四中队ノ半部ヲ派遣セリ本卷二四四頁參照然ルニ兵團司令官ハ四日午後六時三十分中央部隊長中將ドリーゼンノ報告ニヨリテ Grinovo, Svalenik, Torlak, Pisanic 附近ニ優勢ナル土軍アリ Kacelevo ニ對シテ集中攻撃ヲ爲サントスルノ狀ア

ルヲ知り攻勢移轉ヲ中止シ且 Ablanovo 及 Kacelevo 附近ニ兵力ヲ集結スルニ決シ左ノ部署ヲ爲ス

一、Kacelevo ノ守備兵ヲ増加歩兵第三百三十聯隊第二第三大隊砲兵第三十三旅團第一中隊ドン哥薩克騎兵第三十一聯隊ノ三中隊ハ Ablanovo ヨリ Kacelevo ニ向ヒ前進セリ 歩兵二大隊撤兵兩中隊缺ハ五日朝 Kacelevo ニ到着シ砲兵中隊ハ兩大隊ノ撤兵中隊ノ掩護ニ依リテ Ostrica ヲ經由シテ同日午前十一時頃 Kacelevo ニ著ス

二、歩兵第三百二十九聯隊三中隊缺砲兵第三十三旅團ノ二中隊ヲ Urendzik ヨリ Ablanovo ニ向ヒ前進セシム 此部隊ハ五日朝迄 Ablanovo ニ著ス 歩兵第二百二十九聯隊ノ二中隊及速射砲二門ヲ以テ Krepeca ヲ同歩兵聯隊ノ一中隊速射砲二門ヲ以テ Opaka ヲ守備セシム Opaka ニハ茲ニ示ス部隊ノ一中隊モ加ハリタリ

三、右翼部隊第十三軍ノ内歩兵第一第四聯隊砲兵第一旅團第二第六中隊ヲ Urendzik ニ向ヒ前進セシメ尋テ歩兵第一聯隊第一大隊同第四聯隊砲

九月五日「ルスチ」兵團ノ軍隊區分

土軍 Kavaliyev 攻撃ニ關スル命令(附第六十四參照)

兵第一旅團第二第六中隊ヲ Ablanovo ニ向ヒ前進セシム 是ニ於テ五日「ルスチ」兵團ノ軍隊區分ハ附録第八ノ如ク而シテ土軍ノ攻撃ヲ豫期セシ中央部隊ノ兵力ハ歩兵十七大隊騎兵十三中隊砲七十八門兵員計約一ヲ算スルニ至ル但シ歩兵第一師團第一第四聯隊砲兵第一旅團第二第六中隊ハ九月四日大雨ニ會シ行軍遲緩シ五日朝未タ Ablanovo ニ到着セス 五日午前十時到着セリ

附記 メヘメツトアリーパシアハ露軍 Kacelevo 南端ヲ占領セシヲ知其退路ハ Kacelevo ヨリ Ostrica 及 Sirokovo ニ向フモノト豫想シ三日次ノ要旨ノ命令ヲ下ス

一、フアドバシア師團ハ五日午前七時 Svalenik ヲ出發シ Kacelevo 高地ヲ守備スル敵ヲ攻撃スヘシ
二、ネドシツフバシア師團ノ一旅團 砲兵十二大隊 ハ Umurski Iom 河ニ沿ヒ前進シ Kacelevo 内リ Sirokovo ニ通スル露軍ノ退路ヲ攻撃スヘシ

フアードパシアノ指揮ヲ受クヘシ

同師團ノ他ノ一旅團歩兵九大隊騎兵ハ六中隊砲十八門 Svalenikニ位置スヘシ

三、サビトパシア師團ハ午前九時 Cerovicツェロヴィチヲ發シ敵ノ右翼ヲ攻撃スヘシ

四、ムスタフアパシア砲十二門ハ Pisanikニ位置スヘシ

四日ルスチュッタ兵團ニ對スル土軍ノ配置次ノ如シ

九月四日
「ル」兵團ニ
對スル土軍
ノ配置(附
圖第六十三
參照)

一、Kacelevoノ攻撃ニ任スヘキアヒメツエuppパシアノ部隊ハフ

アードパシア師團歩兵十八大隊騎兵十及ネドシッフパシア師團歩兵十九大隊騎兵

六十門砲ヲ以テ Svalenik附近ニサビトパシア師團歩兵十二大隊騎兵ヲ

以テ Grinovoニ位置シムスタフアパシアノ部隊歩兵十二門ハ Pisanic

ニ在リ

北軍中アサツフパシア師團及若干ノ部隊ハ Kazgrad附近ニ駐留ス

ラツグラーダ Kazgradノ西方ノ東南陣地ニ在リ

二、南軍中サリクパシア師團並ニイブラヒムパシア及ベツケルパシ

アノ部隊合計歩兵二十一大隊騎兵三十中隊砲四十八門ハ Kara Hasanヨリ Sarnasif附近ニ互ル

間ニ在リ

又イヅマイル師團歩兵十五大隊騎兵ハ四中隊砲三十門ハ Kizillar附近ニ位置ス

メヘメツトセリムパシア師團歩兵十六大隊騎兵ハ四中隊砲三十六門ハ依然 Innovo-Osman-

bazar街道方面ニ在リ

以上ノ如クシテ Kacelevoノ東方地域ニ集中シタル土軍ノ兵力ハ總計

歩兵五十九大隊騎兵三十中隊砲八十四門人員計三萬五千五百人トス

九月五日 Kacelevo, Ablanovo (Albanovo)附近ノ戰鬪附圖第六十四參照

五日中央部隊ハ一部ヲ以テ Opaka Krepcaヲ占領シ主力ヲ以テ Ablanovo, Kace-

levoヲ占領ス其軍隊區分附録第九ノ如シ

Kacelevoハ Kara Iom河ト Umurski Iom河トノ分水界ヲ爲ス高地ノ南斜面

ニ位置シ村落ノ北側ハ濃密ナル高樹森林ニ接觸シ森林ノ幅一吉米ニ達ス

Kacelevo及
Ablanovo附近
ノ地形及
露軍ノ陣地

此森林ノ東方ニ葡萄畑アリ其南方ニシテ同村落東側ニ五百乃至千米ノ開
 豁セル地域アリ此地域ノ東方ニハ ドブローマン Dobroorman, ピロスカ Ploska 山ノ大森林アリ東ハ
グリンノ Grinovo, セロヴィ Cerovic, スヴャレンク Svalenik ニ達シ南ハ カラロム Kara Lom 河ニ達ス カツヘレ Kacelevo ノ西方約三
 百米ヲ隔テテ一森林アリ西北方ニ向ヒ其延長一里餘ニ達ス
カツヘレ Kacelevo 附近露軍ノ陣地ハ同地ノ西方及其西北方高地上ニ在リ三線ヲ成
 形シ正面約三千米アリ同陣地ノ價值ハ主トシテ ラザグラド Razgrad コリ シポコヴォ Sipokovo
 同地ニハ露軍ノ糧食 ヲ經テ ベラ Bela ニ通スル道路ヲ遮斷シ又中將ドリーセンハ
アブラノ Ablanovo ニ向フ敵ヲ側射スルノ利アリトナセリ アブラノ Ablanovo (Albanovo) ノ陣地
カツヘレ Kacelevo 陣地ノ南方四乃至五百米ニシテ カラロム Kara Lom 河左岸ノ高地端ニ在
アブラノ Ablanovo ノ東北角ヨリ高地ノ北斜面ニ沿ヒ西方ニ延亙シ其正面約三吉
 米概シテ東北方ニ面ス三個ノ砲臺中一個ハ東北方ニ他ノ二個ハ東方ニ面
 シ尙 アブラノ Ablanovo ノ葡萄畑ニ一個ノ砲臺アリ歩兵陣地ハ處々二段ト爲レリ
カツヘレ Kacelevo, アブラノ Ablanovo ノ兩陣地ヲ分離スル カラロム Kara Lom 河ハ通過困難ニシテ相互

カツヘレ
Kacelevo
近戰經過附

ノ連繫及協同動作ヲ妨害ス

五日朝 カツヘレ Kacelevo ノ守備ニ任シタル部隊 長騎兵第十二師團第一旅團長少將アルノル 部隊
三十二聯隊第一大隊缺騎兵六中隊砲兵第三十三旅團第五中隊計歩兵三大隊ト三中隊騎兵六中隊砲
八門ニシテドン 哥薩克騎兵第三十一聯隊ノ三中隊ハ是時 ドナウ Donau 河右岸ヨリ來著シ支隊ニ合シ龍騎
兵第十二聯隊ノ一中隊所在不明ナリ又砲兵第三十三旅團第一 敵ノ攻撃ヲ豫期シテ陣地
中隊ト歩兵第三百三十聯隊ノ撒兵二中隊ハ此時未タ來著セス 敵ノ攻撃ヲ豫期シテ陣地
 ヲ守備ス

午前六時頃土軍ハ陣地ノ東北方約三千米ノ地ニ現出シ砲兵第五中隊ハ射
 撃ヲ開始ス午前七時土軍砲兵ハ カツヘレ Kacelevo 東北方葡萄畑ノ北側高地上ニ陣
 地ヲ占領シ同中隊ニ向ヒ射撃ヲ開ク既ニシテ土軍砲兵ハ前方ニ陣地ヲ變
 換シ歩兵モ亦攻撃前進ヲ起シ午前十時頃陣地前數百米ニ近接シ其正面ハ
カツヘレ Kacelevo 北側ヨリ其西北方森林ノ外方ニ達シ其右翼後ニハ增加兵陸續前
 進ス

午前十時三十分ヨリ同十一時ニ至ル間歩兵第三百二十聯隊第一大隊ハ カツヘレ Kace-
 levo 守備隊ヲ救援セント欲シ アブラノ Ablanovo 出發 カラロム Kara Lom 河ヲ渡リテ露軍陣地

ノ右側ニ到著シ戰鬪ニ參加ス此頃砲兵第三十三旅團第一中隊ハ撤兵二中隊ノ掩護ヲ以テ Ostrica ヲ經テ前進シ途中 Kacelevo 附近ニ戰鬪起レルヲ知リ急行シテ砲兵第五中隊ノ傍ニ陣地ヲ占領シ射撃ヲ開ク然ルニ土軍ノ一部隊 Kacelevo 東方ヨリ前進シ來リ露軍ノ右翼ニ迫ル之カ爲 Kara Lom 河岸ニ進出セシ步兵第三百三十聯隊第一大隊ハ遂ニ西方ニ退却シ其左方ニ在リシ步兵第三百三十二聯隊第二大隊モ亦相踵テ退却ス

少將アルノルデイハ右翼ノ情況危殆ニ瀕セルヲ見テ第一線陣地ノ諸隊ヲ後退セシム

午後二時土軍ハ優勢ナル増援ヲ得テ攻撃前進ヲ開始ス是ニ於テ少將アルノルデイハ Ostrica ニ向ヒ退却スルニ決シ先砲兵兩中隊ヲシテ Ostrica ニ退却セシメ步兵ハ步兵第三百三十聯隊第三大隊ノ掩護ニ依リテ退却セントセシモ此時諸隊ハ既ニ優勢ナル土軍ニ肉薄セラレ一部ハ西方ニ一部ハ南方ニ退却セサルヘカラサリキ即チ步兵第三百三十二聯隊ノ五中隊撤兵第二中隊第七中隊

中隊ノ半部第八中隊撤兵第三中隊第十一中隊ノ半部 步兵第三百三十聯隊ノ五中隊半撤兵第二第三中隊第六中隊第七中隊ノ半部第十一第十二中隊 計十中隊半及騎兵一部以下中隊ハ敵ニ急追セラレツツ Ostrica ニ向ヒ退却シ先行セシ砲兵二中隊ト共ニ大佐ナヂモフ步兵第三百三十二聯隊長ノ指揮ニ屬シ同地ニ陣地ヲ占領スタニ至リ土軍ノ騎兵陣地前ニ現ハレ同隊ハ直ニ敵騎ヲ擊退セシモ歩砲兵ノ彈藥缺乏シ且各部隊ノ疲勞甚シカリシヲ以テ永ク同地ニ留マルヲ不利トシ同夜 Besbunar 附圖第六十五參照ニ退却シテ宿營ス 大佐ナヂモフノ部隊ハ六日更ニ Bela ニ退却ヲ

繼續セリ

少將アルノルデイ部隊ノ爾餘ノ諸隊ハ Kara Lom 河ヲ渡リテ南方ニ退却ス即チ龍騎兵第十二聯隊第三中隊缺此中隊ノ所在不明ナリ及步兵第三百三十二聯隊ノ三中隊半第五中隊第七中隊第九中隊步兵第三百三十聯隊ノ九中隊半撤兵第一中隊第一第二第三第四第五中隊第七中隊ノ半部第八第九第十中隊計十三中隊ハ Ablanovo ノ西方 Karan Yrbovka ニ退却シ步兵第三百三十二聯隊ノ第十一中隊半第十二中隊並ドン哥薩克騎兵第三十一聯隊ノ三中隊ハ Ablanovo ニ向ヒ退却シ同地ノ部隊ニ合ス

右ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ參加兵力ハ步兵五大隊步兵第三百三十聯隊第一大隊ヲ算入ス騎兵六中隊砲十六門ニシテ其損傷死將校四、卒百四十一、負傷將校二十一、卒四百二十六、失踪十總損傷六百二人ニ達ス而シテ步兵第三百三十二聯隊第一大隊缺ノ損傷最モ多ク百分ノ二十五ニ相當シ步兵第三百三十聯隊ハ百分ノ九ニ相當ス附錄

第十參照

附記

Kacelevo ノ攻撃ニ任シタルフアードパシア師團ハ五日拂曉カスレニク附近出發午前七時 Kacelevo 東北方高地上ニ達シ砲兵四中隊ヲシテ陣地ヲ占領セシメ步兵九大隊ヲ第一線トシテ露軍陣地ヲ攻撃シ又 Shokovo 方向ニ迂回スヘキ目的ヲ以テ前進中ナルネドシツフパシア師團ノ一旅團ヲ招致シ同旅團ハ Kacelevo 北方ヨリ南折シテ露軍陣地左翼ニ向ヒ前進ス Kacelevo ノ南方ヨリ露軍ヲ攻撃スヘキサビトパシア師團ハ五日朝 Greinovo, Cerovic ヲ經テ Kacelevo ニ向ヒ前進セシカ降雨後ノ道路泥濘ニシテ行進著シク遲滯ス同師團ハ Cerovic ヲ通過シタ

近ノ戰鬪經
Abianovo 附

ル後 Strazikrak 山ニ一旅團ヲ分遣シ Abianovo ノ露軍ニ對シテ側背ヲ掩護セシメ砲兵中隊ヲシテ Kacelevo 東方高地ニ放列ヲ布置セシメ步兵一旅團ヲ以テ Kacelevo 市街ヲ通過シ Kacelevo 西北方露軍陣地ノ右翼ヲ攻撃セシメ遂ニ露軍ノ一部ヲ陣地ヨリ擊退ス
正午頃メヘメツトアリアパシアハ戰場ニ來著シ Dvalenik ニ殘置シタルネトシツフパシア師團ノ一旅團ヲ戰線ニ招致シ午後二時其到着ヲ待テ露軍ヲ攻撃シ遂ニ其陣地ヲ奪取ス
土軍ハ Kacelevo ヲ占領シタル後主力ヲ以テ Kacelevo 附近ニ停止シ唯ネドシツフパシア師團ノ一旅團ノミ敵ヲ追擊シテ Ostica 附近ニ到リムスタフアパシアノ部隊ハ Nisovo ニ停止ス
此戰鬪ニ於テ土軍ノ參加兵力ハ正確ナラサルモ步兵四十三大隊騎兵約三十中隊砲六十門ニシテ其損傷不明ナリ
五日朝 Abianovo ノ守備ニ任シタル部隊長步兵第三十三師團長中將チモフイエーフ兵第三百二十九聯隊三中隊缺同第三百三十聯隊第

一六隊同第三百一聯隊槍騎兵第十二聯隊、哥薩克騎兵第三十一聯隊ノ二中隊砲兵第三十三旅團第二第三第四第六中隊速射砲四門騎砲兵第十九中隊計步兵六大隊ト二中隊騎兵六中隊砲四十二門ニシテ步兵第一聯隊第一大隊同第四聯隊砲兵第一旅團第二第六中隊ハ此時未タ來著セスハ概ネ左ノ如ク陣地ヲ占領ス附圖第六十兵第一旅團第二第六中隊ハ此時未タ來著セス照

步兵第三百三十一聯隊撤兵第一中隊第二第三大隊ヲ以テ步兵陣地ヲ占領シ同聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺ハAbianovoノ東方第三號砲臺附近ニ、步兵第三百三十聯隊第一大隊ハ陣地最右翼第一號砲臺附近ニ位置シ砲兵第二第三第四中隊ハ第二第三號砲臺並ニ葡萄畑内ノ砲臺ニ位置シ步兵第三百二十九聯隊(三中隊缺)砲兵第三十三旅團第六中隊速射砲中隊門四騎砲兵第十九中隊ハ陣地ノ左翼後ニ在リテ豫備隊ト爲リ騎兵諸中隊ハカフツロム河右岸ニ在リテ警戒ニ任ス此騎兵ハ幾モナク敵ノ壓迫ヲ受ケテ陣地ノ兩翼ニ退却ス中央部隊長中將ドリーゼン騎兵第十二師團長ハAbianovoニ在リ

午前七時土軍 Kura Lom 河右岸高地ニ現ハレ其砲兵ハ極メテ遠距離ヨリAbianovoノ露軍陣地ヲ射撃シ同陣地ノ砲兵之ニ應戰シ兩軍暫時效果ナキ

砲戰ヲ繼續ス

午前十時頃步兵第四聯隊步兵第一聯隊ノ一大隊砲兵第一旅團第二第六中隊ハ第十三軍團方面ヨリ Urendzik ヲ經テ Abianovoニ到著ス步兵第一聯隊ノ他Urendzikニ殘置セシメラレタリ

是ヨリ先中將ドリーゼンハAbianovoニ在リ土軍 Kacolevoニ陣地ヲ守備セル少將アルノルデイノ部隊ヲ攻撃シ其戰鬪猛烈ナルニ拘ラス自己前面ノ土軍ハ毫モ活動セサルヲ知り Kacolevo 附近ノ部隊ヲ援助セント欲シ先歩兵第三百三十聯隊第一大隊ヲ差遣シ同大隊ノ戰鬪加入ニ就テハ既ニ述ヘタルカ如シ又中將チモフイエーフ步兵第三十三師團長ニ命シ步兵第三百三十一聯隊速射砲四門ヲシテ土軍ノ側面ヲ攻撃セシメ後該方面ノ戰況不利トナルニ及ヒ Urendzikニ殘置セシ步兵第一聯隊ノ二大隊ヲ Ostichニ進メ少將アルノルデイノ收容ニ任セシム此部隊ハ此夜 Urendzik

中將チモフイエーフハ中將ドリーゼンノ部署ニ依リ步兵第一旅團長少將

コルエボノ指揮スル歩兵第三百三十一聯隊第一大隊缺砲兵第三十三旅團第六中隊速射砲四門ヲ Kacelevo 方面ノ攻撃部隊ニ任シ歩兵第二百二十九聯隊(三中隊缺)ヲシテ第三百三十一聯隊諸隊ニ代リテ陣地ヲ占領セシメ又中央後ニ在リシ歩兵第三百三十一聯隊第一大隊ヲ最左翼ノ陣地ニ就カシメ歩兵第一聯隊第一大隊及同第四聯隊砲兵第一旅團第六中隊騎砲兵第十六中隊ヲ Kacelevo 西方高地脚竝ニ最右翼ノ第一號砲臺附近ニ位置セシメ砲兵第一旅團第二中隊ヲ第三號砲臺西側ニ陣地ヲ占領セシム附圖第六十四參照正午頃砲兵第三十三旅團第六中隊速射砲四門ハ歩兵ノ陣地前方 Kacelevo ノ對岸ニ陣地ヲ占領シ同地北方土軍ニ對シ砲火ヲ開キ歩兵第三十一聯隊(第一大隊缺)ハ Kara Lom 河ヲ徒涉シテ Kacelevo ノ南側高地脚ヲ攀登ス此時少將アルノルデイノ部隊ハ陣地ヨリ退却中ニシテ之ヲ追躡セシ土軍ハ歩兵第三百三十一聯隊ノ進出ヲ見正面竝ニ側面ヨリ之ヲ攻撃シ同隊ハ忽チ苦戰ニ陥ル中將チモフ、エーフハ之ヲ見テ退却ヲ命シ同隊ハ午後二時頃 Ablanovo

NOVO ノ陣地ニ退却ス

午後三時土軍砲兵 Kacelevo 及 Grénovo ノ西北方高地ニ展開シ砲撃ヲ開始シ之ト同時ニ土軍ノ濃密ナル散兵線高地上ニ現ハレ其正面約四吉米ニ達ス幾モ無ク土軍 Ablanovo ヲ攻撃シ Kara Lom 河ヲ渡リテ露軍陣地ノ右翼ニ突入ス是ニ於テ中將チモフ、エーフハ直ニ馬ヲ下リ散兵線ヲ超エ士卒ヲ叱咤シ衆ニ先シテ單身土軍ニ突入シ志氣ヲ激勵ス士卒之ニ倣ヒ喊聲ヲ擧ケテ突進シ遂ニ陣地内ニ進入セル土軍ヲ撃退ス中將ドリーゼンモ亦此機ニ乘シ豫備隊ニ在リシ歩兵第四聯隊ヲ急進セシム同聯隊ハ直ニ前進シ特ニ第二大隊ハ勇往邁進 Kara Lom ヲ渡リテ退却スル土軍ヲ追躡ス然レトモ斜面ヲ攀登シ高地上ニ到ルヤ忽チ土軍ノ猛火ニ浴シ右岸地區ヲ固守スル能ハスシテ退却シ Ablanovo ノ主力ニ合ス爾後兩軍河谷ヲ挾ンテ銃砲火ヲ交換シ午後六時頃ニ至ル偶細雨下リ暗黒ト爲リ戰鬪自然ニ中止ス Ablanovo 附近ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ參加兵力ハ歩兵十大隊(二中隊缺)歩兵第三百

第一大隊ヲ 騎兵五中隊半砲五十八門 此方面ニ對抗セシ土軍ハ既記ノ如クサビトバシア師團ノ一旅團ナリ 算入セス
ハ死將校五卒百二十一負傷將校二十六卒五百三十五失踪六計六百九十三人トス 附錄第十 一参照

同日夜 アブラノノ 守備隊ハ陣地ヲ守備シテ夜ヲ徹シ カツエレ Kacelevo 附近ノ戰鬪後南方ニ退却シタル諸隊 步兵第百三十一聯隊第一大隊缺同第百三十聯隊ノ九中隊半同第百一十二聯隊ノ五中隊龍騎兵第十二聯隊(三中隊)下シ哥薩克騎兵第三百一十三中隊ハ Ablanovo 及 Karan Vrdovka 附近ニ集合シ同地附近ノ兵力ハ步兵約十三大隊三中隊缺(騎兵約十二中隊 他ニ龍騎兵第十二聯隊ノ一中隊アル管ナルモ所在不明ナリ) 砲五十八門トナレリ

九月五日正午 ルスチ 兵團司令官ハ コマチヨマツ Kovacovic ニ在リ中央部隊長中將ドリゼンヨリ土軍 カツエレ Kacelevo 附近ニ向ヒ攻撃スルノ狀アリトノ報告ヲ受領シ左ノ如ク處置ス

一、カツエレ Kacelevo 支隊ニ増援スルヨリモ寧口攻勢ニ轉スルヲ得策トシ其旨ヲ中央部隊長中將ドリゼンニ訓令ス 此訓令ハ實行セラレシテ止ミタリ

二、第十三軍團ニ命令シテ諸兵連合ノ一部隊 兵團司令官ハ其兵力ニ就テ步兵二大隊騎兵第十五中隊ヲ カレパチ Krepca ニ差遣シ中央部隊ニ對スル敵ノ翼側ヲ攻撃セシム

三、第十二軍團ヨリ哥薩克騎兵ヲ シホホ Shokovo ニ出シ敵ノ側面ヲ攻撃セシム 第十二軍團ハ此處置ヲ實施スルニ至ラスシテ退却ニ就キシモノノ如シ

午後二時三十分兵團司令官ハ中將ドリゼンヨリ カツエレ Kacelevo 陣地ヲ撤退セリトノ報告及午後四時 アブラノノ Ablanovo ノ戰鬪ニ關スル中將ドリゼン最後ノ報告ヲ受領シ 不明 其後何等ノ報告ニ接セサリシヲ以テ アブラノノ Ablanovo 支隊ノ運命ヲ懸念シ左ノ處置ヲ爲ス

一、第十三軍團長ヲシテ アブラノノ Ablanovo 支隊ヲ收容スル爲六日步兵一聯隊騎兵一小隊砲兵一中隊ヲ バンスコ Bansko ニ差遣シ且第三十五師團及騎兵八中隊ヲ アブラノノ Ablanovo ニ派遣スルノ準備ヲ爲サシム 第三十五師團及騎兵中隊ハ實際出發スルニ至ラザリキ

第十三軍團爾餘ノ部隊ハ第十一軍團ノ増加部隊 第十三軍團ハ當時第十一軍團ヨリ步兵四大隊ノ援助ヲ

九月五日午
後 Kacelevo
Ablanovo 附
近戰鬪後兵
團司令官ノ
處置

九月五日正
午「ルスチ」兵
團司令官ノ
處置

豫期セリ(既記) ト協力シ Kovacovic ニ於テ頑強ナル防禦ヲ爲サシム而シテ
二八三頁参照) Lom Cerkovina ヲ經テ Gorski Dolni-Trembes ニ退却セ
シム

二、中將ドリーゼンヲシテ Ablanovo ヲ固守セシム

此日第十三軍團ノ左翼ニ於テハ前記兵團司令官ノ處置ニ依リ部隊ノ移動
行ハレシモ爾他ノ方面ニ於テハ殆ト變化ナシ即チ第十三軍團長中將ハ
ンハ兵團司令官ノ處置第二項ノ命令ニ依リ歩兵第三百三十七聯隊ヲ Opalka
ニ派遣シ中央部隊ニ對スル敵ノ左側ニ向ヒ攻撃セシム 同聯隊ハ直ニ Kovacovic 附
シ同地ニ在リシ歩兵第三百二十九聯隊ノ一中隊(中將ドリーゼンノ部隊ニ屬ス)ヲ Krupina ニ移シテ中央
部隊ノ一部(歩兵第三百二十九聯隊ノ二中隊速射砲二門)ニ合セシメ聯隊長大佐チニコフハ歩兵三大隊
親衛騎兵二中隊速射砲二門ヲ指揮シ同地ニ止マレリ

五日夕ニ於ケル「ルスチユック」兵團ノ位置附圖第六十五ノ如シ

「ルスチユック」兵團 Jantva 河畔ヘノ退却 附圖第六十六参照

六日午前一時兵團司令官ハ Kacelovo 附近ニ於ケル敗戦ノ報告ヲ受領シ左

退却ニ關ス
ル兵團命令

翼部隊ヲ Dvenogili, Trostenik ノ線ニ退ケテ Ostria 方面ニ退却セル中央部隊
トノ連繫ヲ保タシム同日午前六時三十分 Ablanovo ヨリ差遣セラレタル參
謀中佐ザンデル兵團司令部ニ到著シ Ablanovo 附近ノ戦況ヲ報告ス兵團司
令官ハ之ニ依リテ中央部隊敗戦ノ情況ヲ詳知シ Jantva 河ノ線ニ退キ同線
ヲ固守スルニ決シ直ニ其旨ヲ大本營及軍司令部ニ報告シ且第十一軍團長
ニ通報シ次テ幕僚ト共ニ Kovacovic ヲ出發シ Koprivac ニ至リ同地ニ於テ退
却ニ關スル左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

一、右翼部隊ノ歩兵三聯隊竝ニ砲兵ハ九月六日退却ヲ開始スヘシ又歩兵

一聯隊ハ退却掩護ノ爲ニ Banskovo ニ先行セシムヘシ軍團ノ殘餘ハ七日

Jantva 河畔ニ向ヒ退却ヲ開始シ Polski-Trembes, Polsko-Kosovo 附近ノ渡

河點ヲ守備スヘシ

二、中央部隊ハ六日 Ablanovo ヲ保持シ七日 Banskovo, Sirokovo 間 Branski Lom 河

ノ線ニ退却シ成シ得レハ暫時同河線ニ陣地ヲ占メ次テ Bela ニ退却シ

同地ヲ守備スヘシ

三左翼部隊ハ *Dvenogih, Trstenik* ノ線ヲ守備シ三日ノ後八月尋テ *Batin* ニ退スヘシ

四諸隊豫定ノ線ニ退却セハ騎兵第八師團ハ *Drijanovic* ヨリ *Branski Lom* 河ノ線ニ沿ヒ *Jozovec* 附近ニ互ル線ヲ警戒シ又 *Cafr* ニ於テ第十一軍團ト連絡スヘシ

騎兵第十二師團ハ同第八師團ノ左翼ニ連繫シ *Obreten* ヲ經テ *Donau* 河畔ニ至ル線ヲ警戒スヘシ

步兵第三百三十二聯隊第一大隊ハ兵團司令部ノ護衛ニ任シ *Kovacovec* ニ在リシ筈ナルモ同隊ノ行動ハ不明ナリ

右ノ命令ニ依リテ兵團ハ九日 *Jantza* 河畔ニ兵力ヲ集結センコトヲ豫期ス六日右翼部隊ハ主力ヲ以テ *Sovracovec* 附近ノ陣地ヲ一部ヲ以テ *Karavac* 占領シ騎兵諸中隊ハ *Kara Lom* 河畔ニ在リ又步兵第三百三十七聯隊親衛騎兵二

右翼部隊ノ退却

中隊速射砲二門ハ依然 *Opaka* ニ在リ

同日午前中將 *Horn* ハ *Koprivac* 發兵團命令 既記退却ニ關スル兵團命令ニ照シ左ノ部署ヲ以テ諸隊ヲ退却ニ就カシム

一、步兵第一師團長中將 *Brokroff* ハ步兵五大隊騎兵十三中隊 騎兵ノ兵力ハ疑フ 砲二十八門 步兵第三聯隊同第三百三十八聯隊第二大隊ハ六日後衛ノ編組ヲ脱兵第一旅團第一第四中隊騎砲兵第十五中隊下ノ哥薩克騎兵第八聯隊騎兵第八聯隊騎兵第一中隊砲兵第二百二十五聯隊騎兵第十一聯隊ノ二中隊(此部隊ハ *Lohn Cerkovina* ニ於テ原隊ニ復歸セリ尙此方面ニ來援シアルヘキ步兵第二百二十五聯隊ノ他ノ一大隊騎兵第十ヲ指揮シ後衛一聯隊ノ二中隊砲兵第三十二旅團第四中隊ノ行動ニ就テハ毫モ記録ナシ) ヲ指揮シ後衛ト爲リ主力ノ *Lohn Cerkovina* 附近ニ到著スル迄 *Kovacovec* 附近ノ陣地ヲ守備シ其騎兵ヲ *Popovo* 附近ニ出スヘシ

二軍團ノ主力ハ二團ト爲リ退却ス
先頭梯團ハ步兵五大隊騎兵一中隊砲三十二門 步兵第四百四十聯隊同第三百三十一聯隊同第三百三十五聯隊ニシテ步兵第三十五師團長少將 *Baranoff* ノ指揮ニ屬シ *Vodica* ニ退却スヘシ

第二梯團ハ步兵六大隊騎兵三中隊砲三十二門步兵第二聯隊同第百三十九聯隊騎兵第八聯隊ノ一中隊槍
 騎兵第十一聯隊ノ二中隊此二中隊ハ Lom Cerkovna 迄行動ヲ共ニシ後原隊タル第十ニシテ
 一軍團ノ北隊ニ復歸ス砲兵第三十五旅團第一第六中隊砲兵第一旅團第三第五中隊
 騎兵第八師團長中將マンウエロフノ指揮ニ屬シ同日夕六時出發先頭
 梯團ニ跟隨スヘシ

驃騎兵第八聯隊ノ殘餘一中隊及「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊ノ爾後ノ行動ニ關シテハ記錄ニナシ但シ「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊ハ第十三軍團司令部ニ附屬セシナラシ

二三、オパカ支隊長大佐チニコフ步兵第百三十七聯隊ハ兩側軍隊ノ退却ニ伴ヒ Bela
 ニ向ヒ退却スヘシ

中將ハーンハ諸隊未タ行進ヲ起ササルニ先タチ先頭梯團ニ屬スル部隊ノ
 内ヨリ步兵第百四十聯隊驃騎兵第八聯隊ノ一中隊砲兵第三十五旅團ノ一
 中隊一中隊トアルモ二中隊ヲシテ速ニ Bansko ニ退却シテ Bela ヲ掩護セシムルト
 同時ニ中央部隊ノ退却ヲ收容セシメ尙爾餘軍團ノ主力ヲ七日午前中 Lom
 Cerkovna ニ到着スル如ク退却セシメ後衛ヲシテ一吉米半乃至二吉米ヲ隔

テテ之ニ續行セシム

右ノ部署ニ依リ六日步兵第百四十聯隊驃騎兵第八聯隊ノ一中隊砲兵第三
 十五旅團ノ二中隊ハ諸隊ニ先シテ Bansko ニ向ヒ退却ヲ始メ正午ヨリ先頭
 梯團次テ第二梯隊ハ Lom Cerkovna ニ向ヒ退却ヲ開始ス

右翼部隊主力ノ退却路ハ不良ニシテ行軍大ニ遲滯シ先頭及第二梯團ハ六
 日深夜漸ク Vodica ニ到着シ同日後衛ハ Kovacovic ヲ守備ス

右翼部隊主力ハ Vodica ニ於テ少時休憩ヲ爲シ七日朝退却ヲ續行ス

Opaka ニ在リシ步兵第百三十七聯隊親衛騎兵二中隊速射砲二門ハ是ヨリ
 先退却ヲ起シ Vodica ニ達シ軍團主力ニ合シ Lom Cerkovna ニ向ヒ退却ヲ繼
 續ス

中將ハーンハ此時午前十一時速ニ Bela ニ向ヒ退却スヘキ兵團命令ニ接シ
 兵團司令官ハ此日土軍 Stokovo ニ於テ渡河セリトノ報ニ接シ誤報右及中央部隊ニ退却ヲ急カシメ
 左翼部隊ヲシテ若シ Prostenik, Demogili ノ線ヲ固守スル能ハサルニ至レハ Vozna ニ向ヒ退却セシム
 Lom Cerkovna ニ著後更ニ左ノ要旨ノ命令ヲ受領ス此命令ハ第十三軍團ノ退却狀
 態ヲ知ラスシテ下サレタルモ

リノナ

一歩兵第三百三十九第四百聯隊砲兵第三十五旅團ノ四中隊ハ九月七日
Belaニ退却シ同地ニ於テ參謀大佐レウイツキーノ指揮ニ入り陣地ヲ
占領スヘシ

二歩兵第二聯隊歩兵第三百三十七聯隊第三百三十八聯隊ハ九月七日ヨリ八
日迄 Koprivecニ宿營スヘシ

三右翼部隊ノ後衛歩兵第三聯隊ヲ基幹トスハ Belaニ向ヒ退却スヘシ
四兵團司令部ハ九月八日 Belaニ到ル

是ニ於テ中將ハーンハ歩兵第四百聯隊驃騎兵第八聯隊ノ一中隊砲兵第
三十五旅團ノ十六門ヲ Banakoヨリ Belaニ向ヒ退却セシメ又主力ノ内第二
梯隊内ニ在リシ歩兵第三百二十九聯隊砲兵第三十五旅團第一中隊之ニ Opakaヨ
リ退却シ來
レル親衛騎兵二中隊ヲ 後衛ノ豫備トシテ Lom Cerkovnaニ殘シ其ノ他ノ部隊
配屬セシモノノ如シ 後衛ノ豫備トシテ Lom Cerkovnaニ殘シ其ノ他ノ部隊
ヲシテ七日午後七時 Lom Cerkovna出發 Koprivecニ退却セシム 七日夜ニ於テ概ネ
此動作ヲ實施セリ

此日後衛ハ Kovacovecノ陣地ニ在リ午後三時三十分前方ニ在リシ騎兵ハ砲
兵ヲ有スル敵ノ歩兵小部隊ヨリ壓迫セラレ Kovacovecニ退却シ後衛ハ午後
五時頃騎兵ノ一部ヲ殘シテ Vodicaニ向ヒ退却ス
同日夜ニ於ケル右翼部隊ノ位置左ノ如シ

一、後衛 歩兵三大隊騎兵十
三中隊砲二十八門

歩兵第三聯隊

槍騎兵第八聯隊

〔ドン〕哥薩克騎兵第八聯隊

驃騎兵第八聯隊一中隊

槍騎兵第十一聯隊ノ二中隊

砲兵第一旅團第一第四中隊

騎砲兵第十五中隊

〔ドン〕哥薩克騎砲兵第九中隊

ボヂカ

但シ此内騎兵若干中隊ハ Kovacovecニ
殘留セリ

步兵第三十八聯隊第二大隊步兵第百二十五聯隊第一大隊ハ指揮下ヲ離レタリ

二、後衛ノ豫備隊 步兵三大隊騎兵二中隊砲八門

步兵第百三十九聯隊

砲兵第三十五旅團第一中隊

親衛騎兵二中隊

Лонъ Черковна

三、主力

軍團司令部 下シ哥薩克騎兵第十三聯隊驃騎兵第八聯隊ノ各一中隊ヲ有セシカ如シ

步兵第二聯隊

同 第百三十七聯隊

同 第百三十八聯隊

驃騎兵第八聯隊ノ一中隊

Копривец

砲兵第三十五旅團ノ三中隊 第二、第五、第六中隊ナラン

砲兵第一旅團第三第五中隊

却中央部隊退

速射砲二門

計 步兵九大隊、騎兵二中隊、砲四十二門

步兵第百四十聯隊

驃騎兵第八聯隊ノ一中隊

Бела

砲兵第三十五旅團ノ二中隊 第三、第四中隊ナラン

第十一軍團ヨリ來援セシ部隊ハ此頃凡テ原隊ニ復歸シタルモノノ如シ

中將ドリーゼンノ部隊ハ六日既記ノ如ク分レテ四箇所ニアリ即チ大佐ナヂモフノ部隊ハ *Bela* ニ又一部ハ *Krepca* ニ步兵第一聯隊ノ二大隊ハ *Dren-dzik* ニ其他(主力)ハ *Abianovo* 附近ニ在リ此間土軍ハ *Kava Lon* 河右岸地區ニ在リテ敢テ活動セス

中將ドリーゼンハ午後五時頃兵團司令官ヨリ六日 *Abianovo* ヲ保持シ七日 *Branzki Lon* 河ノ線ニ退却シ成シ得レハ暫時同河線ニ陣地ヲ占メ後 *Bela* ニ

退却シテ同地ヲ守備スヘキ命令ヲ受領シ七日後衛ヲ以テ Ablanovo ヲ維持セシメ主力ハ六日夕ヨリ二縱隊ト爲リテ Banskó, Cirmov ノ線ニ退却スルニ決シ同日午後九時左ノ要旨ノ命令ヲ下ス

一、歩兵第三十三師團ハ一旅團毎ニ六日夕ヨリ出發 Trendzík 及 Zinan ヲ經テ Banskó 及 Bözovec ニ退却スヘシ

二、騎兵第十二師團第一旅團長少將アルノルデイハ歩兵第一聯隊(一大隊)缺(槍騎兵第十二聯隊龍騎兵第十二聯隊)兩聯隊共約一中隊ヲ缺ク騎砲兵第十

九中隊計歩兵二大隊騎兵約六中隊砲六門歩兵第一聯隊ノ二大隊ハ行動ヲ指テ起シタル後ニ指揮下ニ入ル揮シテ六日夕出發 Karanviovka ヲ經テ Cirmov ニ退却スヘシ途中歩兵第一聯隊(一大隊)長大佐 ボルト ヲ招致スヘシ

三、後衛司令官歩兵第一師團第二旅團長少將デユヂンスキー歩兵第四聯隊歩兵第一聯隊ノ一大隊五日戰團後 Babinar ニ退却シタルモノカ砲兵第一旅ハ七日陣地ヲ守備シ尋テ Bözovec 團第二第六中隊計歩兵四大隊騎兵四中隊砲十六門ニ退却スヘシ

Kropka ニ在リシ歩兵第二百二十九聯隊ノ三中隊連射砲二門並 *Ablanovo* 在リシ砲兵第三十三旅團及連射砲四門ノ行動ニ關シテハ記録ナシ

右ノ命令ニ依リ歩兵第三十三師團ノ主力ハ六日午後六時密カニ *Ablanovo* 出發七日午前六時 *Trendzík* ニ到リ道路不良行進遲滯ス更ニ退却ヲ續行シテ *Banskó, Bözovec* ノ線ニ至リ少將アルノルデイノ部隊左側モ亦豫定ノ如ク退却ス七日夜ニ於ケル位置左ノ如シ

後衛 *Ablanovo*
主力 第三十三師團ノ主力 *Banskó, Bözovec*
左側支隊 *Cirmov*

左翼部隊ノ退却

左翼部隊長中將ウラヂミールアレクサンドロウイチハ六日退却ニ關スル兵團命令ヲ受領シ七日 *Dve Mogili Trstenik, Mečka* ノ線ニ退却シ同夜左ノ如ク位置ス

歩兵第四十八聯隊 *Dve Mogili*
同 第四十六聯隊 *Trstenik*

歩兵第四十五聯隊

Mečka

同 第四十七聯隊

Obreten

軍團司令部「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊驃騎兵第十二聯隊一中隊ト共ニ砲

Gornjo-Ablanovo

兵及騎砲兵隊ノ所在不明ナリ

「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊及驃騎兵第十二聯隊ノ三中隊ハ Bözovec 附近ヨリ下流 Branski Lom 河 Cerni Lom 河ノ線ヲ警戒ス

以上ノ如クシテ七日「ルスチユツク」兵團ハ殆ト敵ニ追躡セラルルコトナク Lom Cerkovna, Bansko, Cihovo, Dve Mogili, Mečka ノ線ニ退却シ其後衛ハ Vodica, Ablanovo ノ線ニ在リ

九月八日退却續行

九月八日中將ハーン及中將ドリーゼンノ部隊ノ後衛ハ Bela 東方 Branski Lom 河畔ニ向ヒ退却ヲ續行ス

同日正午頃敵兵 Banskó 附近ニ進入セリトノ報傳ハリ土軍騎兵ノ進入ヲ認メ誇リ同地附近ニ在リシ軍隊ハ一時行進ヲ中止セシモ暫クニシテ其誤報ナル

九月九日「ルスチユツク」兵團ノ位置(附圖第六十七參照)

ヲ知り再ヒ退却ヲ續行ス同日夕中將ハーンノ指揮セシ右翼部隊ハ Banskó Beshunar ノ地區ニ又中將ドリーセンノ指揮セシ中央部隊ハ Bözovec, Cihovo, Batsnica ノ附近ニ兵力ヲ集結シ兩部隊ノ内各其一部カ Bela ニ而シテ兩部隊ノ騎兵ハ Vodica, Hjudzeki Sinan, Ostria ノ線ニ在リテ警戒ニ任ス

同日第十二師團ハ七日ノ位置ニ停止シ其騎兵ハ Sirokovo, Kosov, Pirgoz ノ線ニ在リテ警戒ス
同夜兵團司令官ハ Bela 附近ニ主力ヲ集結シ戰鬪準備略完了セシヲ以テ Koprivec, Pepelina 間ノ地區ニ於テ土軍ノ Branski Lom 河渡過ヲ妨害セント欲シ其要旨ヲ軍司令官ニ報告シ同時ニ命令ヲ下シテ九日諸隊ヲ左ノ位置ニ就カシム如何ナル命令ヲ下セシカ明カナラス

第十三軍團

歩兵第一師團 一部歩兵第三聯隊ヲ以テ Beshunar ニ主力ヲ以テ Banskó

ニ在リ 兵團司令官ハ歩兵第四聯隊ヲ Bela ニ位置セシムハ
キ意圖ナリシモ同聯隊ハ誤リテ Banskó ニ至レリ

騎兵第八師團 一部 [ドン]哥薩克騎兵第八聯隊ヲ以テ Lom Cerkovina ニ主力
兵第八聯隊驃騎兵第八聯隊ノ一中隊(爾餘ノ三中隊ハ Bela 兵團司令部ノ許ニ
在リ)騎砲兵第十五中隊(二門缺) [ドン]哥薩克騎砲兵第九中隊及親衛騎兵二中隊
ベツ ヴェグ ニ位置ス

軍團司令部 Banskó 在リ [ドン]哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一
中隊ハ同地ニ在リシモノナラン

第十二軍團

步兵第三十三師團 一部(約步兵ヲ以テ) Cihnev ニ主力ヲ以テ Batsnica ニ
在リ 騎兵第十二師團第一旅團(槍騎兵第十二聯隊 騎砲兵第十九中隊)ハ主力
ノ位置ニアリ

步兵第十二師團

- 步兵第四十八聯隊
- 同 第四十六聯隊
- 同 第四十五聯隊
- 同 第四十七聯隊

Две Mogili
Trostenik
Mecka
Obreten

[ドン]哥薩克騎兵第三十七聯隊

同 第十二聯隊

驃騎兵第十二聯隊

軍團司令部ハ Obreten ニ在リシカ如シ砲兵第十二團
團及 [ドン]哥薩克騎砲兵第五中隊ノ位置ハ不明ナリ

Сирокото, Kosov, Pirgoz
ノ
ニ在リテ警戒ニ任ス

兵團豫備隊

步兵第三十五師團 第十三軍團所屬

[ドン]哥薩克騎兵第三十一聯隊 五中隊ヲ有
中隊ハ前方ニ在リテ警戒
ニ任シ實力ニ中隊ナリ

驃騎兵第八聯隊 三中

Bela

速射砲八門

步兵第十聯隊

砲兵第三旅團第二第四中隊

步兵第三師團ニ屬ス

步兵第十聯隊及砲兵第三旅團第二第四中隊ハ八月 Donau 河ヲ渡リ
一始メテ戰地ニ到着セルモ
ノニシテ同隊ハ始メ步兵第九聯隊砲兵第三旅團第一中隊ト共ニ一時大本營ノ護衛ニ任シ
第十五章 八月三十日ヨリ九月中旬ニ至ル作戦 三一五

Patris Rakat
Gri Studenaニ在リ後西部兵團ノ増援トシテ西方 Чукашка Махияニ到リシモ八日ル

附記 北軍司令官アヒメットエニツップパシアハ Kacelovo 附近ニ於テ得タ

ル效果ヲ利用セント欲セシモ Razgrad 附近ニ殘置シタルアサツフパシ

ア師團ノ到著ヲ待テ共ニ運動ヲ起スヲ有利ナリトシ即チ五日六日ハ

Kacelovo 附近ニ停止シ七日該師團到著シテ Kacelovo 西方地區竝 Kosoフ

附近ニ步兵七十七大隊騎兵三十六中隊砲百八門ヲ集結セシモ爾後敢

テ前進ヲ起サス ムスタフアバシアノ部隊ノ兵力ヲ十三大隊砲十二門ニ増加セラレタル

カ如ク記スルモノアリ然ルトキハ步兵ノ兵力ニ於テ三大隊ノ増加アル

シヘ 南軍 步兵五十二大隊騎兵三十八中隊砲百十四門ハ此間主力ヲ以テ依然トシテ Kara Hasan, Sarnasif

間ニメヘメツトセリムパシア師團 步兵十六大隊騎兵四中隊砲三十六門ヲ以テ Osmabazar, Tr-

ノボ道上ニ在リ南軍司令官ハッサンパシアハ前面ノ敵兵退却セシヲ

知リシモ之ヲ追撃セス爲ニ全ク敵ト接觸ヲ絶ツニ至ル

九日以後九月半ニ至ルマテ此方面ノ情況變化ナシ

其二 下流「ドナウ」兵團及下流「ドナウ」師團

ノ行動 一覽圖第四竝ニ作戦地總圖參照

下流「ドナウ」兵團 司令官中將チンメルマン第十四軍團「ドン」哥薩克騎兵第四十聯隊同騎砲兵第

二中隊砲百二十門ハ九月上旬依然 Cernavoda Kistendje ノ線ニ在リ

九月二日中將チンメルマンハ軍司令官ヨリ敵兵 シリスタニアヨリ渡河ヲ開始セ

ルヲ以テ下流「ドナウ」兵團ハ該方面ノ敵情ヲ偵察スヘキ電命ニ接シ中將チ

ンメルマンハ所要ノ命令ヲ下セシニ 其詳細ヲ知ルヲ得ス未タ其實施ニ著手セサルニ

當リ土軍ハ既ニ半ハ架設セシ橋梁ヲ自ラ破壊セリトノ報告ニ接シ同時ニ

左記要旨ノ報告ヲ受領ス

ドナウ チンメルマン Medgidia Dobricヲ連結スル直線ノ約東方

Ducuz-Anci ニシテ Dobricノ東北方約三十五吉米 附近ニ約一萬人ノ埃及兵集合シ

Varna 及 Dobric 附近ニ在ル敵ノ諸隊ハ露軍作戦軍主力ニ向ヒ攻勢ニ轉ス

ルモノノ如シ

中將チンメルマンハ Ducuz-Anciニ集合セシ一萬ノ土軍ハ我ニ向ヒ攻勢ニ

轉スルナラント判断シ 此判断ハ事實ニ適中セス 直ニ *Silistra* 方面偵察ノ實施ヲ中止シ兵團ハ一意陣地ヲ堅固ニ守備スルコトニ努メ其後前面ノ敵兵敢テ活動セサ

下流ドナウ

情況

リシニモ拘ラス無爲ニ陣地ニ止リテ九月中旬ヲ經過ス

下流 *Donau* 地域ニ於テアレクサンドロフ支隊 此支隊ハ八月三十一日 *Dubna* ト交

代セシ下流ドナウ師團 長中將ウレウキン 步兵第三十六師團長 步兵第三十六師團ノ步兵

第五中隊同第二十九聯隊 山地騎兵二中隊及砲兵第三十六旅團 第八月下旬主トシ

第二中隊缺騎砲兵第十三中隊 計步兵九大隊 騎兵七中隊 砲兵三十八門

テ *Jralia* ヨリ黑海河口ニ至ル *Donau* 河兩岸ノ各要地ヲ占領ス即チ同河右

岸 *Hirsova, Isaccoa, Tulca* ニハ步兵三大隊騎兵約三中隊砲十四門アリ同左岸

Braila, Galatz, Reni, Izmail, Kilia, Wilkow 等ニハ步兵六大隊騎兵二中隊砲二十

四門アリ

下流ドナウ師團長中將ウレウキンハ海岸軍司令官中將セメカヨリ成シ

得レハ下流ドナウ兵團ヲ援助シ且 *Sulina* ヲ攻略スヘキ命ヲ受ク 軍司令官ハ

兵團司令官ヨリ土軍ノ一部 *Sulina* ニ上陸スル虞アルヲ以テ増援ヲ請ヒシニ依リ中將セメカニ下

流ドナウ師團ヲシテ之ヲ援助セシムヘキヲ命シ中將セメカハ此命令ニ依リテ下流ドナウ師團ニ前

記命令ヲ 依テ中將ウレウキンハ下流ドナウ兵團援助ノ爲右岸ニ進出セル

部隊ヲ *Zumani* 附近ニ集合セシメ又 *Sulina* 攻撃ヲ準備ス然レトモ其後中將セメ

カノ督促アリシニモ拘ラス未タ準備整ハサルノ故ヲ以テ其攻撃ノ時期ヲ

遷延シ九月中旬ニ至ル 是ニ於テ中將セメカハ下流ドナウ師團ヲ編成シタル步兵第三十六

河口左岸地區ニ移シ以テ下流ドナウ師團ヲ推進シ又同方面ニ在リシ步兵第十五師團ノ一部ヲモ下

流ドナウ師團ニ増援シテ中將ウレウキンニ *Sulina* ノ攻略ヲ嚴命シ該攻撃ハ九月下旬頃開始セラ

至レリ

附記 四角要塞東方面ニ於ケル土軍ノ配備ハ附圖第五十九ノ如ク下流

ドナウ兵團ニ對スル部隊ハ *Medgidia* 附近ヨリ退却シテ *Dobric* 附近ニ

存在セシノミニシテ其人員多數ノ不正規兵ヲ合シテ一萬人ヲ出テス

全ク守勢ヲ事トシ僅カニ不正規騎兵ヨリ成ル偵察隊ヲ露軍前哨ニ對

シテ派遣シタルニ過キス而シテ埃及王子ハッサンノ率キル部隊ハ事

實 *Varna* ニ上陸セシモ 時日不明 八月下旬遅クモ九月初メ迄ニ於テ悉ク *Ras-*

grad 西南地區ニ集中シ埃及王子ハ當時 *Razgrad, Eski Dzumaja* 附近ニ集

中セシ土軍ノ南軍ヲ指揮シテ露軍ノ第十三軍團ニ對抗スルニ至レリ

其三 「アッレル」支隊ノ行動一覽圖第一第二並ニ作戰地總圖參照

「アッレル」支隊長歩兵第三十二師團長中將アッレル歩兵第三十二師團第二旅團騎兵第十一師團第五中隊工兵中隊計歩兵六ハBukarest方向ニ對スル土軍ノ出撃ニ對シ軍ノ背後ヲ安全ナラシムヘキ任務ヲ以テ九月一日概ネ八月下半期ノ位置ニ在リ
二本卷參照

九月二日迄ニ支隊長中將アッレルノ知り得タル情況左ノ如シ

一、八月末日迄ノ情報ニ依レハ Ruscuk 要塞ニハ多數ノ軍需品ヲ集積シ又
八月二十日 Tutrakkan ヨリ歩兵二千騎兵二百同地ニ到著ス同要塞附近
ニハ裝甲砲艦一隻及若干ノ汽船アリ數回上流對岸 Yamanda 附近ニ渡
河ヲ企圖セシモ悉ク露軍哨兵ノ爲撃退セラル Tutrakkan ノ守兵ハ多ク
モ不正規兵四百人ヲ出テス又 Silistria ニハ六七千ノ守備兵アルモノノ
如ク且同所ニハ多數ノ帆船及汽船並ニ裝甲砲艦集合セリ

九月二日土軍 Silistria 陽動ニ對スル動作

一、九月二日得タル報告ニ依レハ Silistria, Tutrakkan ノ土軍大ニ活氣ヲ呈ス
即チ在 Orlan 守備隊長中佐ドミトロフ下流ドナウ兵團所屬ニシテ騎兵四中队砲二門アリノ報ニ依
レハ二日早朝 Silistria ノ土軍ハ多數ノ船舶ヲ利用シ架橋ニ著手シ又一
布爾牙利人ノ言ニ依レハ埃及軍團ハ Donau 河左岸ニ進出スル爲ニ
Eria 前進セリト埃及兵ノコトハ誤報ナリ又在 Olenia 守備隊長ノ報ニ依レハ二日
對岸 Tutrakkan ニ大燄火ヲ認メ軍樂及歡聲ヲ聞キ又土民ノ言ニ依レハ
砲兵ヲ有スル土軍二大隊 Tutrakkan ニ到著セリトSilistria ヨリ Ruscuk ニ向ヒ行
軍中ノ部隊到著シ休憩セシ
ト言フ

中將アッレルハ以上ノ報告ニ接シ直ニ之ヲ軍司令官ルスチュック兵團司
令官及交通部長將官ドレンテレン將官ドレンテレンハ Bukarest ニ駐留セリニ電報シ且在 Olenia 守
備隊長大佐ブラクシンニ Bukarest ヲ掩護スル爲要スレハ騎兵二中隊砲二
門ヲ Olenia ニ殘シ殘餘歩兵二大隊騎兵及砲兵若干ヲ以テ Rudescei 及其附近ニ退却スヘキコ
トヲ命令ス

同日軍司令官ハ「アッレル」支隊ヨリノ報ニ接シ直ニ將官ドレンテレンニ命シ「アッレル」支隊ノ騎兵ヲ *Calaraş* ニ到ラシメ又情況止ムヲ得サレハ *Bukarest* 附近ヲ行進中ノ部隊ヲ使用スルコトヲ許可シ且土軍ノ出撃ハ其企圖目下行進中ノ我増援部隊ヲ牽制スル爲ノ陽動ニアラサルヤ否ヤヲ確メシム將官ドレンテレンハ此命令ニ接スルニ先チ既ニ中將「アッレル」ヨリ右ノ通報ニ接シ二日獨斷ヲ以テ直ニ目下鐵道輸送中ニ在リシ步兵第一百一聯隊砲兵第二十六旅團ノ二中隊共ニ步兵第二十六師團所屬 竝ニ「ドン」哥薩克騎兵第二師團ノ一聯隊同砲兵二中隊當時「ドン」哥薩克騎兵第二師團ハ戰地ニ向ヒ増援ノ爲此地方ヲ行軍セシモノノ如シ ヲ *Bukarest* ニ駐メ將官伯爵ウオレンツォフ、ダスコフ當時「Bukarest」ニ在リシナランモヲシテ之ヲ指揮セシメ要スレハ尙「ドン」哥薩克騎兵第二師團ノ殘餘及「Jassi」ヨリ「Bukarest」ニ鐵道輸送中ノ歩砲兵ヲモ使用スルノ權ヲ與ヘ *Sisoy* ニ在リシ工兵少將リヒテルヲシテ *Calaraş* ニ至リ土軍渡過ノ情況ヲ視察セシメ又下流「ドナウ」兵團ニ *Braila* 方面ヨリ援助部隊ヲ派遣スヘキコトヲ命令ス

然ルニ其日夕刻土軍ハ自ラ架橋中ノ橋梁ヲ破壊セシヲ以テ其目的單ニ陽動ニ過キササルコトヲ知り前述ノ諸命令ヲ取消シ各部隊ハ従前ノ行動ヲ繼續ス

九月ニ至リ *Donau* 河水著シク減退シ *Ruscuk* 要塞ヨリ對岸ニ進出スルコト容易ナルニ至リタルヲ以テ「アッレル」支隊長ハ *Giurgevo* 附近ニ於ケル守兵増加ノ必要ヲ認メ *Olenita* ニ步兵四中隊騎兵五中隊砲二門ヲ殘シ他ヲ悉ク *Giurgevo* 〓 招還シ *Giurgevo* 及其西南方 *Petrosani* 〓 至ル間ニ步兵五大隊ト一中隊騎兵五中隊砲十四門ヲ集結ス

附記 四角要塞ノ東及北正面ニ對シ露軍ハ敢テ斷乎タル攻撃ヲ行ハサリシ爲土軍司令官メヘメツトアリーパシアハ七月八月中ニ該方面ヨリ數多ノ守備兵ヲ要塞地域ノ西正面ニ招致ス故ニ爾後「アッレル」支隊ニ對シ使用シ得ル兵力ハ頗ル僅少ナリ
メヘメツトアリーパシアハ九月初メ *Kara Hasan* 附近露軍陣地ヲ攻撃

「アッレル」支隊ニ對スル土軍ノ情況

準備中其司令部ニ在リシ外國通信員ヲ利用シ土軍ハ強大ナル部隊ヲ以テ *Mitina* 附近ヨリ *Donau* 左岸ニ向ヒ攻勢ニ轉スル企圖アルコトヲ風評セシメ且 *Sistina* 要塞司令官ニ同地ニ舟橋ヲ架設スヘキコトヲ電命ス是ニ於テ *Mitina* 要塞司令官ハ豫メ準備セル材料ヲ以テ九月二日不意ニ架橋ヲ開始セシカ夕刻其作業ヲ中止シ舟橋ヲ撤收セリ故ニ土軍ハ單ニ一時露軍ヲ周章セシメタルノミニシテ大ナル效果ヲ收ムルヲ得サリキ

四 西方面ノ作戰

其一 八月三十日ヨリ 少將イメレチンスキー
九月五日ニ至ル

ノ部隊ノ情況 附圖第六十八其一一其二
並ニ一覽圖第二參照

Lovca ニ向フ前進並ニ攻撃準備

八月三十日 本卷二一三一一
一七頁參照 少將スコベレフハ歩兵四大隊騎兵十二中隊砲十四門工兵一小隊 步兵第六十四聯隊步兵第一百八聯隊ノ一大隊高加士哥薩克騎兵旅團砲兵第十六旅團第二中隊工兵第三大隊第二中隊ノ一小隊前第十四章ノ記事ニ依レハ工兵ハ

八月三十日
ニ關スル
ノ革命令

半小隊トアリ兵力増チ指揮シ *Kalchik* 附近ニ在リテ *Lovca* ノ敵ト相對シ「ドン」哥薩克加ノ顛末不明ナリ」
騎兵第三十聯隊ノ二中隊ハ其左翼ニアリテ主トシテ南方ニ對シテ警戒ニ任シ 此二中隊ハ少將スコベレフノ指揮ニ屬セシモノノ如シ
故ニ以下同少將ノ指揮下ニ在ル騎兵ヲ十四中隊ト算ス 歩兵第三師團第二旅團同師團砲兵三中隊親衛騎兵中隊並ニ歩兵第二師團所屬ノ歩兵一大隊砲兵四中隊並ニ第八軍團所屬砲兵第九旅團第三中隊「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊ハ *Sevrijevo* ニ在リテ其後援ヲ成形シ又歩兵第二師團歩兵第一大隊砲兵四中隊缺ハ *Chabrovo* 附近ニ在リ

西部兵團ハ其左翼ヲ以テ *Pelicut* 附近ニ在リ其騎兵ノ一部ハ *Aleksandrovo* 附近ニ在リテ少將スコベレフノ部隊ト連絡ス

八月三十一日少將イメレチンスキーハ左記要旨ノ軍命令ヲ受領ス

少將イメレチンスキーハ左記諸隊ヲ指揮シ九月二日 *Lovca* ヲ攻撃シ得ル如ク八月三十一日 *Sevrijevo* ヲ出發スヘシ

Lovca 占領後ハ *Trojan* 方向及西南方諸山徑ニ對シ警戒セシムル爲歩兵

一 聯隊ニ若干ノ騎兵ヲ附シ ロフチヤ Lovca ニ残留シ其他ヲ率ヒ速ニ西部兵團ニ合シ プレナ Plevna 攻撃ニ參與スヘシ

尙特ニスライマンバシア軍ノ攻撃ヲ顧慮シ トロヤン Trojan 及 カロフセル Kalofar 兩峠ヨリ セヴィ Seviljevo Gabrovo ニ通スル諸道路ニ注意シ要スレハ歩兵ノ一部ヲ派遣シ以テ「シプカ」支隊トノ連絡ヲ確實ナラシメ ロフチヤ Lovca 攻撃中其側背ヲ安全ナラシムヘシ

ロフチヤ Lovca 攻撃部隊左ノ如シ 附録第六参照

一 歩兵第二師團及親衛騎兵中隊 歩兵一大隊砲兵四中队ハセアラ

二 歩兵第二師團第二旅團及同師團砲兵三中隊砲兵第九旅團第三中队以上 セアラ Lovca 在リ

三 少將スコベレフノ部隊 歩兵四大隊騎兵十四中队カク Kakurina ニ在リ

計歩兵二十二大隊騎兵十五中队砲九十四門

少將イメレチンスキーハ八月三十一日右軍命令受領後三十一日附第二ノ

軍命令ヲ受領ス

此命令ハ軍參謀長大將ネボコエチツキーカ カク Kakurina ヨリ軍司令部所在地タル セアラ Seviljevo ニ歸還途中三十一日 セアラ Seviljevo ヨリ軍司令官ノ名ヲ以テ下セシモ

リナ 此命令ニ依レハ兵力及攻撃時日ニ就キ相違スル所アリ即チ前命令ノ外尙狙撃歩兵第三旅團 同旅團ハ八月八日 セアラ Seviljevo 附近ニ到着シ同地ニ於テ鹵獲砲兵中队四

門ヲ附屬セラレ後近衛歩兵半中队及同工兵一小隊ヲ増加セラレ八月二十六日 セアラ Seviljevo ニ到着セシモノナリ増加セラル其命令ニ曰ク「該旅團ハ目下 セアラ Seviljevo

リ本卷一〇頁以下並ニ一三八頁参照 在ルヲ以テ九月一日 セアラ Seviljevo ニ到着シ得ヘシ故ニ ロフチヤ Lovca 攻撃部隊

ハ九月二日 セアラ Seviljevo ヲ出發スルカ或ハ主力ノ出發ニ先タチ九月一日其一部ヲ先遣シテ少將スコベレフノ部隊ヲ増加セシムルカハ貴官ノ隨意ナリ

然レトモ ロフチヤ Lovca 攻撃ヲ九月三日以後ニ延期スヘカラス尙 セアラ Seviljevo ヲ出發スルニ當リテハ同地ニ歩兵第三師團ノ一大隊ヲ残留シ又 ロフチヤ Lovca 攻略後ハ

其聯隊ノ殘餘ニ一大隊ヲ殘シ ロフチヤ Lovca 附近ノ守備ニ充ツヘシト

是ニ於テ ロフチヤ Lovca 攻撃部隊ハ歩兵二十六大隊騎兵十五中队砲九十八門ヲ算スルニ至レリ

少將イメレチンスキーハ右命令受領後一部ヲ ロフチヤ Lovca ノ東方高地ニ進メ

八月三十一日ニ於ケル少將イメルチンスキーノ前進計畫

爾餘ヲ *Seviljevo* 附近ニ集合セシメントシ軍參謀長ニ左ノ要旨ヲ報告ス
一日午後二時發送

小官ハ今 *Lovca* 攻撃ニ關スル二個ノ命令ヲ受領セリ余ハ三十一日發第二ノ命令ヲ以テ爾後ノ行動ヲ律セントス即チ明一日少將スコベレフノ部隊ヲ *Lovca* 東方約八吉米ノ涌泉附近ニ前進セシメ又歩兵第三師團第二旅團ヲ *Kukurina* 附近ニ到ラシメ爾餘ハ *Seviljevo* ニ留ラントス而シテ *Lovca* 攻撃ノ實施ハ九月三日以前ニ之ヲ行フコト能ハス若シ三日同地ヲ占領セハ四日 *Plevna* ニ向ヒ前進シ五日 *Plevna* 攻撃ニ參與スルコトヲ得ヘシ三日ニ攻撃ヲ實施スルコトヲ許容セラルレハ西部兵團ニハ此旨ヲ通報セン又側背ヲ警戒セシムル爲歩兵ヲ使用セハ徒ニ兵力ヲ分散スルノ不利アルヲ以テ「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ斥候ヲ以テ警戒セシメントス

同三十一日少將イメルチンスキーハ軍司令官ヨリ左記要旨ノ命令ヲ受領

八月三十一日 *Plevna* 守兵出撃ニ際シ軍司令官ノ命令

ス

本三十一日午前十一時頃 *Plevna* ノ守兵ハ其有力ナル部隊ヲ以テ *Polisat* 及 *Zgajivac* 方向ニ出撃ス貴官ハ別命アル迄依然前任務ヲ續行スヘシ然レトモ西部兵團ヲ援助スル爲該方向ニ進出スル諸道路ニ注意スヘシ而シテ其全力ヲ以テ *Lovca* ニ赴クカ或ハ一部ヲ以テ西部兵團ヲ増援スヘキカ或ハ全力ヲ舉テ西部兵團ノ左翼ニ轉進スヘキカハ全ク之ヲ貴官ノ判斷ニ委任ス

午後四時過少將イメルチンスキーハ西部兵團司令官中將ツオトフヨリ土軍ノ出撃ヲ擊退セシ報ニ接セシヲ以テ毫モ前計畫ヲ變スルコトナク且攻撃實施ヲ九月三日ト豫定セリ此日少將イメルチンスキーハ少將スコベレフヨリ *Lovca* 攻撃ノ計畫及 *Lovca* ノ守兵ハ其數多クモ八千砲數門ニ過キサルノ報告ヲ受領ス少將スコベレフハ永ク *Lovca* 附近ニ在リシヲ以テ地形敵情ニ通曉セリトヲ命令セラレ又少將イメルチンスキーモ同少將ニ命シテ攻撃計畫ヲ呈出セシム依テ少將スコベレフハ部隊附參謀大尉クロバトキン(日露戰役ノ際滿洲軍總司令官タリ)ヲシテ之ヲ立案セシム此

九月一日ノ
爲ノ命令

攻撃計畫案ハ ロフチヤ Lovcha 攻撃ノ基礎ヲ
成スモノナリ本卷三四一頁參照

少將イメレチンスキーハ前進ノ爲翌三十一日夕左ノ要旨ノ命令ヲ下ス
附圖第六
十八參照

- 一、少將スコベレフノ指揮スル部隊 高加士哥薩克騎兵旅團ヲ 九月一日 ロフチヤ Lovcha 東南方約八吉米ニアル涌泉附近ニ前進シ A、B、兩高地ヲ確實ニ占領シ敵陣地ノ偵察、我砲兵陣地ノ撰定及占領並布置シ得ヘキ砲數ノ決定、距離ノ測定ニ任シ尙成シ得レハ砲兵掩體及散兵壕ヲ構築スヘシ
- 親衛騎兵中隊ハ九月一日早朝出發少將スコベレフノ隸下ニ入ラシム
- 二、高加士哥薩克騎兵旅團ハ明日 プレヴナ Plevna-Lovcha 道ヲ監視スル爲 ヨグライ Joglav ロフチヤ Lovcha 東北方約十吉米ニ向ヒ前進スヘシ
- 三、步兵第二師團步兵第八聯隊砲兵第九旅團第三中隊ハ カクウリナ Kakurina ニ向ヒ前進シ要スレハ少將スコベレフノ部隊ノ動作ヲ援助スヘシ
- 四、步兵第二師團ノ殘餘ハ カフエロボ Kadrovo 附近ヲ出發シ セフツキ Sevlijevo ニ向ヒ前進ス

ヘシ

五、步兵第三師團第二旅團及砲兵第三旅團ノ三中隊ハ依然 セフツキ Sevlijevo ニ位置スヘシ

六、狙撃歩兵第三旅團鹵獲砲兵中隊近衛歩兵半中隊近衛工兵小隊ハ ツルノ Truno-vo ヨリ セフツキ Sevlijevo ニ向ヒ前進スヘシ

同三十一日少將イメレチンスキーハ少將スコベレフヨリ左記要旨ノ意見具申ヲ受領ス 此意見具申ハ土軍カ プレヴナ Plevna ヨリ出發セシ報ニ接シタル後ニ呈出セシモ ロフチヤ Lovcha ノニシテ同少將ハ發送ノ當時未タ西部兵團敵ヲ擊退セシコトヲ知ラス

ロフチヤ Lovcha 攻撃ノ期日遷延スルニ從ヒ不利益大ナルヲ以テ九月二日拂曉ニ乘シ之ヲ占領シ後目下 プレヴナ Plevna ヨリ出撃セル土軍ノ右側背ニ迫ルコト必要ナリ小官ノ親シク偵察シタル所ニヨレハ ロフチヤ Lovcha ノ攻撃ハ軍ヨリ指定セラレタル部隊ヨリモ尙寡少ノ兵力ヲ以テ成果ヲ收メ得ヘキヲ確信ス

然レトモ九月二日ニハ未タ歩兵第二師團ノ半部及狙撃歩兵第三旅團ヲ戰

九月一日ニ於ケル少將スコベレフ部隊ノ行動

鬪ニ參與セシムルコト能ハス加之野戰病院及彈藥縱列等モ亦到著セサルヲ以テ少將イメレチンスキーハ此意見ヲ採用セス直ニ此旨ヲ回答セリ少將スコベレフノ部隊ハ Kakurina 南方陣地ニ在リ少將スコベレフ部隊ハ步兵第六十四聯隊同第八聯隊第一大隊高加士哥薩克騎兵旅團「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊ヲ有スルコト如故「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊第三第六中隊砲兵第十六旅團第二中隊工兵一小隊ヨリ成リ此時迄ニ親衛騎兵一中隊ヲ配屬セラレ計歩兵四大隊騎兵十五中隊砲十四門トナレリ此内「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊ハ Trojan 方向ノ警戒ニ任シ Devnevo (Kakurina) ノ南方約二十吉米附近ニ在リ

九月一日午前三時少將スコベレフハ少將イメレチンスキーヨリ前記ノ前進ニ關スル命令ヲ受領シ直ニ左記要旨ノ命令ヲ下ス

- 一、前衛 親衛騎兵中隊步兵第百十八聯隊第一大隊 ハ午前九時 Kakurina 出發 Lovca に向ヒ前進スヘシ
- 二、本隊 步兵第六十四聯隊第三大隊缺砲兵一小隊 ハ午前十時 Kakurina 出發前衛ニ續行スヘシ
- 三、後衛 輻重高加士哥薩克騎兵旅團ノ二中隊步兵第六十四聯隊第三大隊 ハ午後一時 Kakurina 出發本隊ニ續行スヘシ

四、高加士哥薩克騎兵旅團十二中隊ノ内二中隊ヲ缺キ「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊ヲ有ス ハ午前九時 Kakurina

出發 Joglab に向ヒ前進シ Lovca 及 Lovca-Plevna 道ヲ監視スヘシ

右ノ命令ニヨリ九月一日諸隊ハ運動ヲ起シ前衛ハ敵ニ遭遇スルコトナク正午頃涌泉ロソク 東南方約八吉米附近ニ到著シ休憩ノ後午後二時更ニ前進ヲ起ス親衛騎兵中隊ハ前衛ノ前方ニ挺進シ少將スコベレフハ之ト同行ス該騎兵涌泉ノ西方約一吉米附近ニ進出スルヤ忽チ A、B 兩高地上ヨリ土軍ノ射撃ヲ受ク依テ少將スコベレフハ騎兵中隊ヲシテ直ニ高地脚ニ停止シ敵騎ノ出撃ニ備ヘ又斥候ヲ放チテ敵情ヲ搜索セシメ逐次到著スル步兵ヲ其後方ニ開進セシム偵察ノ結果同少將ハ該高地上ノ敵ハ騎兵ニシテ C 高地上ニ步兵アリ又步兵若ハ騎兵ノ一部隊 Lovca ヨリ東進中ナルコトヲ知り直ニ前面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ砲兵第十六旅團第二中隊ノ二門ヲシテ街道上ニ放列ヲ布キ A、B 兩高地ノ敵ヲ射撃セシメ此間開進ヲ了セル本隊ノ步兵第六十四聯隊第一大隊ヲ街道南側ニ同第二大隊ヲ北側ニ展開シ兩高地ノ敵

ヲ攻撃セシメ步兵第一百八聯隊ノ第一大隊砲兵第二中隊ノ六門及親衛騎兵中隊ヲ豫備隊トナス步兵第六十四聯隊第三大隊ハ未タ到着セス 砲二門ハ街道上A、B高地ヲ距ルヨリ東方約二吉米 射撃ヲ開始シ第一線步兵大隊ハ中隊縱隊ヲ二線ニ重疊シ豫備隊ハ近ク之ニ續行ス第一線部隊ハ其一部ヲ狭小ナル間隔ニ散開シ殆ト射撃ヲ交ユルコトナク前進シ直ニA、B高地ヲ占領シ土軍ノ騎兵ハC高地ニ向ヒ退却ス而シテB高地ハ此附近一帶ヲ瞰制スルノ利アルカ故ニ砲兵一中隊ヲ同高地ニ進出セシメント欲セシカ斜面急峻ニシテ加フルニ山頂岩石多ク砲兵ノ進入容易ナラス又C高地ヲ占領セル土軍ハ步兵散兵壕ニ據リ且其兵力ヲ確カメ能ハサリシヲ以テ少將スコベレフハ本一日A、B兩高地ヲ堅固ニ占領シ翌二日拂曉迄ニ砲兵ヲB高地ニ進入セシメ後C高地ヲ攻撃スルニ決シ午後四時宿營ニ關スル命令ヲ下セリ此夜步兵第六十四聯隊第一、第二大隊ハ各占領セル陣地ヲ守備シテ夜ヲ撤シ且B高地上ニ砲兵三中隊分ノ掩體竝ニ進入路等ヲ構築シ

當時ノ規定ニ依レハ步兵一中隊ハ圓匙十、斧二十四、十字鐵鎗嘴等六ヲ有ス而シテ少將スコベレフ部隊ニ現在セシモノハ

九月一日夜
ニ於ケル少
將イメレ
チンスキー
諸隊ノ位置

歩工兵器具併セテ圓匙二百十七、斧二百八十四、十字鐵鎗嘴等百三十七ニシテ少將スコベレフハ此夜全器具ヲ集メ步兵第六十四聯隊第一大隊ニ貸與シ工事ヲ命セリ然ルニ岩石地ナル爲多數ノ器具ヲ破損シLoyzaロイツァ攻撃ニ當リ他ノ爾餘ノ諸隊ハ其後方約二吉米ノ地ニ露營ス
高加士哥薩克騎兵旅團騎兵十中ハ午前九時Kakurinaカクリナヲ出發シ午後三時過Jog-
Layジョグレイニ到着ス當時西部兵團ニ屬スルドン哥薩克騎兵第九聯隊ハ第四軍團長ノ命令ニヨリ Aleksan-
drovo (アレクサンドロヴォ) 東北方約千五百米ニ位置ス夕刻ニ至リ西部兵團司令官ハ此方面ニ二
重ノ警戒線ヲ配置セルヲ知リ九月二日、ドン哥薩克騎兵第九聯隊ヲ Sakina (サキナ) 東方約八吉
米ニ前進セシメ騎兵第四師團第一旅團ト高加士哥薩克騎兵旅團トノ連絡ニ任セシメタリ
同日少將イメレチンスキーイメレチンスキー隸下ノ爾餘ノ諸隊ハ豫定ノ如ク前進シ同少將
ハ Seviljevoセヴィルジョヴォニ集合スヘキ諸隊ヲ更ニ Kakurinaカクリナニ向ヒ急進セシム乃チ同日
夜ニ於ケル諸隊ノ位置左ノ如シ

少將スコベレフノ部隊

步兵第六十四聯隊ノ二大隊 A B 高地

步兵第一百八聯隊ノ一大隊 B 高地ノ後方

其他ノ步兵一大隊騎兵三中隊砲兵一中隊及工兵一小隊 涌泉附
近

カクリナ 附近ニ在ル部隊

歩兵第二師團ノ第八聯隊及砲兵第九旅團第三中隊

セヴリェヴォ 附近ニ在ル部隊

歩兵第二師團歩兵第八聯隊缺

歩兵第三師團第二旅團及

砲兵第三旅團ノ三中隊

夜十一時乃至二時カクリナニ向フ

セヴリェヴォ ニ前進中ノ部隊

狙撃歩兵第三旅團 近衛歩兵半中隊ヲ有ス

鹵獲砲兵中隊(四門)

工兵一小隊

ヨグリアフ 附近ニアル部隊

高加士哥薩克騎兵旅團 騎兵十中隊砲六門

少將スコベレフノ隷下ニ在ル砲兵第十六旅團第二中隊ハ九月一日夜B高

二日午後四時著直ニカクリナニ向フ

九月二日夜
ニ於ケル少
將イメレチ
ンスキー部
隊ノ位置

地上ニ陣地ヲ占領シテ二日午前五時天明ト共ニC高地ノ敵ヲ砲撃シ該地ニ在リシ土軍ハ未タ砲彈數發ヲ蒙ラサルニ既ニLovca 東側 Kovaja Gora 退却ス少將スコベレフハ敵ヲ追撃スルコトナク諸隊ヲA、B、C高地ニ止メ散兵壕及砲兵掩體ノ構築ヲ命シA高地ニハ砲兵掩體五中隊分ヲ又A、B兩高地ノ中間鞍部ニ一中隊分ヲ構築ス

二日夕少將スコベレフノ部隊ハ歩兵第六十四聯隊第一大隊ヲ以テA、C高地ヲ同第二大隊砲兵第十六旅團第二中隊ヲ以テB高地ヲ堅固ニ占領シ其他ノ歩兵二大隊及騎兵三中隊ハ豫備隊トナリA、B高地東方約二吉米附近本道上ニ位置シテ夜ヲ徹ス

同日高加士哥薩克騎兵旅團ハヨグリアフ 附近ニ駐止シテ右側ノ警戒ニ任シ歩兵第二師團同第三師團第二旅團砲兵三中隊狙撃歩兵第三旅團等ハ行軍ヲ繼續シテ夕刻迄ニ涌泉附近ニ到着シテ露營セリ

Lovca ノ攻撃 附圖第六十八其一参照

Lovca 附近
ノ地形

ロフチヤ市ハ Plevna, Sevljevo, Trojan ニ到ル大街道ノ結合點ニシテ前記各市トノ距離約三十吉米ニ過キス故ニ此地ノ得喪ハ Plevna 及 Zidica 方面ニ作戰スル部隊ノ連絡及側背ノ安危ニ至大ノ影響ヲ有ス而シテ市ハ Osma 河兩岸ニ跨リ僅ニ二個ノ橋梁ヲ以テ之ヲ連絡シ四周高地ヲ以テ包繞セラレ人口約一萬二千ヲ有ス

此附近ノ高地ハ巴爾幹山脈ノ支脈ニ屬シ山頂圓形ヲ成シ其斜面概シテ急峻往々懸崖ヲ形成セル所アリ又處々ニ森林アリ特ニ Osma 河ニ注ク數多ノ支流ハ多クハ深谷ヲ成シ軍隊ノ運動ヲ困難ナラシム

市ノ東側ニハ縱長約三吉米幅員一吉米強ノ高地線アリ其東側ハ急傾斜ヲ以テ Preska 川ニ降り北西南ノ三方ハ Osma 川ニ包マレ堅固ニ之ヲ占領スルコトヲ得其南端 Lovca 市東ハ Kozajagora ニシテ附近ヲ瞰制シ陣地ノ鎖鑰ヲ成ス只此陣地ノ不利トスル所ハ其東方砲兵ノ射程内ニ兀立セル A、B、C、D ノ四高地ヨリ瞰制セララルニ在リ

市ノ北方ニハ前述高地ノ北端^{N.5}高地ト Osma 川左岸^{N.6}ノ高地ト東西相對峙シテ關門ヲ成形シ射界廣濶ニシテ近接容易ナラス又南方ハ Osma 川ノ溪谷ニシテ左岸高地ニ若干部隊ヲ配置スル時ハ其附近ヲ火制スルコトヲ得ヘシ

市ノ西北方ニ在ル^{N.6}高地ハ北方 Lovca-Plevna 大街道及其西方 Lovca-Prodina-^{チエツセツ}cec-Iosec-Prilovo-Rajivo-Krtovabene^{ニ覽圖第}道ニ^二扼シ又 Osma 河左岸高地ハ Mikre ヲ經テ此方面作戰軍ノ資源タル Orhanje ニ通スル道ヲ扼ス

要スルニ市ノ四周ヲ圍繞スル高地ハ各方向ニ對シ堅固ニ占領スルコトヲ得ルノミナラス攻撃ノ公算最多キ東方ニ對シ Osma 川兩岸ニテ二線ノ防禦ヲ行フコトヲ得ヘシ只陣地ノ不利トスル所ハ市ノ東側高地ヨリ西北方^{コズニカ}Conica^ノノ東北方高地ニ互ル線ハ其延長約七吉米ニシテ多大ノ兵力ヲ要スルコト及 Lovca^ノノ東側高地ハ A、B、C、D 高地ヨリ瞰制セララルコト竝ニ陣地ハ其正面矩形ヲ爲シ從テ^{N.5}高地ハ突角ノ弱點ヲ形成スルコト是ナ

九月二日少將イメレチンスキーノ知り得タル諸情況概ネ左ノ如シ

一、Lovca^{ロヴチャ}市東方Rozajja-gora^{ロザヤヤゴラ}及N.3高地ニハ堅固ナル工事アリテ散兵壕ヲ
二線ニ構築セルモノノ如シ就中Rozajja-gora^{ロザヤヤゴラ}ノ工事ハ最モ堅固ナリN.5高
地ニモ亦東方及北方ニ對シ工事ヲ施セリ

二、Orma^{オスタ}河左岸N.6高地ニハ最堅固ナル堡壘アリテ全陣地ノ複廓ヲ形成
ス

三、N.7 N.8 N.9高地ニモ亦若干ノ工事アリ

四、各陣地ニ於ケル守兵ノ數ハ不明ナルモLovca^{ロヴチャ}ノ全兵力ハ砲數門ヲ有
スル八千人内外ナルカ如シ

是ヨリ先少將イメレチンスキーハ少將スコベレフヨリLovca^{ロヴチャ}攻撃計畫ニ
關スル報告ヲ受領ス其大要左ノ如シ

Lovca^{ロヴチャ} 攻撃計畫大要

本攻撃ハ成シ得ル限り小數ノ損害ヲ以テ遂行スルヲ本旨トス(中略)
攻撃ハ左ノ原則ニ據ルヲ要ス

- 一、地形及敵情ヲ詳ニスルコト
 - 二、砲兵ヲ以テ包圍的ニ敵陣地ヲ射撃シ攻撃ヲ準備スルコト
 - 三、攻撃ハ徐々漸進的ニ行フコト
 - 四、當初占領セシ陣地及爾後攻略シタル敵陣地ニハ工事ヲ施スコト
 - 五、強大ナル豫備隊ヲ控置シ且其使用ヲ節約スルコト
 - 六、敵陣地ノ弱點ヲ求メ退路ヲ遮斷スルコト
 - 七、敵ノ増加隊ノ進出方向ヲ嚴ニ監視スルコト
- 攻撃實施ハ左ノ經過ニ據ルヲ要ス

- 一、砲兵ノ主力ハA、B、Cノ高地ニ陣地ヲ占領シ各陣地ニハ掩體散兵壕
ヲ構築シ且各陣地間ノ交通路ヲ設クルコト
- 二、N.1 N.2高地ニ向ヒ間斷ナク射撃ヲ集注スルコト

三、猛烈ナル準備射撃ノ後 N.1 N.2 兩高地ニ向ヒ同時ニ突撃スルコト
四、次ニ N.1 N.2 高地ニ砲兵ヲ招致シ N.3 N.4 高地ヲ奪取ス而シテ N.1 乃至 N.4 高地上ニ掩體及散兵壕ヲ構築スルコト

五、此時迄ニ Jozlav 前方高地ニ在リシ騎兵及騎砲兵ハ Lovca ヨリ Trojan Lovca ノ南 Mikre Lovca ノ西 Plevna ニ通スル各道路ニ向ヒ一部隊ヲ前進三十吉米
セシム但其主力ハ Lovca-Plevna 道ニ位置セシムルコト

六、次ニ Lovca 市及 Osma 河左岸ノ敵堡壘ヲ砲撃スルコト

七、敵ニ無條件ノ開城ヲ勸告スルコト

八、市街及 N. 高地ニ突撃ヲ行フ此際主攻撃ハ我左翼ヨリ實施シ又豫備隊ヲ此方面ニ使用スルコト

九、西部兵團司令官中將ツォトフヲシテ本攻撃開始ト同時ニ Plevna ニ在ル敵ノ右翼ヲ脅威セシムルコト

少將イメレチンスキーハ主トシテ此攻撃計畫大尉クロバトケン立案ニ準シ Lovca ヲ攻

九月二日
Lovca
ノ命令
攻撃

撃スルニ決シ二日夕全部隊ヲ Lovca 東方地區ニ近ク集結シ攻撃準備ヲ整ヘシメ翌三日攻撃ヲ實施スル爲左ノ要旨ノ命令ヲ下シ又西部兵團司令官中將ツォトフニ翌三日 Lovca ヲ攻撃スル旨ヲ通報シ且攻撃奏效ノ曉ニハ四日 Lovca ヲ出發シ西部兵團ノ Plevna 攻撃ニ參與スル企圖及其戰鬪參與ハ五日以前ニハ行ヒ難キコトヲ附加セリ

九月三日余ノ指揮下ニ在ル諸隊ハ Lovca ヲ攻撃ス

軍隊區分軍隊區分ハ掲記セラレサリシモ便宜上之ヲ作爲セリ
右縱隊歩兵四大隊ト半中隊砲二十門

長狙撃歩兵第二旅團長少將ドブロウオリスキー

狙撃歩兵第三旅團

近衛歩兵半中隊

鹵獲砲兵中隊四門

砲兵第二旅團第五第六中隊

左縱隊 步兵十大隊 騎兵三
中隊 砲五十六門

長少將スコベレフ

步兵第六十四聯隊

步兵第一百十八聯隊第一大隊

步兵第二師 第一旅團 步兵第五聯隊
步兵第六聯隊

親衛騎兵中隊

〔ドン〕哥薩克騎兵二中隊 高加士哥薩克
騎兵旅團所屬

砲兵第二旅團(第五第六中隊缺)

砲兵第三旅團第三中隊

砲兵第九旅團第三中隊

砲兵第十六旅團第二中隊

總豫備隊 步兵十一大
隊 砲十六門

長步兵第二師團第二旅團長少將イングマン

步兵第二師團第二旅團 步兵第七聯隊
步兵第八聯隊

步兵第三師團第二旅團 步兵第十一聯隊 步兵第十二聯隊 第十
二聯隊 第三大隊ハ Sorlijevo ニ留レリ

砲兵第三旅團第五第六中隊

右ノ外左ノ部隊アリ

〔ドン〕哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊

高加士哥薩克騎兵旅團 騎兵十中
隊 砲六門

工兵二小隊 但シ同隊ノ爾後
ノ行動不明ナリ

一、右縱隊ハ Preselka プレセカ 南方高地 D 高地 ニ展開シ敵ノ左翼ヲ攻撃スヘシ

二、左縱隊ハ A、B、C 高地線ニ展開シ Lovca ロフチャ ニ通スル街道ノ兩側高地ノ敵

ヲ攻撃スヘシ

三、總豫備隊ハ Lovca ロフチャ ニ通スル街道上ニ位置スヘシ

四、〔ドン〕哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊ハ Lovca-Trojan ロフチャトロジャン 街道ニ前進シ該街

道ヲ監視スヘシ尙斥候ヲ西方 Mikre ミクレ 方向ニ派遣スヘシ 此部隊ハ Delnevolvo デルネヴォヴォ
東南方約二十五

吉米附近^ニ在リテ^トFront^ト方向ニ對シ警戒シ在リシカ命令受領後ノ行動不明ナリ

五、高加士哥薩克騎兵旅團ハ Lovca 方面ノ砲擊開始ト共ニ Plevna-Lovca 道

ニ沿ヒテ前進シ此街道上ニ於ケル敵ノ運動ヲ遮斷シ且西部兵團ノ部隊ト確實ニ連絡スヘシ尙豫想スル敵ノ退路タル Mikro 方向ニ斥候ヲ

派遣シ我左翼ヨリ派遣セラレタルドン哥薩克騎兵第三十聯隊ノ斥候ト連絡スルコトヲ努ムヘシ

六、射擊開始ハ午前五時トス此時刻迄ニ各部隊ハ兩縱隊長及總豫備隊長ノ命令ニ從ヒ各其位置ニ到ルヘシ

七、第一線ノ敵陣地^{Osma}川右岸ノ陣地ヲ占領スルモ尙敵兵降伏セサル時ハ各隊ハ其高地ニ停止シ爲シ得レハ工事ヲ施シ且敵ノ第二陣地^{Osma}川左岸ノ陣地ヲ指

スモノ^ノ如シ^ノヲ砲擊スル爲速ニ砲兵ヲ招致スヘシ

八、右翼ノ監視ハ高加士哥薩克騎兵旅團之ニ任シ左翼ノ監視ハ少將スコ

ベレフノ騎兵之ニ任スヘシ^{ドン哥薩克騎兵第三十聯隊ノ二中隊ヲ指ス}

九、先進繙帶所ハ本街道上豫備隊ノ後方ニ又大繙帶所ハ砲兵彈藥縱列ノ附近ニ位置スヘシ^{位置不明ナリ}

十、各隊ノ輜重(野戰病院ノ材料、步砲彈藥車缺)ハ諸廠ノ傍ニ在リテ車陣ヲ作ルヘシ^{涌泉附近}

十一、少佐モルチ^ンスキ^ーノ步兵第十二聯隊ハ諸廠竝ニ輜重ノ掩護及戰鬥間輜重ノ指揮ヲ爲スヘシ

十二、予ハ Lovca に通スル街道上砲兵陣地附近ニ在リ^{尙此命令ニハ步兵攻撃ヲ援助スル爲砲兵ハ成ルヘク近ク陣地ヲ占領シ火力ノ發揚ニ努ムルコト及小銃陣ヲ規定外ニ携行セシムルコト且其補充ニ關スル注意及兩縱隊ニハ各一個ノ先進繙帶所ヲ開設スヘキコト竝ニ服裝ノ規定服裝ハ上衣黑色、袴白色ノモノヲ用ヒ日覆ナキ帽ヲ戴キ外套ハ肩ニ懸ケ背囊ハ携行セスヲ附記セリ}

之ト同時ニ少將イメレチンスキ^ーハ兩縱隊長ニ左ノ口達命令ヲ下セリ

他ノ諸高地ヲ瞰制シ全陣地ノ鎖鑰ヲ形成ス故ニ之ヲ占領

セハ Lovca 市ハ我手ニ收ムルコト容易ナリ乃チ攻撃ハ左縱隊ヨリ開

始シ同縱隊該山頂ノ敵陣地ヲ奪取シタル後右縱隊攻撃ヲ開始スヘシ

左縱隊ノ展開

左縱隊長少將スコベレフハ右命令ニ基キ左ノ要旨ノ命令ヲ下ス

一、各砲兵中隊ハ參謀大尉クロパトキンノ指示ニ從ヒ明三日拂曉迄ニ陣地ヲ占領スヘシ

二、步兵第二師團第一旅團ハ明三日拂曉迄ニ砲兵第十六旅團第二中隊ノ占領セルB高地ノ後方ニ位置スヘシ

步兵第百十八聯隊第一大隊ハB高地東側附近ニ在リテ砲兵陣地ノ右側ヲ掩護スヘシ

步兵第六十四聯隊ハA、C高地後方ニ位置シ其一部ヲ以テ砲兵陣地ノ左翼ヲ掩護スヘシ

三、親衛騎兵中隊及高加士哥薩克騎兵旅團ノ二中隊ハ現在ノ位置^B高地ニ在リテ後命ヲ待ツヘシ

四、攻撃方向及攻撃點ハ砲兵ノ準備射擊間ニ之ヲ指示ス

五、砲擊開始ハ午前五時トス先^{レバヤカラ} Koyajja-gorn^ニ向ヒ射擊スヘシ此際砲兵中

隊長ハ輕卒躁急ヲ戒メ精確ニ射擊スヘシ

六、各人ハ重燒麴及生肉半斤宛ヲ携行スヘシ

縱隊ノ後方ニハ清水アリ要スレハ前方部隊ハ其運搬ノ爲一部隊ヲ規定シ置クヘシ

七、予ハ戰鬪開始ノ際左翼步兵第六十四聯隊ノ位置ニ在リ之ト同時ニ尙左ノ要旨ノ訓示ヲ與フ

砲兵ハ步兵ノ前進ヲ開始スルヤ爲シ得ル限り之ヲ援助シ尙敵ノ豫備隊現出セハ之ヲ猛射シ又攻撃部隊ノ戰況困難ニ陥ルヲ見ハ益其火力ヲ熾ナラシムヘシ

步兵ハ萬難ヲ排シテ戰友ノ危難ニ赴クヲ以テ神聖ナル義務ナルコトヲ銘心スヘシ常ニ彈藥ノ浪費ヲ戒メ其補充容易ナラサルコトヲ念頭ニ置クヘシ

下士卒ノ常ニ肝銘スヘキコトハ勇敢ナル前進ニ伴フ損害ハ常ニ僅少ナ

ルモ退却殊ニ潰走ニ方リテハ多大ノ死傷ヲ生スルコト是ナリ

左縦隊ハ右命令ニ基キ午前五時三十分豫定ニ後ルコト約三十分左ノ如ク展開ス

砲兵第二旅團第一中隊及同第十六旅團第二中隊ハB高地ニ同第九旅團

第三中隊及同第二旅團第二、第三中隊ハA高地附近ニ同第二旅團第四中

隊ハ其前方約二百米ノ高地斜面以上ノ砲兵ハN.1.2高地ノ敵ニ對セリニ同第三旅團第三中隊ハ

C高地ニ在リ同中隊ノ半部ハN.3高地ノ敵ニ對セリ步兵第一百十八聯隊第一大隊ハ砲兵ノ右側掩

護トシテB高地ノ後方ニ位置シ同第六十四聯隊第一大隊缺ハA高地ノ

後方ニ集合シ撤兵第二中隊ヲ砲兵陣地ノ前方ニ散開シ又同聯隊第一大

隊ハ砲兵ノ左側掩護トシテC高地ノ後方ニ在リ其撤兵第一中隊ヲ砲兵

陣地ノ前方ニ散開シ其他ノ諸隊步兵第二師團第一旅團及騎兵三中隊ハ豫備トナリA高地ノ東

方約千米ニ集合ス

右縦隊長少將ドブロウキリスキーハ二日命令受領後夕刻少將スコベレフ

ト共ニ騎兵二中隊ノ掩護ヲ以テD高地ニ到リ少將スコベレフヨリ地形其

右縦隊ノ展開

他ノ説明ヲ聞キ尙偵察ヲ行ヒ同夜百六十四名ヨリ成ル工事部隊ヲD高地
上ニ派遣シ狙撃歩兵第九大隊第三中隊ノ掩護ヲ以テ同處ニ砲兵掩體十二
門分及同高地ニ到ル進入路ヲ構築セシム工事部隊ハ三日午前四時マテニ
道路ナキ叢林ヲ開キ豫定ノ掩體ヲ構築シ右縦隊主力ハ三日午前二時涌泉
附近ノ露營地ヲ出發シ午前五時四十五分左ノ如ク展開ス

砲兵第二旅團第五中隊鹵獲砲兵中隊四門ハD高地ニ陣地ヲ占領シ狙撃歩

兵第九大隊第三中隊ハ其掩護トシテ砲兵陣地ノ右側ニ在リ

狙撃歩兵第十一、第十二大隊ハ砲兵陣地ノ右ニ狙撃歩兵第十大隊ハ同陣

地ノ左ニ展開シ同第十大隊ノ後方ニハ近衛歩兵半中隊アリ狙撃歩兵第

九大隊(第三中隊缺)及砲兵第二旅團第六中隊ハ豫備隊トナリD高地ノ後

方ニ在リ

高加士哥薩克騎兵旅團ハ午前五時 ロフチヤ Lavyca 北方約六吉米 ドレノイ D. Davlikjane 附近
ニ於テ ロフチヤ Lavyca-Mevna 道ニ跨リ南面シテ陣地ヲ占領シ騎兵一聯隊 五中 及砲四

高加士哥薩
克騎兵旅團
ノ位置

門ヲ第一線トシ他ノ一聯隊^{五中}及砲二門ヲ第二線トシテ後方ニ位置セシム又 ^{ミクレ}Nikre 方向ノ搜索及西部兵團トノ連絡ノ爲強大ナル斥候ヲ派遣シ右縱隊ト連絡ヲ維持スル爲 ^{ブレセカ}Preleska 方面ニ數個ノ連絡兵ヲ配置ス

總豫備隊^{步兵十一大 砲十六門}ハ早朝涌泉附近ノ露營地出發午前六時 B 高地東方約一吉米ニ在ル獨立高地ノ後方ニ位置シ少將イメレチンスキーハ同時 B 高地ニ至ル

砲戰ノ情況

少將イメレチンスキーハ午前六時諸隊所命ノ如ク展開ヲ終了セルヲ知り直ニ砲聲ノ開始ヲ命ス^{前日ノ命令ニ依レハ午前五時砲擊ヲ開始スヘキ筈}左縱隊砲兵ハ其砲火ヲ ^{ラジャゴラ}Roxajagora 及 ^{N.2}N.2 高地ニ集注シ^{二千乃至三千米}右縱隊砲兵ハ主トシテ ^{N.4}N.4 高地ヲ射撃ス然レトモ ^{オスタ}Osta 河左岸ニ在ル土軍ハ露軍砲兵ノ射程外^{四千乃至五千}ナルヲ以テ之ヲ射撃スルコト能ハス既ニシテ ^{ラジャゴラ}Roxajagora ノ土軍砲兵ハ ^{N.6}N.6 高地ノ堡壘ニ向ヒ退却シ又 ^{ラジャゴラ}Roxajagora ノ步兵モ其第一線陣地ヲ放棄シテ後退ス右縱隊砲兵ノ ^{N.4}N.4 高地ニ對スル射撃ハ叢林同堡壘ヲ掩ヒ照準及觀測

右縱隊ニ對スル土軍ノ出撃

ヲ妨害セシヲ以テ充分威力ヲ發揚スルヲ得ス ^{N.6}N.6 高地上ノ土軍砲兵ハ優良ノ火砲ヲ以テ盛ニ D 高地上ノ露軍砲兵ヲ射撃シ之カ爲ニ同砲兵ハ砲手ノ死傷スルモノ多ク左翼ニ在リシ砲四門ハ損害ノ爲後退シ彈藥車ノ招致モ困難トナリ彈藥補充ハ爲ニ步兵ノ臂力ニ依ラサルヘカラサルニ至レリ

午前七時頃右縱隊方面ノ土軍出撃ヲ企ツ^{兵力不明} ^{N.6}N.6 高地ノ砲兵及 ^{N.4}N.4 高地ノ步兵ハ共ニ射撃ヲ以テ之ヲ援助ス午前七時三十分頃土軍ハ右縱隊ノ前方約二百米ノ地ニ進出シ漸次左翼ヲ延長シ露軍ノ右翼ヲ包圍セントス依テ右縱隊長少將ドブロウ^オリスキーハ少將イメレチンスキーニ右翼ノ危殆ヲ報告シ步兵一聯隊ノ増援ヲ請ヘリ此間 D 高地ノ露軍^{狙撃步兵第十二第十一大隊及同第九大隊第三中隊}勇戰遂ニ土軍ヲ擊退スルコトヲ得タルモ敵ノ砲火ハ依然トシテ猛烈ヲ極メ損傷少カラス是ニ於テ少將ドブロウ^オリスキーハ前進シテ敵ヲ攻撃スルニ決シ午前八時三十分獨斷ヲ以テ^{命令ニ依レハ右縱隊ハ左縱隊ノ ^{ラジャゴラ}Roxajagora ノ占領ヲ待テ攻撃ヲ開始スヘキナリ} 狙撃步兵第十一第十二大隊ヲ第一線トシ直ニ ^{N.4}N.4 高地ニ向ヒ前進セシメ次テ左

右縱隊攻撃前進

翼ニ在リシ同第十大隊ヲ兩大隊ノ中間ニ増加シ近衛歩兵半中隊ヲ右翼後ニ豫備隊狙撃歩兵第九大隊及砲兵第二旅團第六中隊ヲ中央後ニ前進セシム第一線歩兵ハ損害ヲ顧ミス殆ト射撃スルコトナク プレセカ Plesca 川ノ線ニ進出シ 一躍進ノ距離概ネ三百米以上ナリ 最先ニ同河谷ニ入りシ狙撃歩兵第十二大隊ハ右翼後ニ前進セシ近衛歩兵半中隊ヲ合シ N.4 高地ニ突撃シテ之ヲ占領シ同第十一大隊ハ河谷ヨリ進出スルニ際シ南ニ偏シテ第三號高地ニ進出シ同第十大隊ハ第十二大隊ニ後レテ河谷ニ入り側進シテ N.5 高地ニ突撃シ之ヲ占領ス此ノ如クシテ午前十時稍前 N.4 N.5 高地ハ右縦隊ノ掌中ニ歸スルニ至レリ此攻撃ニ際シ砲兵ノ一部ハ歩兵ニ隨伴シ其攻撃ヲ容易ナラシメタリ N.4 N.5 高地ノ守兵ハ潰亂シテ一部ハ N.6 高地ニ一部ハ ロヤチ Lovci 市街ニ退却ス露軍ハ占領セル陣地ニ隊伍ヲ整頓中午前十一時曩ニ請求セシ増援部隊 歩兵第七聯隊 來著セシヲ以テ少將ドブロウ[★]リスキーハ同聯隊及砲兵第二旅團第六中隊ヲシテ N.4 N.5 高地ヲ占領セシメ其他ノ諸隊 歩兵四大隊ト半中隊砲十二門 ヲ N.4 高地東方谷地ニ集合セシム歩兵第七聯隊ハ

左縦隊ノ行

所命ノ高地ヲ占領シ砲兵第六中隊モ N.4 北方高地ニ陣地ヲ占領シ N.6 高地ヲ射撃セリ本戰鬪ニ於テ右縦隊ノ損害ハ死者百二十一名傷者四百四十二名ニ及ヒ隊伍混亂甚シカリシヲ以テ少將ドブロウ[★]リスキーハ午後三時十五分中將イメレチンスキーニ歩兵第七聯隊砲兵第二旅團第六中隊ノ他ハ損傷甚シク N.6 高地ノ攻撃ニ使用シ得サル旨ヲ報告セリ

左縦隊長少將スコベレフハ C 高地ニ在リ午前七時過土軍右縦隊方面ニ出撃シ戰鬪漸次激烈ヲ加フルモノノ如ク數回喊聲ヲ耳ニシ午前八時過ニ至リ該方面ノ土軍退却シ右縦隊歩兵ハ前進ヲ開始セシコトヲ知リシモ爾後葡萄畑ニ其姿ヲ没シ充分情況ヲ明カニスルコト能ハス A 高地ニ在リシ左縦隊ノ砲兵モ亦此情況ヲ目撃スルヲ得タルモ彼我兩軍ノ識別困難ナリシヲ以テ右縦隊方面ノ戰鬪ニ毫モ援助スル所ナカリキ 當時露軍砲兵ハ射撃目標ニ 深ク注意ヲ拂フノ念ヲ缺ケ リ Kozajgora ニ在リシ土軍ハ午前七時頃其第一線陣地ヲ撤退セシモ露軍砲兵ハ其後約三十分間依然 砲火ヲ之ニ集注セシカ如キハ其一例ナリ故ニ此場合ニモ右縦隊方面ノ援助ニ關シ深ク顧慮セサリ ノ如シ

少將スコベレフハ午前十時稍前右縦隊ノ N.4.5 高地ヲ占領セシコトヲ知リ又左縦隊正面ニ於テモ前進ノ機熟セシヲ以テ午前十一時稍前左ノ如ク前進ヲ命ス 是ヨリ前少將イメレチンスキーハ爾後ノ攻撃ヲ顧慮シ豫備隊ノ内歩兵第十一聯隊第二大隊缺ヲ左縦隊ニ増加シ同隊ハ此頃縦隊ニ合セリ

一、步兵第二師團第一旅團步兵第五第六聯隊ハ N.2 高地ヲ攻略シタル後 Kozajagora 攻撃部隊ト協同シテ ロフヤハ Lovca 市及 オスタ Osta 河左岸ノ陣地ヲ攻撃スヘシ

二、步兵第六十四聯隊ハ ロフヤハ Rozajagora ヲ攻撃スヘシ
三、砲兵ハ步兵攻撃前進ヲ開始スルト共ニ敵步兵陣地ニ對シ一齊射撃ヲ行ヒ爲シ得ル限り之ヲ繼續スヘシ其掩護トシテ步兵第百十八聯隊第一大隊ヲ陣地附近ニ位置セシム

四、高加士哥薩克騎兵旅團ニ屬セシ騎兵二中隊ハ左翼ニ在リテ警戒ニ任ス
親衛騎兵中隊ハ少將スコベレフト共ニ行動スヘシ

五、步兵第十一聯隊第二大隊缺ハ步兵第六十四聯隊ノ左翼後ヲ行進スヘシ

シ

步兵第二師團第一旅團ハ B 高地西北方谷地ニ於テ步兵第五聯隊ヲ第一線同第六聯隊ヲ第二線ニ展開シ而シテ第五聯隊ハ其一大隊ヲ第一線ニ出シ他ノ二大隊ハ大隊縦隊ヲ以テ之ニ續行ス 第一線大隊ハ中隊ヲ一線ニ展開シ撤兵中隊ヲ其前ニ散開セリ

步兵第六十四聯隊ハ砲兵第二旅團第四中隊ノ陣地前ニ於テ第一第三大隊ヲ第一線ニ第二大隊ヲ第二線ニ展開シ 第一線ノ兩大隊ハ諸中隊ヲ一線ニ展開シ撤兵中隊ヲ其前方ニ散開セシメ第二線大隊ハ重複

縱隊ト爲リ撤兵中隊ヲ第一線兩大隊ノ撤兵中隊ノ線ニ前進セシム豫備隊タル步兵第十一聯隊ノ二大隊ハ步兵第六十四聯隊ノ後方ニ在リ

正午頃左縦隊ハ展開ヲ終リ直ニ攻撃前進ヲ起シ全砲兵ハ一齊射撃ヲ以テ敵步兵ヲ猛射ス正午稍過少將スコベレフハ少將イメレチンスキーコリ「今ヤ突撃ヲ開始スヘキ時機ナリ吾人ハ既ニ五時間半ニ互リ戦鬪ヲ交ニトノ督促ヲ受ケタルモ少將スコベレフハ既ニ攻撃前進ヲ命シタル後ナリシヲ以テ何等處置スル所ナカリキ

午後一時稍前左縱隊步兵陣地前約三百歩ニ到ルヤ守兵ハ陣地ヲ棄テ退却ス 此戰團ニ於テ步兵第二師團第一旅團長少將ラスギルジェフ負傷シテ戰線ヲ去レリ 少將スコベレフハ直ニ ロザイゴラニ到リ敵陣地ノ工事頗ル堅固ニシテ殊ニ N.6高地ノ堡壘ハ數多ノ散兵壕ヲ以テ圍繞セラレアルヲ知り步兵第六十四聯隊第二第三大隊第十二中隊缺一ニ市街ノ占領ヲ命シ同聯隊第一大隊及第十二中隊ハ後刻來著スヘキ砲兵ノ掩護トシテ同山ニ殘留セシム 步兵第六十四聯隊以外ノ諸隊ニハ如何ナル命令ヲ與ヘタルカ記録ナシ 步兵第六十四聯隊第二第三大隊第十二中隊缺一ハ直ニ前進シテ ロフチャ Lovca 市ニ進入シ步兵第十聯隊第二大隊缺一ニ續行ス砲兵諸中隊及步兵第百十八聯隊第一大隊ハ此時尙後方ニ停止シアリシカ少將イメレチンスキーノ命令ニ依リ漸ク前進ヲ開始セリ

高加士哥薩
ノ行動

高加士哥薩克騎兵旅團ノ主力ハ朝來 メアブリクヤネ Pavlikjane 西南方高地ニ在リ旅團長大佐ツトルミンハ旅團ノ位置ハ ミクレ Mikre 方向ノ監視ニ適當ナラサルヲ慮リ午前八時頃少將スコベレフ 從來ノ命令系統ニヨリテ同官ニ致セルモノナラン ニ旅團ハ爾後 ロフチャ Lovca ノ河

谷ヨリ西南方ノ山地ニ進出スルヲ要スヘキヤ否ヤ或ハ ロフチャ Lovca 攻撃ニ参加スヘキヤ或ハ攻撃ノ結果ヲ待チテ追撃ニ任スヘキヤニ就テ指示ヲ請ヒ少將スコベレフハ直ニ 午前九時頃 此旨ヲ少將イメレチンスキーニ轉送セリ

午前九時三十分大佐ツトルミンハ西部兵團司令官中將ツォトフヨリ直ニ ソフチボ Sotovo 附近ニ進出シ プレナ Plevna ヨリ ロフチャ Lovca ニ通スル街道ヲ監視シ且 ロフチャ Lovca ノ攻撃ニ参加スヘキ訓令ヲ受領セリ 西部兵團司令官ハ土軍此方面ヨリ プレナ Plevna ノ守兵ヲ ロフチャ Lovca ニ招致スヘキコトヲ願慮セリ 然レトモ大佐ツトルミンハ ソフチボ Sotovo ハ ロフチャ Lovca ヲ距ル十吉米以上ニシテ ロフチャ Lovca 攻撃ニ参加スルコト能ハサルヲ以テ之ニ應セス又前記報告ニ對スル回答ヲ得サリシモ無爲ニ停止スルヲ不利トシ右縱隊ノ攻撃ニ協力スルニ決シ直ニ N.6 高地方向ニ前進シ而シテ午前十一時少將イメレチンスキーヨリ前報告ニ對スル左ノ回答ヲ受領ス

貴下現在ノ位置ハ適當ナリ唯爲シ得ル限り ミクレ Mikre 方向ニ對シ陽動ヲ行フヘシ又斥候ヲ以テ右縱隊ト連絡ヲ確守シ且敵ヲ側方ヨリ射撃シ以テ

我攻撃ヲ容易ナラシムルコト必要ナリ予ハ午前十一時若クハ十二時少將スコベレフノ部隊ト共ニ攻撃前進ニ移ル

大佐ツトルミンハ此命令ニ依リ其決心ヲ變更スルコトナク前進ヲ繼續シテ右縦隊ノ右側ニ進出シ右縦隊ノN.4高地ニ突撃スル際及左縦隊カ ロフチヤ LOYGA 市ニ進入スルニ當リ ロフチヤ LOYGA 北方約三吉米ノ地ヨリN.6高地堡壘ヲ砲撃シ以テ其攻撃ヲ容易ナラシメタリ

少將イメレチンスキーハ朝來B高地上ニ在リテ右縦隊ノ戰況ヲ觀察シ午前十時右縦隊長ヨリ歩兵一聯隊増援ノ請求ヲ受ケ直ニ歩兵第七聯隊ヲ該方面ニ派遣ス 此聯隊ハ午前十一時稍前右縦隊ニ到着セシコト既記ノ如シ 午前十時頃ニ至リ右縦隊ノN.4高地ヲ占領セシコトヲ知リシモ左縦隊ハ砲戰ヲ交ユルノミニシテ未タ攻撃前進ヲ起ササリシヲ以テ豫備隊ニ在リシ歩兵第十一聯隊第二大隊缺ヲ左縦隊ニ増加シ 攻撃ノ爲メ此部隊ハ 其前進ヲ督促ス 總豫備隊ハ歩兵第八聯隊同第十一聯隊第三旅團第五、第六中隊トナル 然ルニ之ヨリ稍前 午前十一時頃 少將スコベレフハ已ニ前進ヲ起シ

午後一時頃 レフチヤ Rozajgora ヲ占領セシヲ以テ少將イメレチンスキーハ直ニ同地ニ赴キ左ノ處置ヲナス 此頃迄ニ總豫備隊ハ戰鬪ノ進捗スルト共ニ第一線ニ繼進セシモノナラン

一、左縦隊ニ先砲兵第三旅團第六中隊ヲ次テ歩兵第十一聯隊第二大隊及同第八聯隊ヲ増加ス 此等ノ部隊ハ總豫備隊内ニ在リタリ

二、砲兵第二旅團第一中隊 B高地ニ在リ 及同第三旅團第五中隊 總豫備隊内ニ在リ ヲ レフチヤ JAGORA ニ急行セシメ後同第二旅團第二、第四中隊 A、Cノ高地ニ在リ ヲ之ニ増加ス

三、總豫備隊 總豫備隊ノ兵力ハ此時歩兵第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二聯隊ノ二大隊アルノミ 及其他ノ部隊 歩兵第六十四聯隊第一大隊及第十二中隊同第百十八聯隊ノ六旅團第二中隊計歩兵二大隊砲兵四中隊ニシテ何レモ左縦隊ニ屬セシモノナリ レフチヤ Rozajgora 附近ニ集合セシム

右縦隊ニ關シテハ別ニ處置スル所ナカリシカ如シ

Osma 河左岸陣地ノ攻撃 附圖第六十八其二參照

左縦隊長少將スコベレフハ レフチヤ Rozajgora 攻畧後直ニ自ラ歩兵第六十四聯隊ノ主力 第一大隊及第十二中隊ハ砲兵ヲ指揮シテ前進シ最先頭ニ前進セシ 第二大

第十五章 八月三十日ヨリ九月中旬ニ至ル作戦

午後三時頃迄ニ於ケル部隊ノ情況

隊ノ内撤兵第三中隊及歩兵第九中隊ハm橋梁及其附近ノ徒涉場ヲ經テ第十第十一中隊ハn橋梁ヲ經テ殆ト同時ニ市街内ニ進入ス市街ハ街衢狹隘且曲折甚シク第三大隊ノ各中隊期セスシテ市ノ中央ニ在ル墓地附近廣場ニ來集スルヤ敗竄ノ土兵四圍ヨリ暗射シ且N.6高地ノ堡壘ヨリモ盛ニ射擊離距千乃至千五百米ヲ受ケ秩序全ク亂レ諸隊ノ混雜名狀スヘカラス將校ハ辛ウシテ若干ノ集團セシ部隊ヲ指揮シテ市街ノ緣端ニ進出シ家屋防禦ノ設備ヲ爲シ通路ヲ開キ據點ヲ作り約一時間ヲ經テ午後二時頃第九中隊狙擊歩兵第三中隊同第二中隊各市街ノ緣端ヲ占領シ第十第十一中隊ハ左翼後ニ集合シ第二大隊ハ其左方庭園内ニ集合シ其内第六第七中隊ノ各一小隊其前方ニ散開シテ漸クN.6高地ノ敵ニ對シ射擊ヲ開始セリ距離八百乃至千米此間左縱隊ハ豫備隊ニ在リシ歩兵第十一聯隊第二大隊同第八聯隊砲兵第三旅團第六中隊ノ増援ヲ得少將スコベレフハ歩兵第八聯隊及同第十一聯隊ヲ市街ノ西北ニ招致シ親衛騎兵中隊ヲシテ左翼ノ警戒ヲ爲サシム

騎兵中隊

ハ市ノ西南端ニテ *Mikra* 及 *Trayan* 方向ヲ警戒ス

歩兵第十一聯隊第二大隊同第八聯隊ハ *Roxajagorn* ニ向ヒ前進申午後二時半頃前記命令ニ接シ市街ヲ通過シテ歩兵第十一聯隊第二大隊缺ト合シ午後三時頃歩兵第六十四聯隊ノ後方ニ集合ス

此間歩兵第二師團第一旅團ハN.2高地斜面ヲ降り前進ヲ開始セシヲ以テ少將スコベレフハ歩兵第十一聯隊ノ一大隊ヲ歩兵第六十四聯隊ノ右翼ニ展開シ歩兵第二師團第一旅團ノ進出ヲ容易ナラシム大隊ハ直ニ *Novsa* 市北端入口ニ向テ前進シ前方ニ撤兵中隊ノ一小隊ヲ散開セシカ忽チ敵ノ猛烈ナル射擊ヲ蒙リ同中隊ハ入口前方數十歩ノ地ニ伏臥シ之ニ續行セル四中隊ハ爲ニ其進出路ヲ封鎖セラレテ展開スルヲ得ス次テ聯隊長聯隊長ハ同大ノ如シノ戰死シ散兵中隊ハ潰走ヲ始メ後方中隊モ亦之ニ誘ハレテ退却ス是ニ於テ將校ハ死力ヲ盡シテ隊伍ノ集結ニ努メ午後二時過漸ク前進ヲ開始シ混淆セル二中隊ヲ散開シ喊聲ヲ揚テ猛進セシモ三四百米前進セシ後再

午後三時頃
迄ニ於ケル
歩兵第二團
ノ第一旅團
ノ情況

ヒ停止シテ第二師團第一旅團ノ進出ヲ待ツニ至ル
 歩兵第二師團第一旅團ハ午後一時頃^{N.2}高地ヲ攻略シ隊伍ヲ整頓シタル後
 午後二時稍^前少將スコベレフヨリ何等ノ命令ニ接セザリシモ歩兵第六十四聯隊ノ一部^{ロフチヤ} Lovca 市
 街内ニ進入シ敵ト戰闘中ナルヲ知り直ニ^{N.6}高地堡壘ニ向ヒ前進スルニ決シタル
 如シ^ノ歩兵第五聯隊ヲ第一線同第六聯隊ヲ第二線トシ^{N.6}高地ニ向ヒ前進
 ス旅團ハ葡萄畑ニ遮蔽セラレ大ナル損害ヲ受クルコトナク^{オスマ} Osma 河ノ線
 ニ進出セシモ此附近^{オスマ} Osma 河ハ水深大ナリシヲ以テ稍下流ニ於テ一渡場
 ヲ發見シテ直ニ渡河ヲ開始ス^{ロフチヤ} Lovca 市北方地區ハ地形平坦開濶ニシテ據
 ルヘキ地物ナク且土軍ノ射撃極メテ猛烈ナリシヲ以テ先頭聯隊ハ忽チ多
 大ノ損害ヲ蒙リ隊伍紊亂シテ區々ノ小群ト爲リ逐次ニ水車房ノ線ニ向ヒ
 前進シ第二線聯隊ハ次テ^{オスマ} Osma 河ニ進出ス時ニ午後三時頃ナリ
 右縱隊ハ歩兵第七聯隊ヲ以テ^{N.4}高地ヲ占領シ砲兵第二旅團第六中隊ハ其
 北方ニ放列ヲ布キ其他ハ後方河谷中ニ集合シ在リシカ午後二時過歩兵第
 七聯隊ハ左縱隊ノ前進ヲ知り直ニ^{N.6}高地ノ東北角ニ向ヒ前進ヲ起ス

午後三時頃
迄ニ於ケル
高加士哥薩
克騎兵旅團
ノ情況

此頃左縱隊ニ屬スル砲兵第三旅團第六中隊ハ^m橋ノ東側斜面上ニ陣地ヲ
 占領シ^{同中隊ハ歩兵第六十四聯隊カ Lovca 市ニ進入スル}又^{ロフチヤ} Rozajagora ニ急行セシ同旅團
 第一第二第四中隊及第三旅團第五中隊ハ同高地上ニ陣地ヲ占領シ^{N.6}高地
 堡壘ヲ射撃シ歩兵第六十四聯隊第一大隊及第十二中隊ハ依然砲兵陣地附
 近ニ在リテ其掩護ニ任ス又總豫備隊^{歩兵第十二聯隊ノ第二大隊同第百}ハ^{N.1}高地ノ
 東方高地ニ集合セリ
^{ロフチヤ} Lovca 北方約三吉米ニ在リ午後二時三十分旅團
 長大佐ツトルミンハ少將イメレチンスキーヨリ左ノ命令ヲ受領ス
 吾等ハ市ニ進入シ今ヨリ^{N.6}高地堡壘ヲ攻撃セントス貴官ハ^{ロフチヤ} Lovca ニ向
 ヒ前進シ且^{スラヴナ} Slavnata 及^{ミクレ} Mikre 方向ヲ監視スヘシ
 之ヨリ前西部兵團ノ歩兵三大隊騎兵一聯隊砲兵二中隊ヨリ成ル一支隊ハ
^{スラヴナ} Slavnata-Lovca 道上高加士騎兵旅團ノ北方約十吉米附近ニ派遣セラレ
^{此部隊ハ}大佐レ
^{ビンデルノ部隊ナリ}旅團ノ背後ハ毫毛顧慮ヲ要セサルニ至レルヲ以テ旅團ハ
^(本卷四〇六頁參照)

第六號堡壘ノ占領

N.6 高地堡壘前二千米附近ニ近接シテ放列ヲ布置シ騎兵一聯隊ヲ第一線ニ他ノ聯隊ヲ第二線ニ配置ス

步兵第二師團第一旅團ノ第一線ニ在リシ第五聯隊ハ開豁地ノ通過ト水車房附近竝其前方ニアル小流其岸壁斷崖ヲ成形セリ渡過ノ爲前進大ニ遲滯シ且隊伍錯亂セシモ第二線聯隊ノ到着ヲ待ツコトナク直ニN.6高地ニ向ヒ前進シ同陣地前高地脚ノ死角ニ於テ隊伍ヲ整頓シタル後第一線散兵壕ヲ占領シテ直ニ角面堡ニ突撃シ土軍ハ遂ニ其陣地ヲ棄テテ退却ス步兵第六聯隊及同第七聯隊ハ稍後レテ敵陣地東部ニ突入セリ

是ヨリ前步兵第二師團第一旅團ノ前進スルヤN.6高地土軍ノ火力ハ該方面ニ集注セラレ南方ニ對スル火力衰ヘタルヲ以テ少將イメレチンスキーハ豫備隊ニ在リシ步兵第十二聯隊第一第二大隊第三大隊ハゴブニダラニシテニ殘留シ在リヲ少將スコベレフニ増加シ其前進ヲ督勵ス少將スコベレフハ兩大隊ノ到着ヲ待チ步兵第十一聯隊ノ二大隊ヲ第一線トシ步兵第六十四聯隊ノ一大隊同第八聯

隊及第十二聯隊ノ二大隊ヲ第二線トシテGoznicaゴツニツァ東側ヨリ土軍ノ側背ニ迫リシモ土軍ノ主力ハ既ニ退却セシ後ナリシヲ以テ大ナル抵抗ナクN.6西方高地ヲ占領シ又市ノ北端ニ展開シアリシ步兵第十一聯隊ノ一大隊及步兵第六十四聯隊第三大隊ハ步兵第二師團第一旅團ニ續テN.6高地堡壘ニ突入ス

高加士哥薩克騎兵旅團ハN.6高地堡壘前約千五百米ノ小流附近ニ在リ午後四時過步兵部隊ハ將ニN.6高地堡壘ニ突入セントスルノ狀アルヲ見土軍ノ退路ヲ遮斷セント欲シProdnicecプロヂニツェツニ向ヒ前進シ第二線部隊ノ一中隊ヲ同村西側ニ派遣ス第一線部隊五中ハProdnicecプロヂニツェツ北方高地ニ於テ突然同村ヨリ東方ニ前進中ノ土軍步兵二大隊土軍ノ豫備隊ニシテN.6高地ノ堡壘ニ増援セントスルモノナリニ遭遇シ直ニ四中隊ヲ第一線一中隊ヲ第二線ニ展開シ土軍ノ射撃ヲ冒シテ之ヲ襲撃ス

大佐ツトルミンハ第一線聯隊ノ襲撃ヲ見ルヤ第二線部隊ヲ集結シテ之ニ續行セシモ第一線部隊ハ其戰鬪參加ヲ待タスシテ獨力土軍ヲ潰走セシム

此時旅團ハN.6高地堡壘ノ土軍退却シ來ルヲ見テ更ニ之ヲ襲撃シ土軍ハ混亂シテ西南方 Mikre 方向ニ潰走ス

是ヨリ前市ノ西南端ニ在リテ Mikre 及 Trojan 方向ノ警戒ニ任シタル親衛騎兵中隊ハN.7 N.8 N.9高地ノ土軍 Mikre 方向ニ退却スルノ報ニ接シ直ニ之ヲ追躡セシモ土軍ハ砲二門及若干ノ歩兵ヲ以テ隘路ヲ扼シ中隊ハ前進スルコト能ハス再ヒ市街ニ歸還ス此時中隊長ハ露軍N.6高地ノ堡壘ニ突入シ土軍西方ニ退却スルヲ目撃シ中隊ヲ率井テ Joznica 東方ニ急行シ之ヲ襲撃ス此クノ如クシテ露軍ハ午後五時過 Osma 河左岸一帯ノ土軍ヲ撃退シ土軍ハ大部 Mikre 方向ニ退却セリ少將イメレチンスキーハ高加士哥薩克騎兵旅團ヲシテ敵ヲ急追セシメ爾餘ノ諸隊ヲシテ占領セル陣地ニ隊伍ノ整頓ヲ爲サシム

高加士哥薩克騎兵旅團長大佐ツトルミンハ Prodnicee 附近ニ進出後親衛騎兵中隊 少將スコベレフノ隷下ニ在リテ Joznica 東方ニ前進セシ部隊ナリ ト合一シ Mikre 方向ニ前進セシモ山間歩

歩ノ抵抗ニ遭ヒ追撃意ノ如ク進捗セス加フルニ人馬共ニ大ニ疲勞セシヲ以テ一部ヲ該方面ノ監視ニ止メ主力ハ午後十一時 Loya ニ歸還ス

少將イメレチンスキーハ哥薩克騎兵約五十名ヨリ成ル一隊ヲ以テ市街ノ秩序ヲ維持セシメ諸隊ヲ其陣地附近ニ露營セシメ部隊ノ市街ニ入ルヲ禁止シ午後七時三十分西部兵團司令官中將ツトフニ左記要旨ヲ通報セリ
 午前六時ヨリ午後五時ニ互ル戦鬪ノ後敵陣地ヲ占領ス各隊ハ昨夜砲兵陣地ヲ構築シ今日續テ攻撃ヲ行ヒ著シク疲勞セリ輜重ハ後方ニ留メアリ傷者ノ收容未タ終ラス
 別命ナケレハ明四日當地ヲ出發スヘキモ貴軍ノ情況之ヲ許セハ明後五日出發スルハ小官ノ最切望スル所ナリ
 別ニ左記要旨ノ報告ヲ中將ツトフノ許ニ送り軍司令官ニ轉送スルコトヲ依頼セリ

我軍ハ今三日十二時間ニ互ル激戦ノ後天險ニ加工セル堅壘ヲ拔ケリ各

隊ノ大部ハ初陣ナルモ克ク奮闘セリ就中親衛騎兵ノ追撃ハ最モ賞讃ニ價ス當日ノ勇者ハ少將スコベレフヲ第一トス我軍ノ損害未詳ナリ軍隊ハ甚タ疲勞セルヲ以テ明後五日出發スヘク西部兵團司令官ニ懇請セリ若シ許可ナケレハ明四日出發セン云々

本戰鬪ニ於ケル露軍ノ死傷及射耗彈數左ノ如シ

死	將校	七	佐官三 尉官四	下士卒	三百三十五
負傷	同	三十九	將官一 尉官三十七	同	千二百四十五
失踪	同	同	同	同	五十七
計	將校	四十六	同	同	千六百三十七
射耗彈	同	同	同	同	同
小銃彈	同	二十四萬五千三百六十八發	同	同	一銃ニ付平均四發四一

砲彈

榴彈 三千五百五十八發
榴霰彈 千十七發
霰彈 一發

砲一門ニ付平均四十九發八九

附記

ロフチヤ Lovcaノ守兵ハ最初歩兵六大隊ヲ基幹トスル一支隊ヨリ成リシカ
八月二日オスマンパシアハOrhanjeヨリPlevnaニ前進中ノ歩兵六大隊ヲ Lovcaニ増加セシヲ以テ爾後其兵力歩兵八大隊
騎兵二中隊騎兵一小隊及不正規騎兵約二千三百名砲六門トナル
土軍陣地ハOsma河兩岸高地上ニ二線ヲ成ス即チOsma河右岸高地線上ニ在ルモノハ第一線ニシテN.1高地ヨリN.5高地ニ互リ又同河左岸ノモノハ第二線ニシテN.6高地ヨリN.9高地ニ互ル工事ハN.6高地上ノモノ最モ堅固ニシテ他ハ一線若クハ數線ノ散兵壕ヨリ成ル各地守兵ノ配備ハOsma河右岸ニ在ルモノハ歩兵三大隊半砲一門ニシテ歩兵一大隊砲一門ヲ以テKojagoraヲ占領シ其一部ハC高地ニ在リN.2.5高地ニハ各歩兵一大隊N.4高地ニハ歩兵半大隊アリN.6高地ニハ歩兵三大隊

砲三門⁷高地ニハ步兵一中隊⁸高地ニハ步兵半大隊⁹高地ニハ步兵一中隊及砲二門又市街ニハ秩序維持ノ爲步兵半大隊アリ總指揮官リ
フアイトパシアハ⁶高地上ノ堡壘ニ在リ^{騎兵ハ初メA B高地ニ在リシカ露軍ノ壓迫ヲ受ケテ陣地ニ退却シ爾後ノ行動不明ナリ}

露軍右縦隊ニ對シ出撃セシ土軍ノ兵力ハ少クモ三千ヲ算セシモノノ如シ恐ラク⁶高地守兵ノ一部及¹⁰Lovca市ニ在リテ秩序維持ニ任セシ部隊モ之ニ加ハリシナラン

土軍ハ¹¹Osna河右岸ヨリ陣地ヲ撤退シタル後悉ク其兵力ヲ⁶高地堡壘ニ集合シ步兵七大隊砲四門トナリ退路ヲ¹²Prodimce-Rajuvo¹³概シテPlevna¹⁴ノ西方四五吉米ニ竝行スニ撰ヒ之カ掩護トシテ步兵二大隊ヲ¹⁵Prodimceニ置ケリ

⁶高地上ニ集合セシ土軍ハ露軍ノ突撃ヲ受クルニ先タチ其主力ヲ以テ¹⁶Mikreニ向ヒ退却スソフアイトパシアハ¹⁷Mikre附近ニ於テ敗兵ヲ集合シ遠ク西北方ニ迂回シ¹⁸河畔ヲ經テ九月六日頃¹⁹Plevnaニ到著

セシモノノ如シ²⁰同地ニ於テ敗兵ヲ合シ二大隊ヲ編成ス又砲一門ハ車輪ヲ折損セシ爲途云フ²¹中ニ遺棄シ露軍之ヲ鹵獲ス他ノ五門ハ步兵部隊ト共ニ²²Mikreニ退却セ

此戦闘ニ於テ土軍ハ彈藥ノ準備頗ル豊富ニシテ砲兵ノ如キハ優越ナル射程ヲ利用シ間斷ナク射撃シ又步兵ノ如キモ遠距離ヨリ射撃ヲ開始シ露軍ニ多大ノ損傷ヲ與ヘタリ

土軍ノ死傷ハ不明ナルモ露軍ノ埋葬セシモノ二千二百人ニ及ヘリ²³Lovca占領後ノ情況竝²⁴Plevnaニ向フ前進²⁵附圖第六十九參照

高加士哥薩克騎兵旅團長大佐ツトルミンハ三日午後十一時發大佐フオン、
デル、ラウニツツノ通報ニ依リ土軍²⁶Plevnaヨリ²⁷Lovcaニ向ヒ前進セシコトヲ知リ²⁸本卷四〇八頁以下參照 又中將ツオトフヨリ²⁹Lovcaヲ確實ニ占領スル爲³⁰Plevna道附近ニ於テ³¹Plevna方向ニ對シ陣地ヲ占領シ強大ナル斥候ヲ西方³²Brnac, Bezanovo方向ニ派遣スヘキ訓令ヲ受領シ四日朝³³Balovica東方小丘阜附近ニ位置シ次テ斥候ノ報告ニ依リ土軍³⁴Nikovo附近ニ前進スルヲ知り直

ニ騎兵二中隊ヲ該方向ニ派遣ス同中隊ハ *Sotavo* 南方附近ニ於テ步兵五六
大隊砲四門ノ敵ト遭遇シ戰鬪ヲ開始ス

少將イメレチンスキーハ三日夜遅ク *Plevna* ヨリ土軍ノ一部 *Lovca* ニ向

ヒ前進セシ通報ヲ受領シ 此通報ハ「下」哥薩克騎兵旅團及同第九聯隊ヨリ高加士哥薩克騎
兵旅團ニ通報シ高加士哥薩克騎兵旅團ヨリ少將イメレチンスキ

動ニ更ニ報告セシモノナリ「土軍」ノ行
動ニ關シテハ本卷三七七頁附記參照 次テ四日朝 *Novo* 附近ノ情況ヲ知リ少將ス

コベレフヲシテ高加士哥薩克騎兵旅團 「下」哥薩克騎兵
第八中隊ヲ有ス 步兵第六十四聯隊同

第一百十八聯隊第一大隊砲兵第十六旅團第二中隊計步兵四大隊騎兵十二中

隊砲十四門ヲ指揮シ *Plevna* 方向ニ前進シ少將イメレチンスキー部隊ノ行

動ヲ掩護セシメ爾餘ノ諸隊ヲ *Lovca* ニ駐止セシム

少將スコベレフハ上記命令ヲ受領シ歩砲兵部隊ヲ *Lovca* ノ北方ニ前進セ

シメ且參謀大尉クロバトキンノ指示ニ依リテ陣地ヲ占領セシメ自ラ高加

士哥薩克騎兵旅團ノ許ニ急行ス此時曩ニ旅團ヨリ派遣シタル騎兵二中隊

ハ土軍ノ爲ニ擊退セラレ土軍ハ既ニ旅團ノ前面ニ進出ス是ニ於テ少將ス

九月四日少
將スコベレ
フ部隊ノ行

コベレフハ此情況ヲ少將イメレチンスキーニ報告スルト共ニ部下ノ歩兵
部隊ニ急行ヲ命セラレンコトヲ請ヘリ

少將スコベレフ部隊ノ歩砲兵ハ此時既ニ參謀大尉クロバトキンノ指示ヲ

以テ *Prodnicec* 北方高地ヲ占領シ歩兵二大隊砲兵一中隊ヲ第一線トシ他

ノ歩兵二大隊ヲ豫備トシテ中央後ニ置キ而シテ第一線部隊ハ占領セシ陣

地ニ工事ヲ行ヘリ 歩兵部隊ハ九月二日夜 A, B, C 高地附近ノ工事部隊タル歩兵第六十四聯隊
第一大隊ニ携帶器具ヲ貸與シ同大隊ハ工事實施後器具ヲ涌泉附近ニ放置

シ前進セシヲ以テ急遽ニ運搬ニ著手シ
三四時間ヲ費シテ漸ク陣地ニ搬送セリ 此時歩兵第六十四聯隊長ハ高加士哥薩克

騎兵旅團方面ニ砲撃ヲ聞キ又陣地前面ニモ若干ノ土兵展開セルヲ見次テ

少將イメレチンスキーヨリ速ニ前方高地ニ急行スヘキ命令ヲ受領シ 此命
令ハ

少將スコベレフハ高加士騎兵旅團ノ情況ヲ報告スルト共ニ附加シテ其傳達ヲ依頼セシモノニシテ
少將スコベレフハ未タ其歩砲兵部隊カ *Prodnicec* 北方高地ニ進出セシコトヲ知ラスシテ急進ヲ促セ

ナリ 歩兵第一大隊ヲ第一線トシ他ヲ第二線トシテ前進シ將ニ高地斜面

ヲ下ラントスルヤ忽チ土軍ノ射撃ヲ蒙リ死傷續出ス會少將スコベレフ此

地ニ來著シ聯隊ニ退却ヲ命シ再ヒ *Prodnicec* ノ陣地ヲ占領セシム